二之江小学校	3年生社会科評価規準

単元名	1.わたしのまち　みんなのまち（オリエンテーション）			教科書のページ	p.6～7
配当時数	1時間	活動時期	4月	学習指導要領の内容	(1)アイ

本時のめあて	時数	学習活動	評価の観点と方法
(1) オリエンテーション			
・何があるかな。どのような人がいるかな。何をしているのかな。 p.6～7	1	①教科書のイラストを見ながら，まちの様子について知っていることや気づいたことを出し合う。 ・一軒家，マンション，デパート，商店街など色々な建物がある。 ・大きな通りや，細くてくねくねした道がある。 ・鉄道の駅には，たくさんの人が集まっている。 ・さまざまな種類の車が走っている。 ・郵便配達中の人や，消火訓練をしている人がいる ・さまざまな人が，さまざまなことをしている。 **めあて**　わたしたちのまちは，どのような様子なのでしょうか。	［**思判表**］発言・絵地図

小単元名	○学校のまわり			教科書のページ	p.8～13
配当時数	3時間	活動時期	4月	学習指導要領の内容	(1)ア-(ｱ)(ｲ)，イ-(ｱ)

小単元の目標		学校のまわりの様子について，地形や土地利用，交通の広がり，主な公共施設の場所と働き，古くから残る建造物の分布などに着目して，観察・調査したり地図などの資料で調べたりして，白地図などにまとめることで学校のまわりの様子を捉え，場所による違いを考え，表現することを通して，身近な地域の様子を理解できるようにするとともに，主体的に学習問題を解決しようとする。
小単元の観点別評価規準	知識・技能	・身近な地域の地形や土地利用，交通の広がり，主な公共施設の場所と働き，古くから残る建造物の分布などについて観察・調査したり地図などの資料で調べたりして，必要な情報を集め，読み取り，身近な地域の様子を理解している。 ・調べたことを白地図や文などにまとめ，身近な地域の様子を理解している。
	思考・判断・表現	・身近な地域の地形や土地利用，交通の広がり，主な公共施設の場所と働き，古くから残る建造物の分布などに着目して,問いを見いだし，身近な地域の様子について考え 表現している。 ・場所ごとの様子を比較したり土地利用の様子や交通などを関連づけたりして考え，適切に表現している。
	主体的に学習に取り組む態度	・身近な地域の様子について，予想や学習計画を立てたり，見直したりして，主体的に学習を追究し，解決しようとしている。

小単元名	１．市の様子			教科書のページ	p.14～33
配当時数	12時間	活動時期	4～6月	学習指導要領の内容	(1)ア-(ｱ)(ｲ)，イ-(ｱ)

小単元の目標		市の様子について，都道府県内における市の位置,市の地形や土地利用,交通の広がり， 市役所など主な公共施設の場所と働き,古くから残る建造物の分布などに着目して，観察・調査したり地図などの資料で調べ，まとめることで市の様子を捉え，場所による違いを考え，表現することを通して，自分たちの市の様子を大まかに理解できるようにするとともに，主体的に学習問題を解決しようする。
小単元の観点別評価規準	知識・技能	・都道府県内における市の位置，市の地形や土地利用，交通の広がり，主な公共施設の場所と働き，古くから残る建造物の分布などについて観察・調査したり地図などの資料で調べたりして，必要な情報を集め，読み取り，市の様子を理解している。 ・調べたことを白地図や文などにまとめ，市の様子を理解している。
	思考・判断・表現	・都道府県内における市の位置，市の地形や土地利用，交通の広がり，主な公共施設の場所と働き，古くから残る建造物の分布などに着目して，問いを見いだし，市の様子について考え 表現している。 ・場所ごとの様子を比較したり土地利用の様子や交通などを関連づけたりして考え，適切に表現している。
	主体的に学習に取り組む態度	・市の様子について，予想や学習計画を立てたり，見直したりして，主体的に学習問題を追究し，解決しようとしている。

単元名	１.はたらく人とわたしたちのくらし（オリエンテーション）	教科書のページ	p.36～37

配当時数	1時間	活動時期	6月	学習指導要領の内容	(2)アイ

本時のめあて	時数	学習活動	評価の観点と方法
(1) オリエンテーション			
・わたしたちのくらすまちには，どのような仕事をしている人たちがいるでしょうか。 p.36～37	1	①私たちのまちの働く人について，どんな仕事をしている人がいるか話し合う。 ・市の西側に多い田や畑では，米や野菜をつくっている人たちがいた。 ・市の北側には工場が多かった。働いている人がたくさんいると思う。 ・通学路にあるスーパーマーケットでは，いつもたくさんの人が働いている。 **めあて**　わたしたちのまちではたらく人の仕事の様子や，仕事とわたしたちの生活とのつながりを調べてみましょう。	［思判表］発言

小単元名	１．農家の仕事			教科書のページ	p.38～51
配当時数	11 時間	活動時期	6～9 月	学習指導要領の内容	(2)ア-(ｱ)(ｳ)，イ-(ｱ)

小単元の目標		地域に見られる農家の仕事について，仕事の種類や産地の分布，仕事の工程などに着目して，見学・調査したり地図などの資料で調べたりして，白地図などにまとめることで生産に携わっている人々の仕事の様子を捉え，地域の人々の生活との関連を考え，表現することを通して，農家の仕事は，地域の人々の生活と密接な関わりをもって行われていることを理解できるようにするとともに，主体的に学習問題を解決しようとする。
小単元の観点別評価規準	知識・技能	・農家の仕事の種類や産地の分布，仕事の工程などについて見学・調査したり地図などの資料で調べたりして，必要な情報を集め，読み取り，生産の仕事に携わっている人々の仕事の様子を理解している。 ・調べたことを白地図や文などにまとめ，生産の仕事は，地域の人々の生活と密接なかかわりをもって行われていることを理解している。
	思考・判断・表現	・農家の仕事の種類や産地の分布，仕事の工程などに着目して，問いを見いだし，生産に携わっている人々の仕事の様子について考え 表現している。 ・生産の仕事の様子と地域の人々の生活との関連を考え，適切に表現している。
	主体的に学習に取り組む態度	・地域に見られる生産の仕事について，予想や学習計画を立てたり，見直したりして，主体的に学習問題を追究し，解決しようとしている。

小単元名	１．工場の仕事			教科書のページ	p.52～65
配当時数	11 時間	活動時期	6～9 月	学習指導要領の内容	(2)ア-(ｱ)(ｳ)，イ-(ｱ)

小単元の目標		地域にみられる工場の仕事について，仕事の種類や産地の分布，仕事の工程などに着目して，見学・調査したり地図などの資料で調べたりして，白地図などにまとめることで生産に携わっている人々の仕事の様子を捉え，地域の人々の生活との関連を考え，表現することを通して，工場の仕事は，地域の人々の生活と密接な関わりをもって行われていることを理解できるようにするとともに，主体的に学習問題を解決しようとする。
小単元の観点別評価規準	知識・技能	・工場の仕事の種類や工場の分布，仕事の工程などについて見学・調査したり地図などの資料で調べたりして，必要な情報を集め，読み取り，生産の仕事に携わっている人々の仕事の様子を理解している。 ・調べたことを白地図や文などにまとめ，生産の仕事は，地域の人々の生活と密接なかかわりをもって行われていることを理解している。
	思考・判断・表現	・工場の仕事の種類や工場の分布，仕事の工程などに着目して，問いを見いだし，生産に携わっている人々の仕事の様子について考え 表現している。 ・工場の仕事の様子と地域の人々の生活との関連を考え，適切に表現している。
	主体的に学習に取り組む態度	・地域に見られる生産の仕事について，予想や学習計画を立てたり，見直したりして，主体的に学習問題を追究し，解決しようとしている。

小単元名	２．店ではたらく人	教科書の	p.66～89

				ページ	
配当時数	15 時間	活動時期	9～11 月	学習指導要領の内容	(2)ア-(ｲ)(ｳ)，イ-(ｲ)

小単元の目標		地域に見られる販売の仕事について，消費者の願い，販売の仕方，他地域や外国との関わりなどに着目して，見学・調査したり地図などの資料で調べたりして，白地図などにまとめることで販売に携わっている人々の仕事の様子を捉え，それらの仕事に見られる工夫を考え，表現することを通して，販売の仕事は，消費者の多様な願いを踏まえ売り上げを高めるよう，工夫して行われていることを理解できるようにするとともに，主体的に学習問題を解決しようとする。
小単元の観点別評価規準	知識・技能	・消費者の願い，販売の仕方，他地域や外国との関わりなどについて，見学・調査したり地図などの資料で調べたりして，必要な情報を集め，読み取り，販売に携わっている人々の仕事の様子を理解している。 ・調べたことを白地図や文などのまとめ，販売の仕事は，消費者の多様な願いを踏まえ，売り上げを高めるよう，工夫して行われていることを理解している。
	思考・判断・表現	・消費者の願い，販売の仕方，他地域や外国との関わりなどに着目して，問いを見いだし，販売に携わっている人々の仕事の様子について考え表現している。 ・地域に見られる販売の仕事と地域の人々の生活との関連を考え，適切に表現している。
	主体的に学習に取り組む態度	・地域に見られる販売の仕事について，予想や学習計画を立てたり，見直したりして，主体的に学習問題を追究し，解決しようとしている。

単元名	３.くらしを守る（オリエンテーション）			教科書のページ	p.92～93
配当時数	1 時間	活動時期	11 月	学習指導要領の内容	(3)アイ

本時のめあて	時数	学習活動	評価の観点と方法
(1)くらしの安全を考えよう（ オリエンテーション）			
・わたしたちの安全なくらしを守るはたらきについて考えてみましょう。 p.92～93	1	①新聞やテレビのニュース，自分の体験などを思い出しながら話し合い，安全なくらしをつくるためのしくみや人々の働きに関心をもたせる。 ・火事が起きたときには，消防署からたくさんの人が来て火を消している。 ・夜に警察の人たちが検問をしていた。 ・通学路で駐車違反の取り締まりをしているところを見た。 ・まちには，わたしたちの安全を守るために働いてくれる人がいるから安心して生活できている。 **めあて**　わたしたちの安全なくらしを守るために，まちでは，どこでどのような人たちがはたらいているのでしょうか。	**[態度]** 発言 **[思判表]** 発言

小単元名	１．火事からくらしを守る			教科書のページ	p.94～107
配当時数	7時間	活動時期	11～12月	学習指導要領の内容	(3)ア-(ｱ)(ｲ)，イ-(ｱ)

小単元の目標		火災から地域の人々の安全を守る働きについて，施設・設備などの配置，緊急時への備えや対応などに着目して，見学・調査したり地図などの資料で調べたりして，まとめることで関係機関や地域の人々の諸活動を捉え，相互の関連や従事する人々の働きを考え，表現することを通して，消防署などの関係機関は，地域の安全を守るために，相互に連携して緊急時に対処する体制をとっていることや，関係機関が地域の人々と協力して火災の防止に努めていることを理解するとともに，学習したことを基に地域や自分自身の安全を守るために自分たちにできることなどを考えようとする。
小単元の観点別評価規準	知識・技能	・施設・設備などの配置，消防署による緊急時への備えや対応などについて見学・調査したり地図などの資料で調べたりして，必要な情報を集め，読み取り，関係機関や地域の人々の諸活動を理解している。 ・調べたことを地図や文などにまとめ，関係機関が地域の人々と協力して火災の防止に努めていることを理解している。
	思考・判断・表現	・施設・設備などの配置，緊急時への備えや対応などに着目して，問いを見いだし，関係機関や地域の人々の諸活動について考え表現している。 ・連携・協力している関係機関の働きを比較・分類，または結び付けて，相互の関連や従事する人々の働きを考えたり，学習したことを基に地域や自分自身の安全を守るために自分たちにできることなどを考え，選択・判断したりして，適切に表現している。
	主体的に学習に取り組む態度	・地域の安全を守る働きについて，予想や学習計画を立てたり，見直したりして，主体的に学習問題を追究し，解決しようとしている。 ・学習したことを基に地域や自分自身の安全を守るために自分たちにできることなどを考えようとしている。

小単元名	２．事故や事件からくらしを守る	教科書の	p.108～119

				ページ	
配当時数	6 時間	活動時期	1～2 月	学習指導要領の内容	(3)ア-(ｱ)(ｲ)，イ-(ｱ)

小単元の目標		事故や事件から地域の安全を守る働きについて，施設・設備などの配置，警察署による緊急時への備えや対応などに着目して，見学・調査したり地図などの資料で調べたりして，まとめることで関係機関や地域の人々の諸活動を捉え，相互の関連や従事する人々の働きを考え，表現することを通して，警察署などの関係機関は，地域の安全を守るために，相互に連携して緊急時に対処する体制をとっていることや，関係機関が地域の人々と協力して事故の防止に努めていることを理解できるようにするとともに，学習したことを基に地域や自分自身の安全を守るために自分たちにできることなどを考えようとする。
小単元の観点別評価規準	知識・技能	・施設・設備などの配置，警察署による緊急時への備えや対応などについて見学・調査したり地図などの資料で調べたりして，必要な情報を集め，読み取り，関係機関や地域の人々の諸活動を理解している。 ・調べたことを地図や文などにまとめ，関係機関が地域の人々と協力して事故などの防止に努めていることを理解している。
	思考・判断・表現	・施設・設備などの配置，緊急時への備えや対応などに着目して，問いを見いだし，関係機関や地域の人々の諸活動について考え表現している。 ・連携・協力している関係機関の働きを比較・分類，または結び付けて，相互の関連や従事する人々の働きを考えたり，学習したことを基に地域や自分自身の安全を守るために自分たちにできることなどを考え，選択・判断したりして，適切に表現している。
	主体的に学習に取り組む態度	・地域の安全を守る働きについて，予想や学習計画を立てたり，見直したりして，主体的に学習問題を追究し，解決しようとしている。 ・学習したことを基に地域や自分自身の安全を守るために自分たちにできることなどを考えようとしている。

単元名	4.市のうつりかわり（オリエンテーション）			教科書のページ	p.122～123
配当時数	1 時間	活動時期	2 月	学習指導要領の内容	(4)アイ

本時のめあて	時数	学習活動	評価の観点と方法
(1) オリエンテーション			
・わたしたちのまちの，昔の様子を見てみましょう。 p.122～123	1	①教科書のイラストを読み取り，今と違うことや変わってきたことを話し合う。 〈おじいさん・おばあさんが子どものころ〉 ・蒸気機関車が走っている。 ・今は見かけない形の車がある。 ・着物を着た人がいる。 ・田んぼが多い。 ・今と違って，港のあたりは砂浜が広がっている。 〈お父さん・お母さんが子どものころ〉 ・新幹線が走っている。 ・道路が整備された。車の数も	［思判表］発言

		増えた。 ・高い建物が増えた。学校も大きくなった。 ・砂浜が埋め立てられた。 ・田んぼが減って，家が増えた。 〈今〉 ・高い建物がさらに増えた。 ・駅や港の施設も大きくなった。 ・田んぼや畑はほとんどない。 ・まちの様子は大きく変わっているけれど，神社やお菓子屋さんのように，変わらず残っているところもある。 **めあて**　わたしたちのまちや人々のくらしは，どのようにかわってきたのか調べてみましょう。	

小単元名	１．市の様子と人々のくらしのうつりかわり			教科書のページ	p.124～141
配当時数	10 時間	活動時期	2～3 月	学習指導要領の内容	(4)ア-(ｱ)(ｲ)，イ-(ｱ)

小単元の目標		市の様子の移り変わりについて，交通や公共施設，土地利用や人口，生活の道具などの時期による違いに着目して，関係者や地域の人などに聞き取り調査をしたり地図などの資料で調べたりして，年表などにまとめることで市や人々の生活の様子を捉え，それらの変化を考え，表現することを通して，市の人々の生活の様子は，時間の経過に伴い，移り変わってきたことを理解できるようにするとともに，主体的に学習問題を解決しようとする。
小単元の観点別評価規準	知識・技能	・交通や公共施設，土地利用や人口，生活の道具などの時期による違いについて関係者や地域の人などに聞き取り調査をしたり地図などの資料などで調べたりして，必要な情報を集め，読み取り，市や人々の生活の様子を理解している。 ・調べたことを年表や文などにまとめ，市や人々の生活の様子は，時間の経過に伴い，移り変わってきたことを理解している。
	思考・判断・表現	・交通や公共施設，土地利用や人口，生活の道具などの時期による違いに着目して，問いを見いだし，市や人々の生活の様子について表現している。 ・駅や鉄道，公共施設ができたこと，人口が変化してきたこと，土地利用の様子や生活の道具が変わったことなどを相互に関連付けたり，市の様子の変化と人々の生活の様子の変化を結び付けたりして，市の人々の様子の変化を考え，適切に表現している。
	主体的に学習に取り組む態度	・市の様子の移り変わりについて，予想や学習計画を立てたり，見直したりして，主体的に学習問題を追究し，解決しようとしている。

二之江小学校	4年生社会科評価規準

単元名	わたしたちの県（オリエンテーション）			教科書のページ	p.128～129
配当時数	1時間	活動時期	4月	学習指導要領の内容	(1)

本時のめあて	時数	学習活動	評価の観点と方法
(1) オリエンテーション			
・知っている都道府県を地図帳でたしかめよう p.128～129	1	①日本全図の中で，学習経験や生活経験を生かして知っている都道府県を出し合い，それぞれの都道府県の名称や位置，特産品などに関心をもたせる。 ・自分たちの県のまわりには，特色のあるいろいろな都道府県が広がっている。 **めあて**　わたしたちが住む県の位置や特色，各地の人々のくらしについて，地図や資料を使って，調べてみましょう。	[思判表]ノート，発言

小単元名	日本地図を広げて			教科書のページ	p.130～135
配当時数	2時間	活動時期	4月	学習指導要領の内容	(1)アイ

本時のめあて	時数	学習活動	評価の観点と方法
(1) 日本地図を広げて			
・日本の都道府県について，それぞれの名前と場所を調べてみましょう。 p.130～135	2	①p. 130～131の日本地図を見て，自分が住んでいる県がどのあたりにあるかを確認する。 ・兵庫県は，近畿地方にある。 ・岡山県，鳥取県，京都府，大阪府，和歌山県，徳島県，香川県に囲まれている。 ②p. 130～135の３つの日本地図を見ながら，特産品や地形などのテーマごとに整理されている47都道府県カードを活用して（空欄になっている箇所はクイズ形式などにする），各都道府県の名称と位置をおさえさせる。 【p. 130～131の地方区分や県庁所在地がわかる日本地図】 ・県庁所在地が仙台市なのは宮城県だ。 ・八つの県と接しているのは何県だろう。 など	[知技]白地図

		【p. 132～133の特産品の日本地図】 ・青森県はりんごの生産量が日本一なんだね。 ・「讃岐うどん」が有名なのは何県だろう。 など 【p. 134～135の地形がわかる日本地図】 ・都道府県の中でいちばん面積が広いのは北海道です。 ・形が金魚に似ている県があるそうだけど，どこの県だろう。 など ③47都道府県のカードを再度活用して前時までの学習を確認しながら，白地図に47都道府県名を書き込ませる。 ・（例）（兵庫県のカードを見せながら）日本海と瀬戸内海に面しているのはどの県だったでしょうか。近畿地方にあります。 など	

小単元名	1．県の広がり			教科書のページ	p.136～149
配当時数	8 時間	活動時期	4～5 月	学習指導要領の内容	(1)アイ

小単元の目標		都道府県の様子について，我が国における自分たちの県の位置，県全体の地形や主な産業の分布，交通網や主な都市の位置などに着目して，地図帳や各種の資料で調べ，白地図などにまとめ，県の様子を捉え，地理的環境の特色を考え，表現することを通して，自分たちの県の地理的環境の概要を理解できるようにするとともに，主体的に学習問題を解決しようとする。
小単元の観点別評価規準	知識･技能	・我が国における自分たちの県の位置，県全体の地形や主な産業の分布，交通網や主な都市の位置などについて地図帳や各種の資料で調べ，必要な情報を集め，読み取り，県の様子を理解している。 ・調べたことを白地図や文などにまとめ，自分たちの県の地理的環境の概要を理解している。
	思考･判断･表現	・我が国における自分たちの県の位置，県全体の地形や主な産業の分布，交通網や主な都市の位置などに着目して，問いを見いだし，県の様子について考え表現している。 ・県の位置や県全体の地形，主な産業，交通網や主な都市の位置などの情報を総合して県の地理的環境の特色を考え，適切に表現している。
	主体的に学習に取り組む態度	・県の様子について，予想や学習計画を立てたり，見直したりして，主体的に学習問題を追究し，解決しようとしている。

本時のめあて	時数	学習活動	評価の観点と方法
(1) 日本の中の兵庫県			
・**つかむ**　わたしたちの住む兵庫県について話し合って，学習問題をつくりましょう。 p.136～137	1	①自分たちの県や周囲の様子について確かめる。 ・兵庫県は近畿地方にある。 ・北は日本海，南は瀬戸内海に面している。	[思判表]ノート，発言

		・淡路島も兵庫県だ。 ②自分たちの県と接している県やつながり（交通の様子）について確かめる。 ・兵庫県は，東は大阪府，西は岡山県などと接している。 ・東西の府県と新幹線や高速道路で結ばれている。 ③グループごとに県のどんなことを調べたいのか話し合う。 ・土地の様子を調べてみたい。 ・どのような産業があるかも調べたい。 **学習問題**　わたしたちの県の土地や交通の様子そして産業には，どのような特色があるのでしょうか。	
(2) 学習の進め方(p.6～7 を参考)			
・学習問題をつくり，学習の進め方をかくにんしよう。 **p.6～7**	1	①前時の学習を想起して学習問題を確認し，今後の「学習の進め方」を把握する。 ＜「学習の進め方」＞ ・つかむ－学習問題をつくる →学習問題について予想する →調べることを明らかにする ・調べる－みんなで協力して調べる →実際に見学に行って調べる →図書館で資料を探して調べる →インターネットで調べるなど ・まとめる－調べてわかったことや考えたことをまとめる ※まとめ方－ノート，カード，表などに，新聞などの作品づくり－メモや写真の活用 ・いかす－今までの学習を振り返りながら，自分にできることを考える ②「学習の進め方」を基に学習計画を立てる。 （例） ＜予想＞ ・北から南へ土地が低くなっている。 ・人口の多いところは平野が広がっている。 ・交通は神戸を中心に広がっている。 ＜調べること＞ ・県の地形 ・県の土地利用 ・県の交通の広がり ＜調べ方＞手紙で質問したり，図書館やインターネットを利用したりする。	**[知技]**ノート，発言

		＜まとめ方＞ノートやカード，白地図などにまとめる。	
(3)兵庫県の地形			
・**調べる**　兵庫県は，どんな地形をしているのでしょうか。 p.138 ～139	1	①県の衛星写真や地勢図を見て，気づいたことを話し合う。 ・山地や日本海側に緑が多い。 ・山から瀬戸内海や日本海に向かって川が流れている。 ②県内のどこにどのような地形が広がっているのか調べる。 ・瀬戸内海に沿って平野が広がっている。 ・県の真ん中あたりに山が多い。 ③県の地形について，わかったことをノートに書く。	[**知技**]白地図，発言
(4)土地利用の様子			
・**調べる**　地形によって，土地の使われ方は，どのようにちがうのでしょうか。 p.140～141	1	①土地利用図や写真を見て，気づいたことを話し合う。 ・氷ノ山にはスキー場がある。 ・淡路島のあわじ花さじきがきれい。 ②県内の土地利用の特色を，地形と結び付けて話し合う。 ・低地には市街地や田が広がっている。 ・市街地は瀬戸内海の海岸ぞいに多い。 ・山地には森林が多い。 ③土地利用について，わかったことをノートに書く。	[**知技**]白地図，発言
(5) 兵庫県の市や町			
・**調べる**　わたしたちの住む兵庫県には，どんな市や町があるのでしょうか。 p.142～143	1	①わたしたちの市が県内のどこにあるか調べる。 ・神戸市は，兵庫県の県庁所在地だ。 ・県の南の方にあり，人口がいちばん多い。 ②県内の主な市町村の名前，位置，人口などを調べ，白地図に整理する。 ・コウノトリで有名な豊岡市は北部にある。 ・姫路城のある姫路市は瀬戸内海に面している。 ③主な市町村が，自分たちの市とどれくらいのきょりなのか調べる。 ・姫路市は神戸市から約50㎞の所にある。	[**知技**]白地図，発言
(6) 交通の広がり			
・**調べる**　県内の交通は，どのように広がっているのでしょうか。 p.144～145	1	①県内の主な道路や鉄道の広がりを調べる。 ②港や空港の位置を，地図帳で確かめる。	[**知技**]白地図，発言

		③陸，海，空の交通網の特色を話し合う。 ・神戸や姫路など主な都市を結ぶように，交通が発達している。 ・県内の東西への移動は，鉄道や高速道路が通っていて便利だ。 ・瀬戸内海沿岸は，飛行機，船，列車，自動車での交通網が広がり，便利だ。	
(7) 兵庫県の主な産業			
・**調べる** わたしたちの県には，どんな産業があるのでしょうか。 p.146～147	1	①県内に，どんな産業があるのか調べる。 ・淡路と明石の海でいかなごやたこが多くとれる。 ・三木市では，お酒の原料となる山田錦という米の生産がさかんだ。 ・姫路には鉄をつくる大きな工場がある。 ②調べたことを，産業マップの作品にする。 ③ホームページを開いて，産業マップを発表する。	[**知技**]白地図，発言
(8) 県の特色をまとめる			
・**まとめる** 調べたことをもとに，兵庫県の特色を地図にまとめてみましょう。 p.148～149	1	①これまで調べてわかったこと（カード）を地図に表す。 ・地形の特色 ・土地利用の特色 ・交通の特色 など ②地図から，地形と土地利用のかかわりや交通と産業のかかわりなどについて話し合う。 ・瀬戸内海に沿った平野に大きな都市が多い。 ・大きな都市と都市を結ぶように交通網が発達している。 ・交通網が発達している大都市は，工業が盛んである。 など	[**思判表**]白地図，ノート，発言 [**態度**]白地図・ノート・発言

単元名	住みよいくらしをつくる（オリエンテーション）			教科書のページ	p.54～55
配当時数	1 時間	活動時期	5 月	学習指導要領の内容	(2)

本時のめあて	時数	学習活動	評価の観点と方法
(1) オリエンテーション			
・だれが何をしているか，絵を見て考えてみましょう。 p.54～55	1	①教科書のイラストを見て，まちの中で，住みよいくらしをつくるためのしくみや人々の働きをさがし，これらの事業について話し合う。 ・まちには，水道やごみの処理などにかかわる仕事をする人	[**態度**]ノート，発言

		がいるから生活できる。 **めあて**　わたしたちのまちの健康で住みよいくらしをささえているしくみや人々の働きを調べてみましょう。	

小単元名	1．水はどこから			教科書のページ	p.56～75
配当時数	11 時間	活動時期	5～6 月	学習指導要領の内容	(2)ア-(ア)(ウ), イ-(ア)

小単元の目標		飲料水を供給する事業について，供給の仕組みや経路，県内外の人々の協力などに着目して，見学・調査したり地図などの資料で調べたりしてまとめ，飲料水の供給のための事業の様子を捉え，その事業が果たす役割を考え，表現することを通して，飲料水を供給する事業は，安全で安定的に供給できるよう進められていることや，地域の人々の健康な生活の維持と向上に役立っていることを理解できるようにするとともに，学習したことを基に自分たちに協力できることを考えようとする。
小単元の観点別評価規準	知識･技能	・供給の仕組みや経路，県内外の人々の協力などについて見学・調査したり地図などの資料で調べたりして，必要な情報を集め，読み取り，飲料水の供給のための事業の様子を理解している。 ・調べたことを白地図や図表，文などにまとめ，飲料水を供給する事業は，安全で安定的に供給できるよう進められていることや，地域の人々の健康な生活の維持と向上に役立っていることを理解している。
	思考･判断･表現	・供給の仕組みや経路，県内外の人々の協力などに着目して，問いを見いだし，飲料水の供給のための事業の様子について考え表現している。 ・飲料水の供給のための事業に見られる仕組みや人々の協力関係と地域の人々の健康や生活環境を関連付け，飲料水の供給のための事業の果たす役割を考えたり，学習したことを基に，節水や水を汚さないために自分たちが協力できることを考えたり選択・判断したりして表現している。
	主体的に学習に取り組む態度	・飲料水を供給する事業について，予想や学習計画を立てたり，見直したりして，主体的に学習問題を追究し，解決しようとしている。 ・学習したことを基に，節水や水を汚さないために自分たちが協力できることを考えようとしている。

本時のめあて	時数	学習活動	評価の観点と方法
(1) 生活の中での水の使われ方			
・**つかむ**　わたしたちは，水をどのように使っているのでしょうか。 p.56～57	1	①写真を見て，生活の中で水を使う場面を発表し合う。 ・学校の流し場で手を洗う。 ・米づくりなど農業で利用する。 ・工場でも使う。 ②市の人口の変化のグラフと，市の給水量の変化のグラフをくらべる。 ・市の人口が増え続けている。 ・給水量は増えている。 ・ところが，ある時期から給水量の増え方が小さくなり，最近では給水量が減っている。	[思判表]発言
(2) 水のじゅんかんについて考える			
・**つかむ**　水のじゅんかんについて考え，学習問題をつくりまし	1	①水の循環の概念図を見て，わかったことや疑問に思ったことを話し合う。	[思判表]ノート

ょう。 p.58～59		・水は山から町を通って海まで流れていく。 ・水は川だけでなく地下でも流れている。 ・水は，海で水蒸気になった後，雨になって降る。 ②水道メーターを観察して疑問に思ったことを話し合う。 ・水道管の先には何があるのかな。 ・水道メーターの水道管はどこで川とぶつかるのかな。 ③考えたことをもとに，学習問題をつくる。 **学習問題**　わたしたちの生活に欠かせない水は，どこでどのようにしてつくられ，送られてくるのでしょうか。	
(3) 水のふるさと			
・調べる　わたしたちの学校や家までやってくる水のふるさとは，どこにあるのでしょうか。 p.60～61	1	①岡山県の地図から，旭川の源流がどこにあり，どこに流れ込んでいるのかを調べる。 ・上流には，湯原ダム，大山，蒜山，新庄村，真庭市などがある。 ・岡山市を通って，瀬戸内海に流れ出ている。 ②「新庄村役場の山田さんの話」を読んで，わかったことを話し合う。 ・木を育てるには何十年もかかる。 ・水源の森に降った雨はゆっくりと地下にしみこみやがてわき出す。 ・森林のある山には，豊かな栄養を含み澄んだおいしい水を生み出す力がある。	**[知技]**ノート
(4) ダムの働き			
・調べる　ダムには，どのような働きがあるのでしょうか。 p.62～63	1	①湯原ダムのある場所（蒜山高原）と岡山市の場所を地図（p. 60）で確かめ，資料②と③のグラフをくらべてわかったことを話し合う。 ・岡山県では，上流の方が雨の降る量が多いので，上流にダムをつくったんだ。 ・岡山市は，雨の降る量が少ないから，水が足りなくなるのではないかな。 ②資料④の「岡山県のダム」の分布図から，どのような場所にダムがあるかを読み取る。 ・上流や山の多いところにダムがある。 ・旭川以外の高梁川，吉井川にもダムがある。 ③「湯原ダムの横山さんの話」から，ダムで働く人々の気持ちを読み取る。	**[知技]**ノート

		・湯原ダム付近の美しい水が，ずっと下流の岡山市まで流れ続けてほしい。	
(5)(6) きれいな水をつくるために			
・**調べる**　じょう水場では，どのようにして，水をきれいにしているのでしょうか。 p.64～65	2	①資料②の三野浄水場の写真を見てわかったことを話し合う。 ・川の近くにある。 ・プールのような物が多く並んでいる。 ・周囲の建物とくらべるとかなり広い。 ②p. 65上の「水がきれいになるまで」の資料から，川の水を飲料水にするまでの流れを読み取る。 ・川の水の中にある土や砂，ごみを取り除く。 ・薬も入れる。 ・コンピューターも使って水の管理をする。 ③p. 65「じょう水場の大谷さんの話」を読んでわかったことをまとめる。 ・浄水場をつくった理由は，昔，川や井戸の水を飲んで，病気でなくなった人がいて，市民の健康を考えたからだ。	[知技]ノート
(7) 安全でおいしい水をつくるために			
・**調べる**　安全でおいしい水をとどけるために，働く人は，どんなことに気をつけているのでしょうか。 p.66～67	1	①「水質試験所の小倉さんの話」を読んで，わかったことを発表し合う。 ・浄水場から送る水に，濁りやばい菌がないか検査をしている。 ・検査には新しい機械も使っている。 ・検査は，「水道法」という法律の基準にそって行っている。 ②浄水場から，家庭，学校などに水を届ける仕組み（資料④）や，資料⑤～⑦を見て，水道で働く人々が努力していることを読み取る。 ・配水池から太い水道管でまちまで水を送る。 ・太い水道管から細い水道管を通って，各家庭や学校に水を送る。 ・水漏れ検査や，水道管の工事など様々な努力を普段からしている。	[知技]ノート
(8) 大切な水をくり返し使うくふう			
・**調べる**　わたしたちは，かぎりある水を，どのように使っているのでしょうか。 p.68～69	1	①家庭や学校で使った水は，どこに行くのか予想をして話し合う。 ・そのまま川や海に流すと，川や海が汚れてしまうよ。	[知技]ノート

		・きっと，水をきれいにする施設があるんだよ。 ②資料②③の写真とことば「下水しょり場」を見て，建部浄化センターと，岡東浄化センターの水のゆくえを考える。 ・建部浄化センターできれいになった水は旭川を下って，下流の岡山市の三野浄水場できれいにされる。 ・上流の地域の下水はきれいにされて，下流の地域の水道水になる。 ・水は，何度もきれいにされて使われる。 ③岡山市の競技場の説明（資料⑤）を読んで，水を無駄遣いしない方法を考える。 ・トイレや水まきには，雨水を蓄えて使っている。	
(9) 水の流れをまとめる			
・まとめる 水がどのようにして送られてくるのかをまとめてみましょう。 p.70～71	1	①学習問題を確認した上で，五つのことばを使って，水が送られてくるまでの図に，説明の文を考えて書き入れる。 ・水源の森：水源の森は，雨水を蓄えて，きれいにしてゆっくりとわき水を出します。 ・ダム：ダムは，川の上流にふった雨をためておいて，川の水が少ないときに，放水して下流に水を流します。 （以下略） ②まとめができあがったら，友だちと見せ合ったり発表し合ったりして，よりよい表現に修正をする。 ③いろいろな場所を比較して，その特色を話し合う。	**[思判表]**図，説明文 **[態度]**図，説明文
(10) 旭川の源流をたずねて			
・いかす 旭川の上流の地いきの人々と交流して，川のかんきょうについて考えましょう。 p.72～73	1	①エコツアーの写真を見て，何をしているのか発表する。 ・川遊びをしている。 ・川で魚や沢がにをとっている。 ②公民館の館長さんの話を読み，エコツアーを行っている理由を考えて話し合う。 ・水の環境や森林の役割を知ってもらうために行っているのではないかな。 ・身近な地域や地球の環境のことを考える取り組みを行っている。 ③「旭川源流の碑」（資料③）の写真を見て，この碑は何のために立てたのか，考えて話	**[思判表]** **[態度]**ノート

		し合う。 ・旭川の源流の一つを記念して立てた。 ・源流としてわかりやすいように立てた。 ④次の時間に調べることを伝える。	
(11) きれいな川をつなげるために			
・**いかす**　旭川を大切に思って行動している人たちの活動を調べてみましょう。 p.74～75	1	①「『旭川源流の碑』を運ぶ」（資料①）の写真を見て，前時の碑を立てた理由も考えて話し合う。 ・上流の山で育った木から，下流で碑をつくり，再び源流に運んで，源流の碑を立てている。 ・源流は，旭川の上流から下流まで，いろいろな場所にある。 ②「旭川流域ネットワークの竹原さんの話」を読んで感想を話し合う。 ・上流と下流の人々のかかわりができるのが良い。	[思判表] [態度]ノート

小単元名	2. ごみのしょりと利用			教科書のページ	p.80～99
配当時数	12 時間	活動時期	6～7 月	学習指導要領の内容	(2)ア-(イ)(ウ), イ-(イ)

小単元の目標		廃棄物を処理する事業について，処理の仕組みや再利用，県内外の人々の協力などに着目して，見学・調査したり地図などの資料で調べたりしてまとめ，廃棄物の処理のための事業の様子を捉え，その事業の果たす役割を考え，表現することを通して，廃棄物を処理する事業は，衛生的な処理や資源の有効利用ができるよう進められていることや，生活環境の維持と向上に役立っていることを理解できるようにするとともに，学習したことを基にごみの減量のために自分たちが協力できることを考えようとする。
小単元の観点別評価規準	知識・技能	・処理の仕組みや再利用，県内外の人々の協力などについて見学・調査したり地図などの資料で調べたりして，必要な情報を集め，読み取り，廃棄物の処理のための事業の様子を理解している。 ・調べたことを白地図や図表，文などにまとめ，廃棄物を処理する事業は，衛生的な処理や資源の有効利用ができるよう進められていることや，生活環境の維持と向上に役立っていることを理解している。
	思考・判断・表現	・処理の仕組みや再利用，県内外の人々の協力などに着目して，問いを見いだし，廃棄物の処理のための事業の様子について考え表現している。 ・廃棄物を処理する仕組みや人々の協力関係と地域の良好な生活環境を関連付け，廃棄物の処理のための事業の果たす役割を考えたり，学習したことを基に，ごみを減らすために，自分たちが協力できることを考えたり選択・判断したりして表現している。
	主体的に学習に取り組む態度	・廃棄物を処理する事業について，予想や学習計画を立てたり，見直したりして，主体的に学習問題を追究し，解決しようとしている。 ・学習したことを基にごみを減らすために，自分たちが協力できること

		を考えようとしている。

本時のめあて	時数	学習活動	評価の観点と方法
(1) ごみを分別する			
・**つかむ**　家では，ごみをどのように出しているでしょうか。 p.80～81	1	①家庭のごみの出し方を話し合う。 ・ごみを種類ごとに分けて出している。 ・ごみの種類によって，出す日がちがう。 ・どうしてごみを分けて出しているのかな。 ②種類別のごみの量のグラフから考えたことを話し合う。 ・燃えるごみが一番多い。 ・ごみの分別は大変だけど，とても大切なことことだと思う。	[**思判表**]発言
(2) ごみ置き場の様子			
・**つかむ**　家から出されたごみは，どのようにしゅう集されるのでしょうか。 p.82～83	1	①ごみ置き場を見学して，気づいたことを発表し合う。 ・看板には，ごみを出す時に注意することが書いてある。 ・種類ごとに出す曜日が決まっている。 ・ごみの出し方には細かいきまりがある。	[**思判表**]ノート
(3) ごみのゆくえ			
・**つかむ**　ごみのゆくえを考えることを通して，学習問題をつくりましょう。 p.84～85	1	①ごみのゆくえを考えながら，学習問題をつくる。 ・収集されたごみはどのように処理されるのだろうか。 ・ごみの収集には，収集車やトラックが利用されている。 ・燃えるごみと粗大ごみとでは，収集車も処理場も違うと思う。 **学習問題**　分別して出され，しゅう集されたごみは，どのようにしてしょりされるのでしょうか。 ②学習計画を立てる。 ・清掃工場を見学して，燃えるごみの処理の仕方について調べてみたい。 ・調べたことはノートにしっかりとまとめることが必要だ。	[**知技**]ノート
(4)(5)もえるごみのゆくえ			
・**調べる**　せいそう工場では，ごみをどのようにもやしているのでしょうか。 p.86～87	2	①清掃工場を見学して，わかったことをノートに整理する。 ・燃えるごみは清掃工場に運ばれる。 ・大きなクレーンや焼却炉がある。 ・１日に約270トンのごみを燃やしている。 ②燃やした後に残った灰のゆく	[**知技**]ノート

		えについて話し合う。 ・別の場所に埋め立てられるのではないかな。 ・再利用されるのではないかな	
(6) もやした後のくふう			
・**調べる**　ごみをもやした後のくふうには，どのようなものがあるでしょうか。 p.88～89	1	①ごみを燃やした後の灰がどのように処理されるかを調べる。 ・処分場に埋め立てられる。 ・処分場には環境に配慮した様々な工夫がある。 ・灰の一部はエコスラグとなって生まれ変わり，道路工事などに利用される。 ②ごみを燃やした時の熱をどのように利用しているかを調べる。 ・温水プール ・温泉	[知技]ノート
(7)(8)ごみが生まれ変わる			
・**調べる**　しげん物やそ大ごみは，どのように再利用されているのでしょうか。 p.90～91	2	①資源物や粗大ごみのリサイクルについて，リサイクル施設を見学して調べる。 ・びんやペットボトルはリサイクル施設に運ばれる。 ・資源物の選別はとても大変だ。 ・ペットボトルは服や再生ペットボトルになって生まれ変わる。 ②身のまわりにリサイクルがないかを考え，発表して話し合う。 ・自転車 ・服 ・タンス	[知技]発言
(9) ごみしょりがかかえる問題			
・**調べる**　ごみしょりがかかえる問題を，市はどのように計画的にかいけつしようとしているのでしょうか。 p.92～93	1	①「ごみのしょりのうつり変わり」のイラストと，「市の人口の変化」のグラフを関連付けて，考えたことを発表し合う。 ・昔は，ごみを燃やしたり埋めたりしていた。 ・ごみの処理にかかわる問題について，市は計画的に取り組んでいる。 ・分別が始まったから，ごみの量も減ってきている。 ②ごみの処理が抱える新しい問題について調べ，わかったことを発表し合う。 ・分別に協力しない人がいる。	[知技]発言
(10) グループでまとめる			
・**まとめる**　ごみのしょりについてわかったことや考えたことをカードにまとめ，発表してみましょう。	1	①「まなび方コーナー」の手順にしたがって，これまでの学習でわかったことや考えたことを発表し合う。 ・リサイクルはとても大切なこ	[思判表]ノート [態度]ノート

p.94～95		とだ。 ・ごみを減らすことがまず必要だ。 ・自分にできることはあるのだろうか。 ②自分の考えをノートにまとめる。 ・ごみの処理にはいろいろな工夫がある。 ・ものを大切にすることがごみの減量につながる。	
(11) ごみしょりのくふう			
・**いかす**　ごみをへらすために，わたしたちのまわりでは，どのような取り組みが行われているのでしょうか。 p.96～97	1	①ごみを減らすために，家庭・学校・商店・地域がそれぞれどのような取り組みを行っているかを調べ，発表し合う。 ・家庭では，ごみの分別をしている。 ・学校では，ごみの減量に努めている。 ・商店では，エコバッグの利用を勧めている。	[態度]ノート
(12) 自分にできることを考える			
・**いかす**　ごみをへらすために，自分にできることを考えてみましょう。 p.98～99	1	①ごみを減らすために自分にできることを考え，発表し合う。 ・お手伝いで買い物をするときには，エコバッグを使いたい。 ・学校のごみの分別に協力したい。 ・家でごみの分別をするときには手伝いたい。	[態度]ノート

単元名	自然災害からくらしを守る(オリエンテーション)			教科書のページ	補助教材※
配当時数	1 時間	活動時期	9 月	学習指導要領の内容	(3)

※この単元は，令和 2 年 3 月に配布される予定の補助教材をご使用ください。補助教材は，令和 2 年度から新課程用として採択された教科書会社のものが配布される予定です。令和 2 年度用教科書の採択で社会科教科書の変更があった場合，当該の発行者作成の指導計画をご参照ください。

本時のめあて	時数	学習活動	評価の観点と方法
(1) オリエンテーション			

・わたしたちが住んでいる県では，どのような自然災害が起きてきたのでしょうか。	1	①わたしたちの住んでいる静岡県の地形と自然災害の様子を確かめ，気づいたことや考えたことを発表し合う。 ・静岡県は山があって海に面してもいる。 ・だから自然災害も多いのかな。 ・いつ起きるかわからない地震にはどんな取り組みをしているのか。 **めあて**　地震から人々を守る活動について，調べてみましょう。	[**態度**]**ノート**，発言

小単元名	1．地震からくらしを守る			教科書のページ	補助教材※
配当時数	9 時間	活動時期	9～10 月	学習指導要領の内容	(3)ア-(ア)(イ)，イ-(ア)

小単元の目標		自然災害から人々を守る活動について，過去に発生した地域の自然災害，関係機関の協力などに着目して，聞き取り調査をしたり地図や年表などの資料で調べたりしてまとめ，災害から人々を守る活動を捉え，その働きを考え，表現することを通して，地域の関係機関や人々は，自然災害に対し，様々な協力をして対処してきたことや，今後想定される災害に対し，さまざまな備えをしていることを理解できるようにするとともに，主体的に学習問題を解決しようとし，日頃から必要な備えをするなど，自分たちにできることを考えようとする。
小単元の観点別評価規準	知識・技能	・過去に発生した地域の自然災害，関係機関の協力などについて，聞き取り調査をしたり地図や年表などの資料で調べたりして，必要な情報を集め，読み取り，災害から人々を守る活動を理解している。 ・調べたことを年表や図表，文などにまとめ，地域の関係機関や人々は，自然災害に対し，様々な協力をして対処してきたことや，今後想定される災害に対し，さまざまな備えをしていることを理解している。
	思考・判断・表現	・過去に発生した地域の自然災害，関係機関の協力などに着目して，問いを見いだし，災害から人々を守る活動について考え表現している。 ・自然災害が発生した際の被害状況と災害から人々を守る活動を関連付けて，その働きを考えたり，学習したことを基に地域で起こり得る災害を想定し，日頃から必要な備えをするなど，自分たちにできることを考えたり選択・判断したりして表現している。
	主体的に学習に取り組む態度	・自然災害から人々を守る活動について，予想や学習計画を立てたり，見直したりして，主体的に学習問題を追究し，解決しようとしている。 ・学習したことを基に地域で起こり得る災害を想定し，日頃から必要な備えをするなど，自分たちにできることを考えようとしている。

本時のめあて	時数	学習活動	評価の観点と方法
(1) 地震が起きたら			
・**つかむ**　地震によって，どのようなことが起きるのでしょうか。	1	①わたしたちの住んでいる県では過去にどのような地震災害が起こったか知っていることを発表する。 ・○○で起きた地震は大きかったとお父さんが言っていた。 ②地震災害年表でも確かめてみ	[**思判表**]発言，ノート

		る。 ・○○地震というものもあった。 ・こうしてみると○○県は地震が多いね。 ③写真や地図を見て気づいたことを話し合う。 ・建物が壊れて，道路にひびが入っている。 ・火事も怖いけど津波も怖い。 ・この先，どんな対策をしているのだろう。	
(2) 地震とわたしたちのくらし			
・**つかむ**　地震によって，わたしたちのくらしはどうなるかを考え，学習問題をつくりましょう。	1	①前時と本時の写真をみて，地震がわたしたちの暮らしに与える影響や気づいたことについて話し合い，疑問から学習問題を作る。 ・家や建物が壊れて住めない。 ・学校の体育館にたくさんの人が避難して生活しているのをテレビで見たことがある。 ・私たちだけの力ではどうしようもない。 **学習問題**　地震からくらしを守るために，だれがどのようなことをしているのでしょうか。 ②地震が起きる前と起きた後で，だれが，どのようなに着目して予想を立て，学習計画を立てる。	[**思判表**]発言，ノート
(3)家庭でそなえているもの			
・**調べる**　家庭では，どのような取り組みをしているのでしょうか。	1	①家庭では地震に備えてどのような取り組みをしているか，調べてきたことをカードに書いて話し合う。 ・避難用のリュックを準備している。 ・転倒防止の金具をたんすや食器棚につけている。 ・避難場所を家族で決めている ②書いたカードを，地震が起こる前の準備や備え，起きた後の協力や対策について分けてみよう。 ・避難用のリュックは準備。 ・災害伝言ダイヤルは対策。 ・準備と対策が大切だね。	[**知技**]ノート，インタビューメモ
(4)学校や通学路でそなえているもの			
・**調べる**　学校や通学路では，どのような取り組みをしているのでしょうか。	1	①学校や通学路ではどのような準備や対策をしているか，インタビューや調査活動をしてわかったことを起きる前と起きた後に分けて発表し合う。 ・避難訓練をしている。	[**知技**]ノート，インタビューメモ

		・通学路にも防災倉庫がある ・公園のブランコがテントになるらしい。 ②前時の家庭でそなえていることについての学習と比べて似ているところや違うところを話し合う。 ・起きる前の準備と起きた後の対策をしているところは同じ。 ・学校は人数が多いので避難訓練を何度もしたり，多くの食料を準備したりしなければならない。	
(5)市の取り組み			
・調べる　市役所では，どのような取り組みをしているのでしょうか。	1	①市ではどんな準備や対策をしているか，インタビューや調査活動をしたり，市のパンフレットやホームページを見たりしてわかったことを災害が起きる前と起きた後に分けて発表し合う。 ・防災計画を立てている。 ・津波に備えて大きな防波堤を建設している。 ②市の海側の津波の被害が予想される地域では，特にどのような準備や対策が取られているか考えたことを話し合う。 ・少しでも高台に避難できるように津波避難ビルがあるらしいよ。 ・津波から身を守るための避難方法を示すパンフレットも見たことがあるよ。	**[知技]**ノート，インタビューメモ
(6) 市と住民の協力			
・調べる　市と住民は，どのような取り組みをしているのでしょうか。	1	①市と地域住民はどのように連携しているか，調べてわかったことを発表し合う。 ・市役所の人と地域の代表の人が話し合いをしている。 ・市全体の避難訓練に参加してもらう。 ②市と地域住民は連携・協力して，どのような準備や対策をしているか，インタビューをしたり，市のパンフレットやホームページを見たりしてこれまでの学習を生かして発表し合う。 ・市役所の人と一緒に避難行動計画を立てている。 ・ハザードマップをつくるときは地域の人の意見が大切。	**[知技]**ノート，インタビューメモ
(7) 住民どうしの協力			

・**調べる**　住民どうしでは，どのような取り組みをしているのでしょうか。	1	①地震災害などが起きたときのために，住民どうしが協力してつくっている地域の防災組織について調べ，わかったことや考えたことを発表し合う。 ・地域には自主防災隊という自主防災組織が作られている。 ・自主防災隊はなぜつくられたのだろう。 ②自主防災隊にはどんな組織班があって，どんな役割をしているか調べてわかったことを整理しよう。 ③自主防災隊をうまく機能させるためには，日頃からどんな関わりを地域住民同士がしていなくてはならないか話し合う。 ・隣にどんな人が住んでいるか確かめる。 ・防災倉庫の中身を一緒に確かめておく	[**知技**]ノート，インタビューメモ
(8) 地震からくらしを守る取り組みをまとめる			
・**まとめる**　地震からくらしを守るための，家庭や学校，市や地いき住民の取り組みについて，まとめてみましょう。	1	①学習問題をもとに，家や学校，市や地域の取り組みについてわかったことや考えたことをカードに書く。 ②それぞれの取り組みについてカードを整理して比べてみる。 ・どの立場でも地震が起こる前は準備が大切。 ・まずは自分の身は自分で守ることが一番。 ・自助と共助で何日間か持ちこたえなければならない。 ・大きな工事は役所や国に頼まないといけない。 ③学習問題について考えたことを話し合う。 ・自分たちにできることは何だろう。	[**思判表**]カード，発言 [**態度**]カード，発言
(9) ひなん所シミュレーション			
・**いかす**　地震が起きて，学校がひなん所になった場合，自分はどうするか考えてみましょう。	1	①地震からくらしを守るために，自分たちにできることを考える。 ・自分でできること，やるべきことがある。 ②もしも学校の体育館が避難所になったら，あなたはどうしますかという「避難所シミュレーション」というゲームをみんなでやってみる。 ・どうしてこれを選んだか理由	[**思判表**]発言，ゲーム [**態度**]発言，ゲーム

		が大切。 ・いろいろな考えがあるから，正解はないけど，避難所ではよく考えて行動しないといけない。	

単元名	きょう土の伝統・文化と先人たち（オリエンテーション）			教科書のページ	p.102～103 および地域教材等を活用※
配当時数	1 時間	活動時期	10 月	学習指導要領の内容	(4)

※この単元は，地域副読本等をご活用いただき，歴史を伝える建造物や遺跡，民俗芸能などの文化財，地域の人々が楽しみにしている祭りなどの年中行事など，調べる対象を県内に広げてご指導ください。

本時のめあて	時数	学習活動	評価の観点と方法
(1) オリエンテーション			
・わたしたちの身のまわりには，どのような古いものがあるでしょうか。	1	①それぞれが今までに気づいた古いものについて話し合う。 ・××には古いお祭りがある。 ・昔から続く芸能がある。 ・京都の古いお寺に行ったことがある，など。 ②地域の中で，今も残り伝わる史跡など，歴史を伝えるものを探し，かかわりの深い人物と結びつけながら関心をもつ。 **めあて**　県内には，どのような古いものが残されているでしょうか。また，きょう土のはってんにつくした人々は，どのようなことをしたのでしょうか。	[**態度**]発言

小単元名	残したいもの 伝えたいもの			教科書のページ	地域教材等※
配当時数	9 時間	活動時期	10～11 月	学習指導要領の内容	(4)ア-(ア)(ウ)，イ-(ア)

※この小単元は，地域副読本等をご活用いただき，歴史を伝える建造物や遺跡，民俗芸能などの文化財，地域の人々が楽しみにしている祭りなどの年中行事など，調べる対象を県内に広げてご指導ください。

小単元の目標		県内の伝統や文化について，歴史的背景や現在に至る経過，保存や継承のための取組などに着目して，見学・調査したり地図などの資料で調べたりして，年表などにまとめることで，県内の文化財や年中行事の様子を捉え，人々の願いや努力を考え，表現することを通して，県内の文化財や年中行事は，地域の人々が受けついできたことや，それらには地域の発展など人々の様々な願いが込められていることを理解できるようにするとともに，地域の伝統や文化の保存や継承に関わって，自分たちにできることを考えようとする。
小単元の	知識・技能	・歴史的背景や現在に至る経過，保存や継承のための取組などについて

観点別評価規準		見学・調査したり地図などの資料で調べたりして，必要な情報を集め，読み取り，県内の文化財や年中行事の様子を理解している。 ・調べたことを年表や文などにまとめ，県内の文化財や年中行事には地域の発展など人々の様々な願いが込められていることを理解している。
	思考･判断･表現	・歴史的背景や現在に至る経過，保存や継承のための取組などに着目して，問いを見いだし，県内の文化財や年中行事の様子について考え表現している。 ・文化財や年中行事を保存したり受け継いだりしてる人々の工夫や努力と地域の人々の願いを関連付けて，人々の願いや努力について考えたり，学習したことを基に地域の伝統や文化の保存や継承に関わって、自分たちにできることなどを考えたり選択・判断したりして，表現している。
	主体的に学習に取り組む態度	・県内の文化財や伝統行事について，予想や学習計画を立てたり，見直したりして，主体的に学習問題を追究し，解決しようとしている。 ・地域の伝統や文化の保存や継承に関わって，自分たちにできることなどを考えようとしている。

本時のめあて	時数	学習活動	評価の観点と方法
(1) 県内の伝統･文化			
・**つかむ**　県内にある古くから残るものを出し合って，学習問題をつくりましょう。	1	①県内にある古くから残るものについて話し合う。 ・古い建物がある。 ・昔からの芸能がある。 ・地域の人たちが大切にしている踊りがある。など ②学習問題をつくり，学習計画を立てる。 **学習問題**　県内にある古くから残るものには，どのような願いがこめられ，どのように受けつがれてきたのでしょうか。	[**思判表**]発言
(2)(3) 古くから残る県内の建物			
・**調べる**　古くから残る建物は，どのように守られてきたのでしょうか。	2	①具体的な建物を一つ取り上げて調べる。 ・インターネット，図書館の本，博物館，などで調べる。 ・保存会など関係者に電話などでインタビューする。 ・可能であれば見学する。 ②調べてわかったことをもとに，考えたことを話し合う。 ・建造年，建造の目的，改築などの変化。 ・保存会など関係者の取り組みについて。	[**知技**]ノート，発言
(4)(5) 古くから伝わる県内の芸のう			
・**調べる**　古くから伝わる芸のうは，どのように受けつがれてきたのでしょうか。	2	①具体的な一つの芸能を取り上げて詳しく調べてみる。 ・インターネット，図書館の本，博物館，などで調べる。 ・保存会など関係者に電話などでインタビューする。 ②写真や資料で確認しながら，わかったことをもとに，考えたことを話し合う。	[**知技**]ノート，発言

		・時代による祭りの変化 ・祭りにおける人々の協力関係。 ・地域の人たちの誇りについて，など。	
(6)(7) 昔から続く県内の祭り			
・**調べる**　昔から続く祭りには，どのような願いがこめられているのでしょうか。	2	①具体的な祭りを一つ取り上げて調べる。 ・インターネット，図書館の本，博物館，などで調べる。 ・保存会など関係者に電話などでインタビューする。 ②写真や資料を確認しながら，調べてわかったことをもとに，考えたことを話し合う。 ・祭りが行われる時期，目的，形態，担い手，祭りの変化について，など。	[**知技**]ノート，発言
(8)古くから残るものについて年表にまとめる			
・**まとめる**　県内にある古くから残るものについて，年表にまとめてみましょう。	1	①これまでに調べたことを発表して，年表にまとめる。 ・およその年代，重要な変化，その背景などがわかるように作成する。 ②つくった年表を見て，それぞれに共通することや違う点など，気づいたことを話し合う。 ・地域で残されてきたものにはどのようなものがあるか。 ・それらの古いものには，どのような思いや願いがこめられているか。 ・それらを保存・継承している人は，どのような工夫や努力をしているか。	[**思判表**]年表，発言 [**態度**]年表，発言
(9) 身近な地いきを見直そう			
・**いかす**　地いきに古くから残るものを受けつぐために，自分たちにできることを考えてみましょう。	1	①学習してきたことを生かして，地域に伝わる古くからあるものをどのように保存・継承していくか，自分たちにできることを考える。 ・積極的な担い手としてできること。 ・地域の一員としてできること。 ・新たな改善・創造の工夫。 ②実際に地域の行事を体験したり，課題解決のために情報を発信したりする取り組みを行う。 ・芸能クラブへの参加。 ・ポスターの作成。	[**思判表**]発言，作品 [**態度**]発言，作品

小単元名	谷に囲まれた台地に水を引く			教科書のページ	p.104～121
配当時数	12 時間	活動時期	11～12 月	学習指導要領の内容	(4)ア-(イ)(ウ), イ-(イ)

小単元の目標		県内の先人の働きについて，当時の世の中の課題や人々の願いなどに着目して，見学・調査したり地図などの資料で調べたりして，年表などにまとめ，地域の発展に尽くした先人の具体的事例を捉え，先人の働きを考え，表現することを通して，地域の発展に尽くした先人は，様々な苦心や努力により当時の生活の向上に貢献したことを理解できるようにするとともに，主体的に学習問題を解決しようとする。
小単元の観点別評価規準	知識･技能	・当時の世の中の課題や人々の願いなどについて，見学・調査したり地図などの資料で調べたりして，必要な情報を集め，読み取り，地域の発展に尽くした先人の具体的事例を理解している。 ・調べたことを年表や文などにまとめ，地域の発展に尽くした先人は，様々な苦心や努力により当時の生活の向上に貢献したことを理解している。
	思考･判断･表現	・当時の世の中の課題や人々の願いなどに着目して，問いを見いだし，地域の発展に尽くした先人の具体的事例について考え表現している。 ・先人の働きと地域の発展や人々の生活の向上を関連付けて考え，適切に表現している。
	主体的に学習に取り組む態度	・県内の先人の働きについて，予想や学習計画を立てたり，見直したりして，主体的に学習問題を追究し，解決しようとしている。

本時のめあて	時数	学習活動	評価の観点と方法
(1) 石でできた橋			
・**つかむ**　通潤橋を観察して，どのようなことがわかるかを話し合いましょう。 p.104～105	1	①通潤橋の写真を見て，気づいたことを発表する。 ・真ん中からいきよいよく水がふき出している。 ・石でできた橋だ。 ・橋の下が丸い形になっている。 ②なぜ，このような橋をつくったのか，考える。 ・布田保之助は，どうしてこのような橋をつくったのだろう。 ・水がふき出していることと何か関係があるのかな。	[思判表]発言，ノート
(2) 人々の願い			
・**つかむ**　白糸台地に住んでいた人々の願いをもとに学習問題をつくりましょう。 p.106～107	1	①白糸台地の地形に関する写真を読み取る。 ・深い谷に囲まれた台地だ。 ・水を確保するのが難しい。 ②白糸台地でくらす人々の願いを考える。 ・農業用水が十分でない。 ・飲み水でさえ確保できない。 ・何とかして水を引きたい。 ③学習問題をつくる。 **学習問題**　布田保之助は，どのようにして通潤橋をつくったのでしょうか。	[思判表]発言，ノート
(3)(4) 深い谷に囲まれた地形			

・**調べる**　通潤橋のまわりはどのような地形なのでしょうか。 p.108～109	2	①白糸台地の地図や鳥瞰図から地形の様子を読み取る。 ・土地の高さが色で分かれている。 ・等高線が高さを表している。 ・白糸台地は，島のようだ。 ②白糸台地の地形の特徴を整理する。 ・用水路に沿って田畑や家が見られる。 ・北部よりも南部の方の崖が急になっている。 ・北部から南部に向けて，通潤橋を通る用水路が引かれている。	[**知技**]発言，ノート
(5)用水路としての通潤橋			
・**調べる**　用水路は，どのように白糸台地に水を送っているのでしょうか。 p.110～111	1	①人物年表から布田保之助について読み取る。 ・責任感が強い地域のリーダー ・地域の人々のことを考えている。 ②イラスト地図から用水がどのように送られているかを読み取る。	[**知技**]発言，ノート
(6)水を送るくふう			
・**調べる**　深い谷に囲まれた台地に，どのように水を送ったのでしょうか。 p.112～113	1	①水を送るのに，どのような問題点があったかを整理する。 ・高いところへ水を送る工夫 ・十分な高さのある橋の建設 ・水を通す丈夫な管 ②布田保之助の働きや工夫を調べる。 ・水がふき上がる原理 ・石の管	[**知技**]発言，ノート
(7) 石の管と橋の形のくふう			
・**調べる**　水を送る管や橋の形には，どのようなくふうがあるのでしょうか。 p.114～115	1	①水を送る石の管の工夫を調べる。 ・何度も実験を繰り返した。 ・特別なしっくいでつないだ。 ②橋を丈夫にするための工夫を調べる。 ・アーチ型の石橋	[**知技**]発言，ノート
(8) 石工たちのくふう			
・**調べる**　石工たちは，どのようにして通潤橋をつくったのでしょうか。 p.116～117	1	①人物年表から橋本勘五郎について調べる。 ・たくさんの橋をつくった。 ・明治政府に招かれた。 ②石工たちの工夫を調べる。 ・熊本城の石垣を参考にした。 ・石橋づくりの手順	[**知技**]発言，ノート
(9) 土地利用の変化ときょう土の人々			
・**調べる**　通潤橋ができて，人々のくらしはどのように変わったのでしょうか。 p.118～119	1	①白糸台地の写真や棒グラフ「通潤橋ができた前後の田の広がり方」から，土地利用の変化を読み取る。 ・用水ができたことで，田畑が広がった。 ・用水路ができて，田の面積は大きく増えた。	[**知技**]発言，ノート

		②地域の人々の生活の向上と先人の働きや苦心を考える。 ・この地域にとってなくてはならないものだ。 ・用水路は今も使われている。 ・今も地域の人々が感謝している。	
(10)(11)(12) 紙しばいにまとめる			
・**まとめる**　調べてわかったことや考えたことを，紙しばいにまとめて発表しましょう。 p.120～121	3	①これまでに学習したことを紙芝居にまとめ，発表する。 ・白糸台地の人々の願いを表現しよう。 ・絵に合わせた会話を工夫して考え，初めて見たり聞いたりした人にもわかるようにしよう。	[思判表]発言，作品 [態度]発言，作品

単元名	特色ある地いきと人々のくらし(オリエンテーション)			教科書のページ	p.150～151
配当時数	1時間	活動時期	1月	学習指導要領の内容	(5)

本時のめあて	時数	学習活動	評価の観点と方法
(1) 県内の人々のくらし(オリエンテーション)			
・兵庫県には，どのような特色をもった地いきがあるのでしょうか。 p.150～151	1	①県の中で行ったことのあるまちや，よく知っているまちを発表し合う。 ・篠山市に，丹波立杭焼を見に行ったことがある。 ・姫路城に行ったことがある。 ・豊岡にコウノトリを見に行った。 ②それぞれの地域の写真を見て，特色や人々の様子について話し合う。 ・お城にはたくさんの人が来ている。	[思判表]ノート

		・商店街には大きな看板がある。 ・冬には暖かな淡路島で花祭りが開かれる。 **めあて**　県内の特色ある地域について調べ，自分たちの地いきとくらべてみましょう。	

小単元名	焼き物をつくるまち・丹波篠山市			教科書のページ	p.152～159
配当時数	7時間	活動時期	1月	学習指導要領の内容	(5)ア-(ア)(イ)，イ-(ア)

小単元の目標		県内の特色ある地域の様子について，特色ある地域の位置や自然環境，人々の活動や産業の歴史的背景，人々の協力関係などに着目して，地図帳や各種の資料で調べ，白地図などにまとめ，地域の様子を捉え，それらの特色を考え，表現することを通して，県内の特色ある地域では，人々が協力し，特色あるまちづくりや観光などの産業の発展に努めていることを理解できるようにするとともに，主体的に学習問題を解決しようとする。
小単元の観点別評価規準	知識・技能	・特色ある地域の位置や自然環境，人々の活動や産業の歴史的背景，人々の協力関係などについて地図帳や各種の資料で調べて，必要な情報を集め，読み取り，特色ある地域の様子を理解している。 ・調べたことを白地図や文などにまとめ，県内の特色ある地域では，人々が協力し，特色あるまちづくりや観光などの産業の発展に努めていることを理解している。
	思考・判断・表現	・特色ある地域の位置，人々の活動や産業の歴史的背景，人々の協力関係などに着目して，問いを見いだし，県内の特色ある地域の様子について考え表現している。 ・特色ある地域の人々の活動や産業とそれらの地域の発展を関連付けたり，自分たちの住む地域と比較したりして県内の地域の特色を考え，適切に表現している。
	主体的に学習に取り組む態度	・県内の特色ある地域の様子について，予想や学習計画を立てたり，見直したりして，主体的に学習問題を追究し，解決しようとしている。

本時のめあて	時数	学習活動	評価の観点と方法
(1) 焼き物のふるさと			
・**つかむ**　丹波篠山市の焼き物について，気づいたことを話し合い，学習問題をつくりましょう。 p.152～153	1	①丹波篠山市今田町で受け継がれてきた焼き物づくりについて，手紙・写真・地図などの資料から，気づいたことを話し合う。 ・丹波篠山市今田町には，丹波立杭焼の窯元がたくさんある。 ・とても大きなのぼりがまがあり，街の宝になっている。	[**思判表**]発言，ノート

		・丹波立杭焼は，給食の食器にも使われている。 ②丹波篠山市の焼き物づくりについて，気づいたことや疑問に思うことから学習問題をつくり，予想を話し合う。 **学習問題**　丹波篠山市では，なぜ焼き物づくりがさかんになり，どのように焼き物をまちづくりに生かしているのでしょうか。	
(2)(3) 原料の土と焼きがま			
・調べる　丹波篠山市今田町では，なぜ焼き物づくりがさかんなのでしょうか。 p.154～155	2	①航空写真や窯元の分布図から，焼き物に必要な土や燃料はどのように手に入れているか予想する。 ・山に囲まれているから，そこから土や木を取ってくるのではないか。 ・川の水は関係あるのかな。 ②土や燃料となる木の入手方法について，写真や文章をもとに調べ，焼き物づくりがさかんなわけを考える。 ・地元や隣町の土を原料に使う。 ・山に囲まれ，燃料の木が手に入りやすい。 ・山あいに多数の窯元が広がっている。 ③「かま元の大上さんの話」をもとに，のぼりがまの歴史やよさを調べる。 ・約400年前に伝わり，今も使われている。 ・短い時間で大量の焼き物をつくることができる。	**[知技]**発言，ノート
(4)(5) 丹波立杭焼をつくる			
・調べる　丹波立杭焼は，どのようにしてつくられるのでしょうか。 p.156～157	2	①写真をもとに，丹波立杭焼ができるまでの工程を調べ，難しそうなところや疑問に思うことなどを話し合う。 ・最初に粘土をこねて，形をつくる。 ・乾かした後に電気がまで一度焼く。 ・うわ薬をかけて，最後にのぼりがまで焼く。 ②窯元に聞きたいことを整理する。 ・焼き物づくりを始めたきっかけ ・一人前になるまでの期間 ・焼き物づくりのよさや魅力 ③インタビューや窯元からの手紙などからわかったことや感	**[知技]**発言，ノート

		じたことを発表し合う。	
(6) 丹波立杭焼とまちづくり			
・**調べる**　丹波篠山市の人々は，丹波立杭焼をどのようにまちづくりに生かしているのでしょうか。p.158	1	①陶器まつりについて調べる。 ・毎年10月に行われ，約10万人が来る。 ・窯元の人も張り切っている。 ・陶の郷では，体験をしたり，特産品を買ったりできる。 ②「かま元での直売」の写真をもとに，陶器まつりを開くまちの人たちの気持ちや集まる人たちの思いについて話し合う。 ・窯元の人は力を入れて作品づくりをする。 ・丹波立杭焼が広まるといいと思う。 ・年に一度の楽しみなのではないかな。 ③丹波立杭焼の技術を伝え，よさを知ってもらうためのまちの人たちの取り組みについて考える。 ・陶芸教室での体験は焼き物に親しみを持つことにつながる。 ・特産品の販売は，丹波立杭焼の宣伝になる。	[**知技**]発言，ノート
(7)ノートにまとめる			
・**まとめる**　これまで調べてきたことを整理して，学習問題についてまとめましょう。 p.159	1	①調べてきたことを振り返り，絵を使いながらノートにまとめる。 ・焼き物づくりが盛んになったわけ ・丹波立杭焼を生かす取り組み ②学習を通して，わかったことや考えたことを話し合う。 ・伝統を生かした焼き物づくりが続けられている。 ・焼き物を生かしたまちづくりが進められている。 ・いつまでも焼き物の伝統を大切にしたいという人がたくさんいる。	[**思判表**]ノート [**知技**]ノート

小単元名	世界とつながるわたしたちの県			教科書のページ	p.178～185
配当時数	7 時間	活動時期	2 月	学習指導要領の内容	(5)ア-(ア)(イ)，イ-(ア)

小単元の目標		県内の特色ある地域の様子について，特色ある地域の位置や自然環境，人々の活動や産業の歴史的背景，人々の協力関係などに着目して，地図帳や各種の資料で調べ，白地図などにまとめ，地域の様子を捉え，それらの特色を考え，表現することを通して，県内の特色ある地域では，人々が協力し，特色あるまちづくりや観光などの産業の発展に努めていることを理解できるようにするとともに，主体的に学習問題を解決しようとする。
小単元の観点別評価規準	**知識・技能**	・特色ある地域の位置や自然環境，人々の活動や産業の歴史的背景，人々の協力関係などについて地図帳や各種の資料で調べて，必要な情報を集め，読み取り，特色ある地域の様子を理解している。 ・調べたことを白地図や文などにまとめ，県内の特色ある地域では，人々が協力し，特色あるまちづくりや観光などの産業の発展に努めていることを理解している。
	思考・判断・表現	・特色ある地域の位置，人々の活動や産業の歴史的背景，人々の協力関係などに着目して，問いを見いだし，県内の特色ある地域の様子について考え表現している。 ・特色ある地域の人々の活動や産業とそれらの地域の発展を関連付けたり，自分たちの住む地域と比較したりして県内の地域の特色を考え，適切に表現している。
	主体的に学習に取り組む態度	・県内の特色ある地域の様子について，予想や学習計画を立てたり，見直したりして，主体的に学習問題を追究し，解決しようとしている。

※この小単元では，県内の「国際交流に取り組んでいる地域」について学習します。『新編 新しい社会３・４下』は現行の学習指導要領にもとづいているため，県内の様々な地域を取り上げていますが，新学習指導要領の主旨にもとづき，調べる対象は県内の一つの地域にしぼるようご留意ください。

本時のめあて	時数	学習活動	評価の観点と方法
(1) ほかの地いきや国とのつながり			
・**つかむ**　兵庫県とほかの地いきや国とのつながりについて話し合い，学習問題をつくりましょう。 p.178～179	1	①教科書の写真から，兵庫県とほかの地域や国とのつながりを予想し合う。 ・外国からたくさんの観光客が来ている。 ・神戸港には外国からの船が来ている。 ・豊岡でつくられたお米が，他の地域でも売られている。 ②兵庫県と他の地域や国とはどのようなつながりがあるか疑問に思うことをもとに学習問題をつくり，予想を話し合う。 **学習問題**　兵庫県は，ほかの地いきや国と，どのようにつながっているのでしょうか。	[**思判表**]発言，ノート
(2)(3)港がある神戸			
・**調べる**　港がある神戸は，世界とどうつながっているのでしょうか。 p.180～181	2	①神戸港の写真や世界地図から，神戸と外国とのつながりについて予想し話し合う。 ・コンテナの積み下ろしに便利なように海岸線が直線になっている。 ・たくさんの国や地域が，神戸港とつながっている。 ②「みなと総局の永峰さんの話」をもとに，神戸港と世界とのつながりを調べ，まとめ	[**知技**]発言，ノート

		る。 ・世界有数の貿易港 ・年間に約7000隻の外国の貨物が出入りし，約250万個のコンテナを扱っている。 ・神戸港は1000年以上の歴史があり，約140年前からは欧米との貿易も始まった。	
(4)(5) 兵庫県と世界とのつながり			
・**調べる**　兵庫県は，世界とどのようにつながっているのでしょうか。 p.182～183	2	①兵庫県と世界の国々との貿易以外のつながりについて調べる。 ・中国とのつながりを示す中華街 ・姫路城とフランスのシャンティイ城，明石海峡大橋とデンマークのグレートベルト橋などの姉妹関係 ・ロシアの協力でよみがえったコウノトリ ②兵庫県と姉妹関係にある国の位置と，国旗を調べ，世界とどのようにつながっているか考える。 ・アメリカやブラジル，フランスなどいろいろな国と姉妹・友好提携を結んでいる。 ・どの国にも特徴的な国旗がある。 ・兵庫県の特色やよさが，世界のいろいろな国とつながっている。	[知技]発言，ノート
(6)(7) わたしたちの兵庫県			
・**まとめる**　兵庫県とほかの地いきや国とのつながりについて，調べてきたことを整理してノートにまとめましょう。 p.184～185	2	①空路・航路の地図で兵庫県とつながっている都市を調べ，気づいたことを話し合う。 ・航空路で北海道から沖縄県まで結ばれている。 ・フェリーで結ばれている都市もある。 ②これからの兵庫県について話し合い，自分の考えを文章にまとめる。 ・歴史や文化を生かした観光のまちづくりを大切にしたい。 ・コウノトリなどを育む自然環境の豊かなまちづくりを大切にしたい。 ・他の地域や国とのつながりを大切にして，魅力のある県にしていきたい。	[思判表]ノート [知技]ノート

小単元名	**コウノトリを育てるまち・豊岡市** ▼城を守るまち・姫路市(p.168～175)とどちらかを選んで学習しましょう。			**教科書のページ**	p.160～167
配当時数	7 時間	**活動時期**	2～3 月	**学習指導要領の内容**	(5)ア-(ア)(イ)，イ-(ア)

小単元の目標	県内の特色ある地域の様子について，特色ある地域の位置や自然環境，人々の活動や産業の歴史的背景，人々の協力関係などに着目して，地図

		帳や各種の資料で調べ，白地図などにまとめ，地域の様子を捉え，それらの特色を考え，表現することを通して，県内の特色ある地域では，人々が協力し，特色あるまちづくりや観光などの産業の発展に努めていることを理解できるようにするとともに，主体的に学習問題を解決しようとする。
小単元の観点別評価規準	**知識･技能**	・特色ある地域の位置や自然環境，人々の活動や産業の歴史的背景，人々の協力関係などについて地図帳や各種の資料で調べて，必要な情報を集め，読み取り，特色ある地域の様子を理解している。 ・調べたことを白地図や文などにまとめ，県内の特色ある地域では，人々が協力し，特色あるまちづくりや観光などの産業の発展に努めていることを理解している。
	思考･判断･表現	・特色ある地域の位置，人々の活動や産業の歴史的背景，人々の協力関係などに着目して，問いを見いだし，県内の特色ある地域の様子について考え表現している。 ・特色ある地域の人々の活動や産業とそれらの地域の発展を関連付けたり，自分たちの住む地域と比較したりして県内の地域の特色を考え，適切に表現している。
	主体的に学習に取り組む態度	・県内の特色ある地域の様子について，予想や学習計画を立てたり，見直したりして，主体的に学習問題を追究し，解決しようとしている。

本時のめあて	時数	学習活動	評価の観点と方法
(1) コウノトリのまち			
・**つかむ**　豊岡市が，コウノトリで有名なわけを話し合い，学習問題をつくりましょう。 p.160～161	1	①写真や文章から，豊岡市がコウノトリで有名なわけを読み取り，発表する。 ・豊岡市は，絶滅したコウノトリを自然に帰すことに成功した。 ②③の写真を見て，豊岡市の土地の様子について話し合う。 ・豊岡市は，山に囲まれていたり，大きな川が流れていたりする自然が豊かなところだ。 ・川のまわりには田んぼが広がっている。 ・コウノトリにとって暮らしやすいところなのだろうか。 ③コウノトリがよみがえった理由や工夫など，疑問に思うことから学習問題をつくり，予想を話し合う。 **学習問題**　たくさんの人たちに親しまれているコウノトリは，どのようにして守られたり，生かされたりしているのでしょうか。	[**思判表**]発言，ノート
(2)(3) よみがえったコウノトリ			
・**調べる**　コウノトリを自然に帰す取り組みは，いつごろから行われたのでしょうか。 p.162～163	2	①自然放鳥の記念式典の写真をもとに，人々の気持ちを考える。 ・みんなとてもうれしそう。 ・豊岡市の人々はコウノトリを大切にしていると思う。 ②絶滅したコウノトリをよみがえらせる取り組みを，年表や文章をもとに調べる。	[**知技**]発言，ノート

		・絶滅前から保護して育てていた。 ・ロシアから6羽のコウノトリが送られた。 ・1992年からは自然に帰す取り組みをし，2005年に自然放鳥をした。 ③コウノトリの郷公園は，どんなことをしているか調べる。 ・野生のコウノトリが絶滅する前から人工飼育に取り組んでいた。 ・コウノトリを育て，自然に帰す取り組みをしている。 ・今は公園の外でも50羽以上の野生のコウノトリが生活している。	
(4)(5) コウノトリを守り育てる			
・**調べる**　豊岡市の人々は，コウノトリを守り育てるために，どんなことをしているのでしょうか。 p.164～165	2	①写真や文章からまちの人たちとコウノトリとのつながりについて読み取る。 ・トラックの運転手さんは，コウノトリが農道を渡るまで待っている。 ・コウノトリのために，農薬を減らして米作りをしている。 ②コウノトリを守り育てる工夫について知りたいことを整理し，市役所の方にメールや手紙で質問する。 ・田んぼにたくさんの生き物がいるようにする。 ・地域の人や農家の人が湿地やビオトープをつくっている。 ・小学生がコウノトリKIDSクラブに参加し，他の県とも交流をしている。 ③まちの人たちが，コウノトリについてどう思っているか話し合う。 ・自然環境を大切にして，コウノトリと共生しようとしている。	[**知技**]発言，ノート
(6) コウノトリを生かす			
・**調べる**　豊岡市の人々は，コウノトリをどのように生かしているのでしょうか。 p.166	1	①スーパーマーケットや朝市の写真から「コウノトリの舞」が売られていることを知り，どのようなものか調べる。 ・減農薬や無農薬の農産物に「コウノトリの舞」という印を付けている。 ②「コウノトリの舞」に，どのような願いがあるか考える。 ・安全で安心な農作物ということを多くの人に知ってほしい。 ・多くの人に買ってほしい。	[**知技**]発言，ノート
(7)ノートにまとめる			
・**まとめる**　これまで調べてきた	1	①調べてきたことを振り返り，	[**思判表**]ノート

ことを整理して，学習問題についてまとめましょう。 p.167		絵を使いながらノートにまとめる。 ・コウノトリを守る取り組み。 ・コウノトリを生かす取り組み。 ②学習を通して，わかったことや考えたことを話し合う。 ・豊岡市の人々は，力を合わせてコウノトリを守り育てている。 ・コウノトリを生かしたまちづくりが進められている。 ・コウノトリが生きる自然を大切にしていきたい。	[知技]ノート

小単元名	城を守るまち・姫路市 ▼コウノトリを育てるまち・豊岡市(p.160～167)とどちらかを選んで学習しましょう。			教科書のページ	p.168～175
配当時数	7 時間	活動時期	2～3 月	学習指導要領の内容	(5)ア-(ア)(イ)，イ-(ア)

単元の目標		県内の特色ある地域の様子について，特色ある地域の位置や自然環境，人々の活動や産業の歴史的背景，人々の協力関係などに着目して，地図帳や各種の資料で調べ，白地図などにまとめ，地域の様子を捉え，それらの特色を考え，表現することを通して，県内の特色ある地域では，人々が協力し，特色あるまちづくりや観光などの産業の発展に努めていることを理解できるようにするとともに，主体的に学習問題を解決しようとする。
単元の観点別評価規準	知識・技能	・特色ある地域の位置や自然環境，人々の活動や産業の歴史的背景，人々の協力関係などについて地図帳や各種の資料で調べて，必要な情報を集め，読み取り，特色ある地域の様子を理解している。 ・調べたことを白地図や文などにまとめ，県内の特色ある地域では，人々が協力し，特色あるまちづくりや観光などの産業の発展に努めていることを理解している。
	思考・判断・表現	・特色ある地域の位置，人々の活動や産業の歴史的背景，人々の協力関係などに着目して，問いを見いだし，県内の特色ある地域の様子について考え表現している。 ・特色ある地域の人々の活動や産業とそれらの地域の発展を関連付けたり，自分たちの住む地域と比較したりして県内の地域の特色を考え，適切に表現している。
	主体的に学習に取り組む態度	・県内の特色ある地域の様子について，予想や学習計画を立てたり，見直したりして，主体的に学習問題を追究し，解決しようとしている。

本時のめあて	時数	学習活動	評価の観点と方法
(1) 城のまち			
・つかむ　城のある姫路市について，知っていることやふしぎに思うことを話し合い，学習問題をつくりましょう。 p.168～169	1	①姫路市に行ったときのことや，知っていることを出し合う。 ・県の西側にあって瀬戸内海に面している。 ・姫路城は世界文化遺産だ。 ・外国からもたくさんの人が観光に来ていた。 ②姫路にどんな宝があるか確かめる。 ・お城祭りやゆかた祭りがあ	[思判表]発言，ノート

		る。 ③姫路城について不思議に思うことから学習問題をつくり，予想を話し合う。 ・どのように守られているのだろう。 ・どのようなことに生かされているのだろう。 ・観光にも生かされているのではないかな。	
		学習問題　たくさんの人たちに親しまれている姫路城は，どのようにして守られたり，生かされたりしているのでしょうか。	
(2)(3) 姫路城を守る取り組み			
・**調べる**　まちの人たちは，姫路城をどのように守ってきたのでしょうか。 p.170～171	2	①写真や年表などから，姫路城がどのように守られてきたのか調べる。 ・中村重遠の努力で，130年以上前に国が保存を決めた。 ・明治，昭和，平成にも修理が行われている。 ・今も，大切に守る取り組みが続いている。 ②「しっくい職人の柴田さんの話」から，城を守り伝える人は，どんな気持ちで働いているのか考え，話し合う。 ・大切な宝を，未来に伝えたい。	[**知技**]発言，ノート
(4)(5) 姫路城とまちづくり			
・**調べる**　姫路城を生かした活動はどのように行われているのでしょうか。 p.172～173	2	①写真やグラフを見て，気づいたことを出し合う。 ・姫路城を説明してくれるお年寄りや外国語ガイドをしてくれるボランティアの人がいる。 ・2005年には，外国語ボランティアが，4500人近くの観光客を案内している。 ・多くの市民が城とかかわっている。 ②姫路城を生かした取り組みについて，写真や文章から調べる。 ・小学生も姫路城の清掃に加わっている。 ・観光ループバスも走り，観光に生かされている。 ・映画など文化に生かされている。	[**知技**]発言，ノート
(6) 世界の宝　姫路城			
・**調べる**　姫路城は，なぜ世界文化遺産になったのでしょうか。 p.174	1	①姫路城が世界文化遺産になったわけを予想する。 ・歴史があるから。 ・何度も修理しながら，今も大切にされているから。 ・世界にはないお城だから。 ②「姫路城管理事務所の石川さんの話」をもとに，姫路城が	[**知技**]発言，ノート

		世界文化遺産になった理由を調べ，話し合う。 ・木造建築としての美しさ。 ・やぐら，門，土の塀，石垣，堀などが良好に保存されている。 ・日本独自の城のつくり方をよく表している。 ③姫路城のひみつを絵カードなどにまとめる。	
(7)ノートにまとめる			
・**まとめる**　これまで調べてきたことを整理して，学習問題についてまとめましょう。 p.175	1	①調べてきたことを振り返り，絵を使いながらノートにまとめる。 ・姫路城を守る取り組み ・姫路城を生かす取り組み ②学習を通して，わかったことや考えたことを話し合う。 ・姫路の人々は，力を合わせて姫路城を守っている。 ・姫路城を生かしたまちづくりが進められている。 ・世界の宝「姫路城」を大切に守り，未来に伝えていきたい。	[思判表]ノート [知技]ノート

本時のめあて	時数	学習活動	評価の観点と方法
(1) 特色ある地いきのよさを伝えよう			
・**いかす**　県内の特色ある地いきについて整理し，そのよさをカードにかいてみんなに伝えてみましょう。 p.176～177	1	①県内の特色ある地いきについて，調べたことをもとに，特色がわかるように表にまとめる。 ・宝物 ・地域の特色 ・守るための活動（人々の願い) ②それぞれの違いや共通点について，比べて考えたことを発表し合う。 ・伝統的な産業，伝統文化など，それぞれの地域に特色やまちの宝がある。 ・どの地域でも，特色やまちの宝を生かしたまちづくりに取り組んでいる。 ③特色ある地域のよさを伝えるカードをつくり，相互に発表したり，校内外に掲示したりする。	[思判表]発言，作品 [態度]ノート・発言・作品・観察

二之江小学校	5年生社会科評価規準

単元名	1．わたしたちの国土（オリエンテーション）			教科書のページ	上 p.6～7
配当時数	1時間	活動時期	4月	学習指導要領の内容	(1)アイ

本時のめあて	時数	学習活動	評価の観点と方法
(1) オリエンテーション			
・地球の写真や地球儀を見て，調べたいと思ったことを話し合いましょう。 p.6～7	1	①地球の写真や地球儀をもとに，気づいたことや調べたいと思ったことを発表する。 ＜気づいたこと＞ ・地球の中の日本は小さい。 ・日本は細長い。 ・日本の西には，広い大陸が続いているように見える。 ・この写真の裏側にある，大陸や海はどうなっているのかな。 ＜調べたいと思ったこと＞ ・世界の大陸や海洋はどうなっているのか。 ・日本のまわりにはどのような国があるのか。 ・人はどのあたりに住んでいるのか。 ・日本の国土に住む人たちは，どのようなくらしをしているのか。 **めあて**　日本は，地球のどこにあり，人々のくらしは，どのようになっているのでしょうか。	[思判表]発言

小単元名	１．世界の中の国土			教科書のページ	上 p. 8～15
配当時数	4 時間	活動時期	4 月	学習指導要領の内容	(1) ア－(ｱ) (ｳ)，イ－(ｱ)

小単元の目標		我が国の国土の様子について，世界の大陸と主な海洋，主な国の位置，海洋に囲まれ多数の島からなる国土の構成などに着目して，地図帳や地球儀，各種の資料で調べ，まとめることで我が国の国土の様子を捉え，その特色を考え，表現することを通して，世界における我が国の国土の位置，国土の構成，領土の範囲などを大まかに理解できるようにするとともに，主体的に学習問題を解決しようとする。
小単元の観点別評価規準	知識･技能	・世界の大陸と主な海洋，主な国の位置，海洋に囲まれ多数の島からなる国土の構成などについて地図帳や地球儀，各種の資料で調べて必要な情報を集め，読み取り，我が国の国土の様子を理解している。 ・調べたことを図表や文などにまとめ，世界における我が国の国土の位置，国土の構成，領土の範囲などを大まかに理解している。
	思考･判断･表現	・世界の大陸と主な海洋，主な国の位置，海洋に囲まれ多数の島からなる国土の構成などに着目して，問いを見いだし，我が国の国土の様子について考え表現している。 ・我が国の国土の位置や形状，面積などの情報を総合して我が国の国土の特色を考え，適切に表現している。
	主体的に学習に取り組む態度	・我が国の国土の様子について，予想や学習計画を立てたり，見直したりして，主体的に学習問題を追究し，解決しようとしている。

本時のめあて	時数	学習活動	評価の観点と方法
(1) 世界の中の日本			
・**つかむ**　地球の様子や地図を見て話し合い，世界の中の日本について学習問題をつくりましょう。 p.8～9	1	①地球儀をながめて，疑問に思ったことを発言する。 ②p. 8「地球儀の見方・使い方」をもとに地球儀の使い方を学習する。 ・緯度，経度による位置の読み取り ・距離の測り方 ・自分の住む都道府県から見た，方位のとらえ方 ・地図と地球儀の違い ③p. 8～9 の地図や地球儀をもとに世界の主な大陸や海洋を確認する。 ・六つの大陸と三つの海洋の位置と名称。 ④地図や地球儀をもとに，日本の位置を確認し，世界の広がりとの関係について気づいたことや考えたことなどを発表し，それをもとに学習問題をつくる。 ・日本はユーラシア大陸の東にあって，太平洋の西にある。 ・日本のほかにどのような国々があるのかな。 **学習問題**　世界から見た日本の国土は，どこにあり，どのように広がっているのでしょうか。	[**思判表**]ノート

		⑤学習計画を立てる。 ・世界の国々と日本 ・日本の国土の広がり ・日本の領土	
(2) 世界の国々と日本の位置			**★他教科との関連:外国語**
・調べる　世界の主な国々と日本の位置や国旗について調べてみましょう。 **p.10〜11**	1	①p. 10〜11 の地図をもとに，世界の国の場所や国旗，その国の様子，日本との位置関係などについて地図帳や地球儀で調べながら，線でつないだり，国名を空欄に書き入れたりする。 ≪作業１≫ ・国名の入っている国は，線でつなぐ。 ≪作業２≫ ・国名がないものは，地図帳や地球儀で国名を調べ，書き込む。 ≪作業３≫ ・日本と同じ緯度や経度にある国を，地球儀や地図帳で調べる。 ②線で結んだり，書き込んだりした地図をもとに，気づいたことや思ったことを話し合う。 ・大陸だけでなく島にも国がある。 ・国旗は似ているものもあるが，それぞれ違っていて，その国の人々の歴史や願いが込められているものもある。	**[知技]**教科書への書き込み
(3) 多くの島からなる日本			
・調べる　日本の国土は，どのような特色があるのでしょうか。 **p. 12〜13**	1	①p. 12〜13 の地図や写真などから，日本の国の広がりや日本のまわりの国々を調べ，気づいたことを話し合う。 ・国土は，四つの大きな島と沖縄島や択捉島などの 6,800 以上の多くの島でできている。 ・長い海岸線をもつ。 ・日本の東西南北のはしは，南鳥島，与那国島，沖ノ鳥島，択捉島で，南北約 3000ｋｍの距離がある。 ・日本は，海をへだてて外国と接している。 ②国土の広がりの特色について，話し合う。 ・まわりを海に囲まれている島国。 ・多くの島が南北につらなる国。	**[知技]**ノート

(4)領土をめぐる問題			
・**調べる**　日本の領土のはんいは，どのようになっているのでしょうか。 p. 14	1/2	①p. 14～15 の地図や写真から，日本の領土・領海の範囲を確認する。 ・日本は，多くの島からなるため，領土よりも領海の方が広い。 ・西之島が誕生して領海が広がった。 ②p. 14～15 の地図や写真，本文から領土の範囲をめぐる問題について理解する。 ・北方領土は，日本固有の領土である。 ・竹島は，日本固有の領土であるが，韓国が不法に占領しているため，日本は抗議を続けている。 ・尖閣諸島は，日本固有の領土である。	[**知技**]ノート
(4)表にまとめる			
・**まとめる**　日本の国土の特色について，まとめてみましょう。 p. 15	1/2	①これまでに調べたことを，表にまとめることを通して，学習をふり返り，そこからわかる日本の国土の特色についてまとめる。 ・日本は，ユーラシア大陸の東，太平洋の西にある。 ・日本は，アメリカ合衆国やフランスなどと同じくらいの緯度にある。 ・日本は，大韓民国や中華人民共和国，ロシア連邦と隣り合っている。 ・日本は，海に囲まれ多くの島からなる。 ・広い領海をもっている。	[**思判表**]ノート [**態度**]記入された表

小単元名	2. 国土の地形の特色			教科書のページ	上 p. 16～21
配当時数	3 時間	活動時期	4 月	学習指導要領の内容	(1) ア-(イ) (ウ)，イ-(イ)

小単元の目標		我が国の国土の様子について，国土の地形に着目して，地図帳や地球儀，各種の資料で調べ，まとめることで国土の自然などの様子や地形に特色ある地域の人々の生活を捉え，国土の自然環境の特色やそれらと国民生活との関連を考え，表現することを通して，我が国の国土の地形の概要を理解できるようにするとともに，主体的に学習問題を解決しようとする。
小単元の観点別評価規準	知識･技能	・国土の地形などについて地図帳や地球儀，各種の資料で調べて，必要な情報を集め，読み取り，国土の自然などの様子や地形に特色ある地域の人々の生活を理解している。 ・調べたことを図表や文などにまとめ，我が国の国土の地形の概要を理解している。
	思考･判断･表現	・国土の地形などに着目して，問いを見いだし，国土の自然などの様子や自然条件から見て特色ある地域の人々の生活について考え表現している。 ・我が国の位置や地形から，我が国の国土の自然環境の特色を考え，適切に表現している。
	主体的に学習に取り組む態度	・我が国の国土の地形について，予想や学習計画を立てたり，見直したりして，主体的に学習問題を追究し，解決しようとしている。

本時のめあて	時数	学習活動	評価の観点と方法
(1) 空から国土をながめてみよう			
・**つかむ**　高い空から日本を見て，日本の地形について話し合い，学習問題をつくりましょう。 p.16～17	1	①p. 16～17 の写真をもとに日本の地形上の特色について気づいたことを話し合い，学習問題をつくる。 ・海岸が入り組んでいる。 ・山の上の方まで人が住んでいる土地もある。 ・山もあれば平らな土地もある。 ・空から見る様子には，場所によって違いがある。 ・国土の場所によってどのような特色があるのかな。 **学習問題**　国土の地形には，どのような特色があるのでしょうか。 ②学習計画を立てる。 ・山地や平地など，国土の地形の様子や広がり。 ・川や湖の様子や広がり。	[**思判表**]ノート
(2) 国土のさまざまな地形			
・**調べる**　山地や平地の特色や広がりはどのようになっているのでしょうか。 p. 18～19	1	①p. 19 の資料6の地図を読み取る活動を通して，国土の山地や平地について気づいたことを発表する。 ・山脈，高地，平野などさまざまな地形がある。 ②p. 18 の資料2をもとにさまざ	[**知技**]ノート

		まな地形の種類と資料1，3，4の写真を関連づけ，その特徴を読み取る。 ・飛騨山脈は山が連なっている。 ・松本盆地のまわりには山が見える。 ・庄内平野には最上川が流れ，遠くに山が見える。 ③p. 19 の資料5，6，7をもとに，国土の地形の特色をまとめる。 ・山地や山脈とよばれる地形は，四つの島の主に中央にあるが，場所によっては海にぎりぎりまで迫っているようなところもある。 ・関東平野は広そうだが，そのほかの平野のなかには，海と山に挟まれて細長く見えるところもある。 ・火山も多い。 ・国土の 4 分の 3 は山地で，平地が少ない。	
(3) 日本の川や湖の特色			
・調べる 日本の川や湖は，どのような特色があるのでしょうか。 p. 20	1/2	①p. 20 資料1，2，3や地図帳を使い，児童にとって身近な河川の上流や下流（河口含む），湖について確認する。 ・合流を繰り返し，大きな川になる。 ・河川の上流は山地で，下流になると平野を流れている。 ・山地や平地に湖が見られる。 ②p. 20 資料3と5，6を関連づけ，日本の川と湖の特色をまとめる。 ・日本の川は，すごく急で短いということが，資料5のグラフからわかる。 ・日本でいちばん大きい湖は琵琶湖で，２番目に大きい霞ヶ浦の約 4 倍の大きさである。	**[知技]**ノート
(3) 白地図にまとめる			
・まとめる 国土の地形の特色について，まとめてみましょう。 p. 21	1/2	①p. 21 の白地図を完成させ，p. 19 の資料6や地図帳と併せて，特徴的な地形とその場所などを当てるクイズを出し合う。 ＜クイズの例＞ ・「日高山脈に水源があって十勝平野を流れている川は何。」→「十勝川です」 ・「琵琶湖から流れ出ている川	**[思判表]**まとめの文章 **[態度]**白地図

		は何川で，なんという平野を流れている。」→「淀川で，大阪平野を流れています」 ②国土の地形の特色についての学習をふり返り，感想と自分の考えを文章に表現する。	

小単元名	３．低い土地のくらし			教科書のページ	上 p. 22～31
配当時数	5 時間	活動時期	5 月	学習指導要領の内容	(1)ア-(ｲ)(ｳ)，イ-(ｲ)

小単元の目標		我が国の国土の様子について，国土の地形に着目して，地図帳や地球儀，各種の資料で調べ，まとめることで低い土地の自然などの様子や低い土地の人々の生活を捉え，国土の自然環境の特色やそれらと国民生活との関連を考え，表現することを通して，我が国の国土の地形の概要や，人々は自然環境に適応して生活していることを理解できるようにするとともに，主体的に学習問題を解決しようとする。
小単元の観点別評価規準	知識･技能	・国土の地形などについて地図帳や地球儀，各種の資料で調べて，必要な情報を集め，読み取り，国土の自然などの様子や低い土地の人々の生活を理解している。 ・調べたことを図表や文などにまとめ，低い土地の人々が自然環境に適応して生活していることを理解している。
	思考･判断･表現	・国土の地形などに着目して，問いを見いだし，国土の自然などの様子や低い土地の人々の生活について考え表現している。 ・我が国の位置や地形の側面から，我が国の国土の自然環境の特色を考えたり，低い土地の自然条件と人々の生活や産業を関連付けて考えたりし，適切に表現している。
	主体的に学習に取り組む態度	・低い土地のくらしについて，予想や学習計画を立てたり，見直したりして，主体的に学習問題を追究し，解決しようとしている。

本時のめあて	時数	学習活動	評価の観点と方法
(1) 堤防に囲まれた土地			
・つかむ　海津市の土地の様子や，人々の生活について考え，学習問題をつくりましょう。 p.22～23	1	①海津市の航空写真を見て，土地の様子を話し合う。 ・三つの大きな川に挟まれている土地です。そこは平らです。 ・畑か田んぼのようなものが見えるが何を育てているのだろう。 ②土地の高さの地図の０ｍよりも低いところに色をぬって海津市の土地の高さを調べる。 ・市の半分以上が０ｍよりも低いけれど，ここに人が住めるのかな。 ・低い土地ならではのくらしの工夫はあるのかな。 ③学習問題をつくる。 ・まわりに大きな川が三本も流れていて，洪水にならないのかな。 **学習問題**　大きな川に囲まれた海津市に住む人々のくらしや産業には，どのようなくふうがあるのでしょうか。	[思判表]ノート，発言
(2) 学習の進め方			
・学習問題をつくり，学習の進め方を確認しよう。 p. 24～25	1	①小単元の「つかむ→調べる→まとめる→いかす」という学習の流れを確認する。	[思判表]ノート，発言

		②各学習過程には，「ふり返ろう」があることも確認する。 ・学習問題について，予想を立て，実際に見学したり，インターネットやガイドブック，写真や地図などで調査したりして，「低い土地に住む人々のくらしや産業」を調べる計画を立てる。 ＜調べること＞ ・水害からくらしを守るくふう ・低い土地での水を生かしたくらしや産業のくふう ＜調べ方＞ ・教科書を使って調べる。 ・教科書以外で調べる。（インターネット，パンフレット，市のホームページ，図書館，地図帳など） ＜まとめ方＞ ・調べてわかったこと，疑問に対する答えをノートにまとめる。 ・わかった事実をもとに，考えたことをノートに書き分ける。	
(3) 水害とたたかってきた人々			
・**調べる**　輪中に住む人々は，水害から生活をどのように守ってきたのでしょうか。 p. 26～27	1	①120 年ほど前の川の流れの図（資料3）と，千本松原（資料1）や，p. 22 の航空写真を比べて，昔の川の流れがどのように変化したのか，わかったことを話し合う。 ・昔は川が入り組んでいた。輪中がたくさんあった。 ・今の方が川がまっすぐになっている。 ②歴史民俗資料館の服部さんの話を読み，どのようにして川がまっすぐになり，輪中がまとまったのかを，話し合う。 ・江戸時代の治水工事で千本松原ができた。 ・明治時代になってから，デレーケが川の流れを分けることに成功した。 ③河川改修が成功した後は，完全に水害がなくなったのか，資料5を読み取ってわかったことを話し合う。 ・1900 年の三川分流工事以降は，大きな水害の発生件数は大幅に減った。	[**知技**]ノート

		・しかし，水害がゼロになったわけではない。 ・今でも水害に備えて水防演習をしたり，水防倉庫を備えたりするなど水害への準備をしている。	
(4) 豊かな水を生かした農業			
・調べる　輪中に住む人々は，豊かな水をどのように農業に生かしているのでしょうか。 p. 28〜29	1	①農作業の様子を表す絵や写真（資料1）と，田の様子の変化を表す写真（資料4・5）を見くらべて，海津市の農業がどのように変わってきたのかを話し合う。 ・昔は，沼か池のような田で稲作を行っていたが，現在では，水たまりや水路のような部分はなくなり，普通の水田になっている。 ・海津市の主な農産物のグラフ（資料2）と，ビニールハウスでのトマト栽培の写真（資料3），「農家の山田さんの話」を読み比べてわかったことを話し合う。 ・稲の生産が一番多い。 ・大豆，麦，野菜，果物など畑でつくるものも多くなってきている。 ・大きな排水機場ができて，余計な水を輪中の外にくみ出しているからだ。 ②資料6用水路と排水路を見て，畑作に必要な水をどのように確保しているのか，わかったことを話し合う。 ・排水路は市内のいろいろなところに分布している。 ・用水路は，市内の東側で北部に多い。 ・p. 23 資料4を見ると，用水路が多いのは，標高が０m以上の場所だとわかる。	**[知技]**ノート
(5) 水を生かした生活			
・調べる　海津市の人々は，豊かな水をどのように生活に生かしているでしょうか。 p. 30	1/2	①資料1〜6から，低い土地ならではの楽しみを見つけて話し合う。 ・木曽三川公園で遊べる。 ・ヨットが楽しめる。 ・魚料理が楽しめる。 ・温泉や歴史民俗資料館もある。	**[知技]**ノート
(5) ノートにまとめる			

・**まとめる**　海津市の人々のくらしや産業におけるくふうについて，ノートにまとめましょう。 p. 31	1/2	①p. 31 のノート例のように，わかったことを考えて書く。 ・沼のような昔の田は，普通の田になっている。稲の生産が一番多い。 ・畑で生産するものも多い。 ・大きな排水機場による排水と，揚水機場と用水路による配水がある。 ・低い土地ならでは楽しみがある。	[**思判表**]まとめの文章

小単元名	３．高い土地のくらし			教科書のページ	上 p. 32～39
配当時数	5 時間	活動時期	5 月	学習指導要領の内容	(1) ア-(ｲ) (ｳ)，イ-(ｲ)

小単元の目標		我が国の国土の様子について，国土の地形に着目して，地図帳や地球儀，各種の資料で調べ，まとめることで高い土地の自然などの様子や高い土地の人々の生活を捉え，国土の自然環境の特色やそれらと国民生活との関連を考え，表現することを通して，我が国の国土の地形の概要や，人々は自然環境に適応して生活していることを理解できるようにするとともに，主体的に学習問題を解決しようとする。
小単元の観点別評価規準	知識･技能	・国土の地形などについて地図帳や地球儀，各種の資料で調べて，必要な情報を集め，読み取り，国土の自然などの様子や高い土地の人々の生活を理解している。 ・調べたことを図表や文などにまとめ，高い土地の人々が自然環境に適応して生活していることを理解している。
	思考･判断･表現	・国土の地形などに着目して，問いを見いだし，国土の自然などの様子や自然条件から見て特色ある地域の人々の生活について考え表現している。 ・我が国の位置や地形の側面から，我が国の国土の自然環境の特色を考えたり，高い土地の自然条件と人々の生活や産業を関連付けて考えたりし，適切に表現している。
	主体的に学習に取り組む態度	・高い土地のくらしについて，予想や学習計画を立てたり，見直したりして，主体的に学習問題を追究し，解決しようとしている。

本時のめあて	時数	学習活動	評価の観点と方法
(1) 山のすそ野に広がる高原			
・**つかむ**　山に囲まれた高い土地の様子とそこに住む人々のくらしについて考え，学習問題をつくりましょう。 p.32～33	1	①嬬恋村の航空写真を見て，土地の様子を話し合う。 ・なだらかな斜面には畑のようなものが見える。 ・高原の奥には高い山がそびえている。 ②嬬恋村と東京の月別平均気温を比べてわかったことを話し合う。 ・嬬恋村は 1 年を通して，東京よりも気温が低い。 ③嬬恋村の土地利用図を読み込んでわかったことや疑問を話し合う。 ・キャベツ畑がある。多いのは，標高 1000m～1400mの範囲。 ・どうして標高の高いところでキャベツをつくるのかな。 ④p. 33 の本文と嬬恋高原キャベツマラソン大会の写真資料からわかることを読み取って発表する。 ・夏でも涼しいからマラソン大会ができるのかな。 ・面白い大会名だけど，そんなにキャベツがたくさん穫れるのかな。	[思判表]ノート，発言

		⑤学習問題をつくる。 ・どうしてキャベツをつくるのかな。 ・東京よりも寒い気候でキャベツはできるのかな。 ・高い土地で生活するためにはどのような工夫をしているのかな。 **学習問題**　高い土地に住む人々のくらしや産業には，どのようなくふうがあるのでしょうか。	
(2) 学習の進め方			
・学習問題をつくり，学習の進め方を確認しよう。 p. 24～25	1	①小単元の「つかむ→調べる→まとめる→いかす」という学習の流れを確認する。 ②各学習過程には，「ふり返ろう」があることも確認する。 ・学習問題について，予想を立て，実際に見学したり，インターネットやガイドブック，写真や地図などで調査したりして，「高い土地に住む人々のくらしや産業」を調べる計画を立てる。 ＜調べること＞ ・高い土地に住む人々のくらしや産業 ・それぞれ，どのようなくふうがあるのか。 ・高い土地で生活する楽しみにはどのようなものがあるのか。 ＜調べ方＞ ・教科書を使って調べる。 ・教科書以外で調べる。（インターネット，パンフレット，市のホームページ，図書館，地図帳など） ＜まとめ方＞ ・調べてわかったこと，疑問に対する答えをノートにまとめる。 ・わかった事実をもとに，考えたことをノートに書き分ける。	[思判表]ノート，発言
(3) あれ地を耕し広い畑に			
・**調べる**　嬬恋村の人々は，どのようにして今のような土地にしてきたのでしょうか。 p. 34～35	1	①昔の嬬恋村の写真を見て，嬬恋村でキャベツの生産がさかんになった理由や歴史の流れについてわかったことを話し合う。 ・嬬恋村の周辺には 2000m を超える高い山がたくさんあり，それらの火山の噴火で火山灰	[知技]ノート

		が積もった土地だ。 ・火山灰のやせた土地でなかなか作物が育たなかった。 ・夏でも涼しい気候を生かした栽培方法が工夫されてキャベツづくりがさかんになった。 ・昭和の初め頃まで産業がほとんどなかった。 ・昭和 10 年ごろに国道が通って，交通が便利になった。	
(4) 夏に新鮮なキャベツをとどける			★他教科との関連：算数
・**調べる**　嬬恋村のキャベツづくりには，どのようなくふうがあるのでしょうか。 p. 36～37	1	①p. 36～37 写真から，キャベツづくりの 1 年の様子で工夫していることをノートに書き出す。 ・予冷庫で冷やすことによって，鮮度を保ったまま，消費地にとどけることができる。 ②資料5「嬬恋村のキャベツごよみ」を関連づけて読む。 ・種まきをずらすことによって，春から秋まで長い期間，何回にも分けて出荷できる。 ③資料6「季節ごとのキャベツの産地」を見てわかったことをノートに書く。 ・夏秋キャベツは，半分が群馬県産で，群馬県は高原の涼しい気候を生かしてキャベツ栽培を行っていることがわかる。	[知技]ノート
(5) 自然のめぐみを生かす			
・**調べる**　嬬恋村の人々は，豊かな高原の自然を，どのように生活に生かしているのでしょうか。 p. 38	1/2	①写真資料から，高い土地ならではの楽しみを見つけて話し合う。 ・冬は，スキーやスケートができる。 ・夏は，サイクリングや自転車レースができる。 ・地元で収穫されたキャベツが学校給食に出される。	[知技]ノート
(5) ノートにまとめる			
・**まとめる**　嬬恋村の人々のくらしや産業におけるくふうについて，ノートにまとめましょう。 p. 39	1/2	①p. 39 のノート例のように，わかったことを考えて書く。 ・嬬恋村では，そこに住む人々が地形や気候に適応して生活している。 ・特に，高原野菜の生産や，季節ごとの気候を生かした観光産業を行うことを通して，高原の自然環境を生かした生活をしている。	[思判表]ノート [態度]ノート

小単元名	4. 国土の気候の特色			教科書のページ	上 p. 42～47
配当時数	3 時間	活動時期	5 月	学習指導要領の内容	(1)ア-(ｲ)(ｳ)，イ-(ｲ)

小単元の目標		我が国の国土の様子について，国土の気候に着目して，地図帳や地球儀，各種の資料で調べ，まとめることで国土の自然などの様子や自然条件から見て特色ある地域の人々の生活を捉え，国土の自然環境の特色やそれらと国民生活との関連を考え，表現することを通して，我が国の国土の気候の概要を理解できるようにするとともに，主体的に学習問題を解決しようとする。
小単元の観点別評価規準	知識･技能	・国土の気候などについて地図帳や地球儀，各種の資料で調べて，必要な情報を集め，読み取り，国土の自然などの様子や気候に特色ある地域の人々の生活を理解している。 ・調べたことを図表や文などにまとめ，我が国の国土の気候の概要を理解している。
	思考･判断･表現	・国土の気候などに着目して，問いを見いだし，国土の自然などの様子や自然条件から見て特色ある地域の人々の生活について考え表現している。 ・我が国の位置や気候から，我が国の国土の自然環境の特色を考え，適切に表現している。
	主体的に学習に取り組む態度	・我が国の国土の気候について，予想や学習計画を立てたり，見直したりして，主体的に学習問題を追究し，解決しようとしている。

本時のめあて	時数	学習活動	評価の観点と方法
(1) 四季の変化がある日本の気候			★他教科との関連：理科
・**つかむ**　日本の気候について考え，学習問題をつくりましょう。 p.42～43	1	①p. 42 の写真（長野県松本市）をもとに，身近な地域の四季の変化と比較しながら，気づいたことを発表し合う。 ・四季の様子。 ・つゆの時期や台風がくる時期がある。 ・日本のどこでも同じような変化が見られるのだろうか。 ②桜の咲き始める時期を示した日本列島の地図（資料2）や３月の各地の様子（資料3～6）を見せ，地域によっても気候が異なることに気づかせ，学習問題につなげる。 ・桜のさきはじめる時期は，場所によってちがう。 ・３月の沖縄と北海道では，あたたかさが大きく異なる。 ・つゆや台風の影響も，地域ごとに異なるのかな。 **学習問題**　日本の気候には，どのような特色が見られるのでしょうか。	[思判表]ノート

(2) つゆと台風，季節風			
・調べる　日本のつゆや台風，季節風には，どのような特色があるのでしょうか。 **p. 44～45**	1	①日本の気候を特色づけている梅雨（つゆ），台風，降雪に関わる景観写真を見て，どの季節のどこの写真か予想する。 ②p. 44 の資料[1]で，7 月と１月の平均降水量を比較をする。 《日本列島全体の特色》 ・日本列島全体では，夏（7 月）に降水量が多く，冬（1 月）は少ない。 《地域ごとの違い》 ・太平洋側は夏に降水量（雨）が多く，日本海側は冬に降水量（雪）が多い。 ・北海道では夏でも雨が少ない地域がある。 ・沖縄は冬でも雨が多い。 ③資料[2]～[7]や本文から，夏と冬の降雨量が異なる理由を確認する。 ・夏は，つゆや台風の影響で雨が多く降る。 ・雨は，農業にとってめぐみの雨となるが，台風などによって被害がでることがある。 ・特に太平洋側は季節風の影響で雨が多く降る。 ・冬は，季節風の影響によって日本海側で雪が多く降る。	**[知技]**ノート
(3) 地域によってことなる気候			
・調べる　各地の気候には，どのような特色があるのでしょうか。 **p. 46～47**	1/2	①p. 46 資料[1]の気温と降水量のグラフや「まなび方コーナー」をもとに，グラフの読み取り方を学ぶ。 ②日本の気候を六つに区分した地図と，各地の気温と降水量のグラフを見比べて考えたことを話し合う。 ・北（北海道）と南（沖縄）で気温が大きく異なる。 ・季節風の影響で，太平洋側は夏に降水量（雨）が多く，日本海側は冬に降水量（雪）が多い。 ・中央高地や瀬戸内海などの日本の内陸側の降水量は海側よりも少ない。 ・山地などの高いところでは，気温が低くなる。	**[知技]**プリント
(3)ノートにまとめる			
・まとめる　日本の気候の特色についてまとめましょう。	1/2	①日本の気候の特色と各地の気候に影響をあたえるものをキ	**[思判表]**まとめの文章 **[態度]**ノート

p. 47		ーワードであげ，整理する。 ②キーワードを使い，考えたことをノートにまとめ，みんなで話し合う。	

小単元名	5. あたたかい土地のくらし			教科書のページ	上 p. 48～55
配当時数	4 時間	活動時期	6 月	学習指導要領の内容	(1)ア-(ｲ)(ｳ)，イ-(ｲ)

小単元の目標		我が国の国土の様子について，国土の気候に着目して，地図帳や地球儀，各種の資料で調べ，まとめることであたたかい土地の自然などの様子やあたたかい土地の人々の生活を捉え，国土の自然環境の特色やそれらと国民生活との関連を考え，表現することを通して，我が国の国土の気候の概要や，人々は自然環境に適応して生活していることを理解できるようにするとともに，主体的に学習問題を解決しようとする。
小単元の観点別評価規準	知識･技能	・国土の気候などについて地図帳や地球儀，各種の資料で調べて，必要な情報を集め，読み取り，国土の自然などの様子やあたたかい土地の人々の生活を理解している。 ・調べたことを図表や文などにまとめ，あたたかい土地の人々が自然環境に適応して生活していることを理解している。
	思考･判断･表現	・国土の気候などに着目して，問いを見いだし，国土の自然などの様子やあたたかい土地の人々の生活について考え表現している。 ・我が国の位置や気候の側面から，我が国の国土の自然環境の特色を考えたり，あたたかい土地の自然条件と人々の生活や産業を関連付けて考えたりし，適切に表現している。
	主体的に学習に取り組む態度	・あたたかい土地のくらしについて，予想や学習計画を立てたり，見直したりして，主体的に学習問題を追究し，解決しようとしている。

本時のめあて	時数	学習活動	評価の観点と方法
(1) 沖縄県の家やくらしのくふう			
・**つかむ**　沖縄県の家やくらしのくふうについて考え，学習問題をつくりましょう。 p.48～49	1	①写真を見ながら，自分たちのくらしている地域との違いを発表し合う。 ・わたしたちの学校のプール開きは 6 月だよ。 ・3 月はまだ長袖を着ているよね。 ②グラフを見て，沖縄県の気候の特色を話し合う。 ・1 月でも気温が 15 度以上あるね。 ・雨がたくさん降るんだね。 ・台風が多いみたいだ。 ③沖縄の家の写真やイラストを見て，気づいたことを話し合う。 ・わたしの家にはない工夫がたくさんあるよ。 ・暑さや水不足に備えた工夫があるんだね。 **学習問題**　沖縄県の人々は，あたたかい気候をどのようにくらしや産業に生かしているのでしょうか。	[**思判表**]発言
(2) あたたかい気候に合った農業			
・**調べる**　沖縄県の人々は，あたたかい気候を生かしてどのような産業を営んでいるのでしょうか。 p. 50～51	1	①写真とグラフからさとうきび栽培について話し合う。 ・さとうきびの栽培がさかんだね。 ・竹のような作物だね。	[**知技**]発言

		・どうやって砂糖にするのかな。 ②製糖会社の話を読み，沖縄の自然環境にあったさとうきびについて話し合う。 ・さとうきびは沖縄の気候に合っているんだね。 ・沖縄の人々はさとうきび栽培を大切にしてきたんだね。 ③写真からパイナップル栽培について話し合う。 ・わたしたちの住んでいる地域ではパイナップルは作っていないね。 ・パイナップルはあたたかい国の作物だよね。 ④パイナップル農家の話や電照菊の栽培について読み，沖縄の自然環境に合った農業について話し合う。 ・沖縄の人々はあたたかい気候を生かした農業を工夫しているんだね。	
(3) あたたかい気候を生かした観光と沖縄の課題			
・調べる　沖縄では，あたたかい気候をどのように生かしているのでしょうか。 p. 52～53	1	①写真とグラフから沖縄の自然と観光について話し合う。 ・白い砂浜やさんごしょうがきれいだね。 ・プロ野球のキャンプも行われているんだね。 ・観光客が増えているね。 ②県庁の方の話を読んで，沖縄の観光について意見を発表し合う。 ・美しい自然やあたたかい気候を生かした観光を行っているんだね。 ・外国からの観光客を増やす工夫もしているね。 ③写真や米軍基地の話から沖縄の課題について意見を発表する。 ・美しいさんごしょうは温暖化などによって白くなってしまうんだね。 ・アメリカの軍用地が残されているね。	**[知技]**ノート
(4)古くからの文化を守る			
・調べる　沖縄県の文化は，どのようなものでしょうか。 p. 54	1/2	①写真から沖縄の文化について気づいたことを発表し合う。 ・色鮮やかな建物や服装だね。 ・食べ物も特徴があるね。 ②沖縄の文化について調べる。 ・古くからアジアの国々と貿易をしていたんだね。	**[知技]**発言

		・南にある島だから，独自の文化が生まれたんだね。	
(4)表にまとめてキャッチコピーをつくる			
・まとめる　あたたかい土地のくらしの特色を表にまとめ，キャッチコピーをつくりましょう。 p. 55	1/2	①沖縄の特色を表にまとめる。 ・これまでの学習を表にまとめてみよう。 ②学習したことをもとに，沖縄の特色を表すキャッチコピーを作る。 ・産業も文化も自然や気候と切り離せないね。	**[思判表]**キャッチコピー **[態度]** ノート

小単元名	5. 寒い土地のくらし			教科書のページ	上 p. 56～63
配当時数	4 時間	活動時期	6 月	学習指導要領の内容	(1)ア-(ｲ)(ｳ)，イ-(ｲ)

小単元の目標		我が国の国土の様子について，国土の気候に着目して，地図帳や地球儀，各種の資料で調べ，まとめることで寒い土地の自然などの様子や寒い土地の人々の生活を捉え，国土の自然環境の特色やそれらと国民生活との関連を考え，表現することを通して，我が国の国土の気候の概要や，人々は自然環境に適応して生活していることを理解できるようにするとともに，主体的に学習問題を解決しようとする。
小単元の観点別評価規準	知識･技能	・国土の気候などについて地図帳や地球儀，各種の資料で調べて，必要な情報を集め，読み取り，国土の自然などの様子や寒い土地の人々の生活を理解している。 ・調べたことを図表や文などにまとめ，寒い土地の人々が自然環境に適応して生活していることを理解している。
	思考･判断･表現	・国土の気候などに着目して，問いを見いだし，国土の自然などの様子や寒い土地の人々の生活について考え表現している。 ・我が国の位置や気候の側面から，我が国の国土の自然環境の特色を考えたり，寒い土地の自然条件と人々の生活や産業を関連付けて考えたりし，適切に表現している。
	主体的に学習に取り組む態度	・寒い土地のくらしについて，予想や学習計画を立てたり，見直したりして，主体的に学習問題を追究し，解決しようとしている。

本時のめあて	時数	学習活動	評価の観点と方法
(1) 北海道の家やくらしのくふう			
・**つかむ**　北海道のくらしのくふうについて考え，学習問題をつくりましょう。 p.56～57	1	①写真を見ながら，自分たちのくらしている地域との違いを発表し合う。 ・わたしたちの学校ではスキー学習はないね。 ・こんなに雪が積もっているんだね。 ②グラフを見て，北海道の気候の特色を話し合う。 ・1 月などは 0 度を下回っているね。 ・冬の降水量も多いね。 ・雪が多いみたいだ。 ③北海道の家の写真やイラストを見て，気づいたことを話し合う。 ・わたしの家にはない工夫がたくさんあるよ。 ・寒さや雪に備えた工夫があるんだね。 **学習問題**　北海道の人々は，雪や寒い気候をどのようにくらしや産業に生かしているのでしょうか。	[**思判表**]発言
(2) 札幌市の雪対策と雪を生かした観光			

・**調べる**　札幌市に住む人々は，雪とともにどのような生活を営んでいるのでしょうか。 p. 58～59	1	①写真から雪対策について話し合う。 ・雪が山のようにつまれているね。 ・雪をとかす施設やためておく施設が市内にたくさんあるね。 ②雪対策室の人の話を読み，雪対策について話し合う。 ・人々の生活に影響が出ないように様々な工夫をしているんだね。 ③雪まつりの写真から，雪を生かした取り組みについて意見を発表し合う。 ・雪を使って楽しそうなことをしているね。 ・誰がこんな大きな雪像を作ったのかな。 ④グラフや市役所の方の話を読んで，雪の多さを生かした観光について話し合う。 ・北海道の人々は雪の多さを生かした観光を工夫しているんだね。	[**知技**]発言
(3) 十勝地方の自然を生かした農業			
・**調べる**　十勝地方の人々は，自然を生かしてどのような産業を行っているのでしょうか。 p. 60～61	1	①写真と図表から十勝地方の農業について話し合う。 ・とても広い農地だね。 ・たくさんの農産物ができそうだ。 ・何を作っているんだろう。 ②農家の方の話を呼んで，十勝地方の農業について意見を発表し合う。 ・広い土地を生かして農業をしているんだね。 ・病気を防ぐために輪作などの工夫もしているんだね。 ③1 4の写真資料などと「まなび方コーナー」から農業の特色を話し合う。 ・道から道まで 545mの区画なんて想像できないほど広い畑だね。 ・広い土地だから大型の機械が使えるんだね。 ・こんな広い土地でじゃがいもを作っているんだね。	[**知技**]ノート
(4)守ってきた文化を受けつぐ			
・**調べる**　北海道に伝わるアイヌの文化は，どのようなものでしょうか。 p. 62	1/2	①写真から北海道の文化について気づいたことを発表し合う。 ・特徴のある服装だね。 ・食べ物も特徴があるね。 ②北海道の文化について調べ	[**知技**]発言

		る。 ・昔から先住民族のアイヌの人々が生活しているんだね。 ・本州やロシアと交流しながら独自の文化を作ってきたんだね。	
(4)表にまとめてキャッチコピーをつくる			
・**まとめる**　寒い地方のくらしの特色を表にまとめ，キャッチコピーをつくりましょう。 p. 63	1/2	①北海道の特色を表にまとめる。 ・これまでの学習を表にまとめてみよう。 ②学習したことをもとに，北海道の特色を表すキャッチコピーを作る。 ・産業も文化も自然や気候と切り離せないね。	[**思判表**]キャッチコピー [**態度**]ノート

単元名	２．わたしたちの生活と食料生産（オリエンテーション）			教科書のページ	上 p.66～67
配当時数	1時間	活動時期	6月	学習指導要領の内容	(2)アイ

本時のめあて	時数	学習活動	評価の観点と方法
(1) 給食の材料			
・わたしたちは，ふだん，どのようなものを食べているのでしょうか。 p.66～67	1	①地域の名産品を使った全国の給食の写真を見比べて，わかったことや考えたことを発表し合う。 ・全国にはいろいろな給食がある。 ・名産品を使った給食はとてもおいしそう。 ・わたしたちの学校の給食にも，地域の名産品を使ったこんだてがある。 ・給食にはいろいろな材料が使われている。 ②学校の給食のこんだてを分類して，わかったことや考えたことを発表し合う。 ・みそしるの具の中に，地域の名産品がある。 ・給食のこんだては，米や豆，果物，水産物，野菜，畜産物に分類できる。 ・給食の材料は，地域だけでなく，全国各地より集められている。 **めあて**　わたしたちが食べているものは，どこでどのようにつくられ，運ばれてきているのでしょうか。	[思判表]発言・ノート [態度]発言・ノート

小単元名	1. くらしを支える食料生産			教科書のページ	上 p. 68～75
配当時数	4 時間	活動時期	6 月	学習指導要領の内容	(2) ア-(ｱ) (ｳ)，イ-(ｱ)

小単元の目標		我が国の農業や水産業における食料生産について，生産物の種類や分布，生産量の変化，輸入など外国との関わりなどに着目して，地図帳や地球儀，各種の資料で調べ，まとめることで食料生産の概要を捉え，食料生産が国民に果たす役割を考え，表現することを通して，我が国の食料生産は，自然条件を生かして営まれていることや，国民の食料を確保する重要な役割を果たしていることを理解できるようにするとともに，主体的に学習問題を解決しようとする。
小単元の観点別評価規準	知識･技能	・生産物の種類や分布，生産量の変化，輸入など外国との関わりなどについて地図帳や地球儀，各種の資料で調べて，必要な情報を集め，読み取り，食料生産の概要を理解している。 ・調べたことを白地図や文などにまとめ，我が国の食料生産は，自然条件を生かして営まれていることや，国民の食料を確保する重要な役割を果たしていることを理解している。
	思考･判断･表現	・生産物の種類や分布，生産量の変化，輸入など外国との関わりなどに着目して，問いを見いだし，食料生産の概要について考え表現している。 ・我が国の農産物や水産物の種類や生産量，農業や水産業が盛んな地域の分布などの情報を総合したり，農業や水産業における食料生産と国民生活を関連付けたりして食料生産が国民生活に果たす役割を考え，適切に表現している。
	主体的に学習に取り組む態度	・我が国の食料生産の概要について，予想や学習計画を立てたり，見直したりして，主体的に学習問題を追究し，解決しようとしている。

本時のめあて	時数	学習活動	評価の観点と方法
(1) 産地調べ			
・**つかむ**　わたしたちが食べている食料品の産地について調べ，学習問題をつくりましょう。 p. 68～69	1	①スーパーマーケットのちらしから食料品を切り取り，都道府県ごとに地図に貼り付けて，気づいたことや考えたことを発表し合う。 ・米は主に寒いところで生産されている。 ・野菜は，わたしたちが生活しているところに近いところで生産されている。 ・みかんは主にあたたかいところで，りんごは主に寒いところで生産されている。 ・北海道の魚もある。 ・外国から来た食料品もたくさんある。 ・全国各地から集まった食料品を，わたしたちはふだん食べている。 **学習問題**　わたしたちのくらしを支えている食べ物の産地は，どのように広がっているのでしょうか。	[**思判表**]発言・白地図

(2) 日本の米づくり			★他教科との関連：算数
・**調べる**　米の主な産地はどこでしょうか。 p. 70～71	1	①日本各地の 6 月の米づくりの様子がわかる写真や，米の収穫量に関わる地図から，米の生産地について，気づいたことや考えたことを発表し合う。 ・気候のちがいによって，米づくりの進め方が異なる。 ・米は主に寒いところでたくさんつくられている。 ・米はあたたかいところでもつくられている。 ・もっとも多く米をつくっている地方は，東北地方である。	[**知技**]発言・ノート
(3) 農産物の産地			
・**調べる**　野菜，果物，畜産の産地はどのように広がっているのでしょうか。 p. 72～73	1	①日本の農産物の生産額の変化や，野菜，果物，畜産物の主な産地と特色を調べ，わかったことや考えたことを発表し合う。 ・米の生産額は減っている。 ・畜産物や野菜の生産額は増えている。 ・野菜の産地は，関東地方が多い。 ・りんごは寒いところ，みかんはあたたかいところに多い。 ・畜産物の産地は，北海道と九州地方に多い。 ・野菜，果物，畜産物の生産量の高い地域は，それぞれ異なっている。 ・野菜，果物，畜産物は，日本各地で生産されている。	[**知技**]発言・ノート
(4)地図にまとめる			
・**まとめる**　わたしたちが食べている食べ物の主な産地はどのようなところか，まとめましょう。 p. 74～75	1	①これまで学習してきたことをもとにして，わたしたちが食べている食料品を生産している主な産地についてまとめる。 ・米は，東北地方や北海道，新潟県で生産がさかん。 ・野菜は，気候などの自然の特色をいかして，全国各地で生産されている。 ・果物は，りんごは寒いところ，みかんはあたたかいところ，気候のちがいによって，産地が大きく異なる。 ・畜産物は，牧草をつくる広い土地が必要なので，北海道や九州地方が主な産地になっている。 ・水産物の水あげ量は，千葉県の銚子港が第一位である。	[**思判表**]発言・ノート [**態度**]発言・ノート

小単元名	２．米づくりのさかんな地域	教科書の	上 p. 76～93

				ページ	
配当時数	8時間	活動時期	7月	学習指導要領の内容	(2)ア-(ｲ)(ｳ)，イ-(ｲ)

小単元の目標		我が国の米の生産について，生産の工程，人々の協力関係，技術の向上，輸送，価格や費用などに着目して，地図や各種の資料で調べ，まとめることで，米づくりに関わる人々の工夫や努力を捉え，その働きを考え，表現することを通して，我が国の米づくりに関わる人々が，生産性や品質を高めるよう努力したり輸送や販売方法を工夫したりして，良質な米を消費地に届けるなど，食料生産を支えていることを理解できるようにするとともに，主体的に学習問題を解決しようとする。
小単元の観点別評価規準	知識･技能	・米の生産の工程，人々の協力関係，技術の向上，輸送，価格や費用などについて，地図や各種の資料で調べて，必要な情報を集め，読み取り，米づくりに関わる人々の工夫や努力を理解している。 ・調べたことを図表や文などにまとめ，我が国の米づくりに関わる人々が，生産性や品質を高めるよう努力したり輸送や販売方法を工夫したりして，良質な米を消費地に届けるなど，食料生産を支えていることを理解している。
	思考･判断･表現	・米の生産の工程，人々の協力関係，技術の向上，輸送，価格や費用などに着目して，問いを見いだし，米づくりに関わる人々の工夫や努力について考え表現している。 ・米づくりの仕事の工夫や努力とその土地の自然条件や需要を関連付けて米づくりに関わる人々の働きを考え，適切に表現している。
	主体的に学習に取り組む態度	・我が国の米の生産について，予想や学習計画を立てたり，見直したりして，主体的に学習問題を追究し，解決しようとしている。

本時のめあて	時数	学習活動	評価の観点と方法
(1) 庄内平野をながめて，地形と気候の特色			★他教科との関連：家庭
・つかむ　庄内平野はどのようなところなのでしょうか。 p.76～79	1	①庄内平野の航空写真を見て，気づいたことや，景観の特色についてわかったことを発表し合う。 ・平らな土地が広がっている。 ・水田がたくさんある。 ・川が流れている。 ・山がある。 ・家や道路がある。 ・庄内平野に多くの水田があって，米づくりがさかんであることは，自然の特色と関係があるのではないかな。 ②土地利用図や雨温図，写真などを読み取ることを通して，庄内平野の地形と気候の特色について話し合う。 ・庄内平野は東西に約16kmもある。 ・庄内平野の多くは，水田に利用されている。 ・大きな川が庄内平野を流れている。 ・庄内平野の海岸沿いには防砂林があって，砂浜の砂が飛ぶことを食い止めている。	[思判表]発言・ノート

		・酒田市は宮古市と比べ，冬に降水量が多く，夏の平均気温が高い。これが米づくりに適した気候となっている。 ・庄内平野は夏になると南東からの季節風がふき，稲の病気を防いでいる。	
(2) 米づくりのさかんな庄内平野			
・**つかむ**　写真やグラフを見て，庄内平野の米づくりについて話し合い，学習問題をつくりましょう。 p. 80〜81	1	①写真やグラフを読み取り，わかったことや疑問に思ったことから学習問題をつくり，学習計画を立てる。 ・庄内平野の水田はとても大きい。 ・他の地域と比べて，庄内地方の水田の占める割合は大きい。 ・庄内平野のある山形県では，10a あたりの米の生産量が他県と比べて高い。 ・庄内平野は，日本有数の米づくりのさかんな地域と言える。 ・庄内平野の米づくりには，農家のさまざまな工夫や努力があるのではないか。 **学習問題**　庄内平野で米づくりにかかわる人々は，どのようなくふうや努力をして，よりよい米を生産しているのでしょうか。	[**思判表**]発言・ノート
(3) 祢津さんの米づくり			
・**調べる**　農家の人々は，米づくりをどのように進めているのでしょうか。 p. 82〜83	1	①専業農家である祢津さんの話やインターネットなどを活用して，農家の米づくりの仕事について調べ，農作業暦にまとめる。 ・米づくりは，3月の種もみを選ぶところから始まっている。 ・３月から 10 月まで，一年間を通して，農家は米づくりを行なっている。 ・農家は一人で米づくりを進めているわけではなく，地域の人と協力しながら，米づくりを行っている。	[**知技**]**発言**・ノート
(4) 生産性を高める米づくりのくふう			
・**調べる**　農家の人々は，米の生産性を高めるためにどのようなくふうをしてきたのでしょうか。 p. 84〜85	1	①庄内平野の農家が，生産性を高め，よりよい米づくりを進めるためにどのような工夫をしてきたかを調べ，米づくりの移り変わりについて話し合う。 ・米づくりに欠かせない水の量を上手に調整するために，庄内平野の水田にはさまざまな	[**知技**]発言・ノート

		工夫がある。 ・耕地整理を進め，庄内平野の生産性は高まってきた。 ・農家の労働時間を短縮するために，田おこしなどの機械化が進んだ。	
(5) 庄内平野の米づくりを支える人たち			
・**調べる**　農家の人々を，だれがどのように支えているのでしょうか。 p. 86～87	1	①農業協同組合や水田農業試験場などが，どのように農家を支援しているかを調べて，わかったことを発表し合う。 ・米づくりを進める上で，農業協同組合の人々の協力は欠かせない。 ・農家を支える人々が協力することで，安全でおいしい米づくりは進められる。 ・水田農業試験場では，品種改良や有機農業の研究をして，農家を支えている。 ・「つや姫」や「雪若丸」という新しい品種が開発され，庄内平野の米づくりはどんどん発展している。	[**知技**]発言・ノート
(6) おいしい米を全国に			
・**調べる**　庄内平野の米は，どのように消費者にとどけられるのでしょうか。 p. 88～89	1	①庄内平野の米が消費者に届けられるまでの様子を調べて，生産地と消費地を結ぶ輸送の働きや，米づくりにかかる費用などについて考えたことを話し合う。 ・カントリーエレベーターに保管された米は，農業協同組合の計画にしたがって，全国各地へ出荷される。 ・米の輸送には，輸送先となる消費地との距離に応じて，フェリーやトラックなどが使い分けられている。 ・米がわたしたちの手元に届くまでには，米づくりにかかる費用の他に，輸送や販売にかかる費用があり，それらを含めて，米の価格は決められる。 ・米の購入方法には，農家から直接購入する方法もある。	[**知技**]発言・ノート
(7) 米づくり農家のかかえる課題と新しい取り組み			
・**調べる**　農家の人々がかかえる課題を，どのように解決しようとしているのでしょうか。 p. 90～91	1	①農家の抱える課題について資料から読み取り，これからの米づくりについて自分が考えたことを伝え合う。 ・米の他に大豆などを栽培して，農家は生産調整をしている。 ・米の生産量が減っているのは，	[**知技**]発言・ノート

		米の消費量が減っていることと関係がある。 ・農作業の共同化は，農業従事者の減少と関係がある。 ・庄内平野の農家は，消費者との結びつきを深めるために，関東地方の小学校で出前授業を行っている。 ・農家は，環境にやさしい肥料づくりを進めている。 ・種もみの直まきに挑戦している農家もいる。	
(8) これまでの学習をふり返る			
・**まとめる**　これまでの学習をふり返り，米づくりがさかんな地域の人々のくふうや努力についてまとめましょう。 p. 92〜93	1	①これまでに調べたことをふり返って，表にまとめる。 ・内容，問い，わかったことの三つの観点を関連づけて，調べてきたさまざまなことをまとめる。 ・「庄内平野はどのようなところなのでしょうか。」という問いから，庄内平野の地形や気候の内容を学び，庄内平野の地形の特色や気候の特色を理解した。 ・「庄内平野の米は，どのように消費者にとどけられるのでしょうか」という問いから，米を消費者にとどける方法を学び，輸送のしくみや費用を理解した。	**[思判表]**発言・ノート **[態度]** 発言・ノート

小単元名	２．水産業のさかんな地域			教科書のページ	上 p.96～109
配当時数	7 時間	活動時期	9 月	学習指導要領の内容	(2)ア-(ｲ)(ｳ)，イ-(ｲ)

小単元の目標		我が国の水産業について，生産の工程，人々の協力関係，技術の向上，輸送，価格や費用などに着目して，地図や各種の資料で調べ，まとめることで，水産業に関わる人々の工夫や努力を捉え，その働きを考え，表現することを通して，我が国の水産業に関わる人々が，生産性や品質を高めるよう努力したり輸送や販売方法を工夫したりして，良質な水産物を消費地に届けるなど，食料生産を支えていることを理解できるようにするとともに，主体的に学習問題を解決しようとする。
小単元の観点別評価規準	知識･技能	・水産業の生産の工程，人々の協力関係，技術の向上，輸送，価格や費用などについて，地図帳や各種の資料で調べて，必要な情報を集め，読み取り，水産業に関わる人々の工夫や努力を理解している。 ・調べたことを図表や文などにまとめ，我が国の水産業に関わる人々が，生産性や品質を高めるよう努力したり輸送や販売方法を工夫したりして，良質な水産物を消費地に届けるなど，食料生産を支えていることを理解している。
	思考･判断･表現	・水産業の生産の工程，人々の協力関係，技術の向上，輸送，価格や費用などに着目して，問いを見いだし，水産業に関わる人々の工夫や努力について考え表現している。 ・水産業の仕事の工夫や努力とその土地の自然条件や需要を関連付けて水産業に関わる人々の働きを考え，適切に表現している。
	主体的に学習に取り組む態度	・水産業における食料生産について，予想や学習計画を立てたり，見直したりして，主体的に学習問題を追究し，解決しようとしている。

本時のめあて	時数	学習活動	評価の観点と方法
(1) 魚を消費する日本			
・**つかむ**　わたしたちの食生活と水産業について考え，学習問題をつくりましょう。 p.96～97	1	①日本の水産業の様子について，地図や統計資料等を読み取る活動を通して，わかったことや疑問に思ったことを整理して学習問題をつくり，学習計画を立てる。 ・スーパーマーケットでは，いろいろな魚が売られている。 ・日本のまわりの海では，いろいろな魚介類が多く採れる。 ・日本の一人当たりの魚や貝の消費量は世界でも非常に多い。 ・日本は，魚を多く食べるのに，魚をとる量は，減っている。 **学習問題**　長崎で水産業にかかわっている人々は，どのように魚をとり，消費者にとどけているのでしょうか。	[**思判表**]発言
(2) 魚を集めてとるまきあみ漁			
・**調べる**　長崎漁港の近海でさかんな沖合漁業は，どのように行われているのでしょうか。 p. 98～99	1	①写真やイラストから，まきあみ漁についてわかったことをノートにまとめ発表する。 ・船団を組んでまきあみ漁を行っている。 ・照明をつけているから，夜に	[**知技**]発言・ノート

		漁をしているのかな。 ・働いている人は，水にぬれないように合羽を着ている。 ・魚群探知機で魚を探したり，船の上からスマートフォンで情報を漁港に送ったりしている。 ・とれる魚の量は，天候や魚の群れのいる場所など自然環境に影響される。	
(3) 長崎漁港から食卓へ			
・**調べる**　長崎漁港に水あげされた魚は，どのようにしてわたしたちの食卓へとどくのでしょうか。 p. 100～101	1	①写真を見て，長崎漁港の様子や水あげされた魚が食卓にとどくまでの流れについてわかったことをノートにまとめる。 ・水あげ……とった魚が長崎漁港に水あげされる。魚は，種類や大きさごとに分けられる。 ・せり……魚市場でせりにかけられ，値段と買う人が決められる。せりおとした魚を買いたい人に売る。 ・トラックで運ぶ……せりおとされた魚は県内の店だけでなく，トラックに積み込まれ東京や大阪，福岡などに運ばれて売られる。魚は，他県の魚市場でもう一度せりにかけられたり，店やスーパーマーケットで売られたりする。 ・新鮮な魚を出荷するために保冷機能のついたトラックで出荷される。 ②魚が運ばれる道を道路地図で確認する。 ・長崎から，高速道路で全国に運ぶことができる。 ・東京で買う魚の値段には，どのような費用が含まれているのだろう。	[**知技**]発言・ノート
(4) つくり育てる漁業			
・**調べる**　つくり育てる漁業は，どのように行われているのでしょか。 p. 102～103	1	①写真と養殖業者の人の話から，とらふぐの養殖の様子，工夫や努力についてわかったことをノートにまとめる。 ・稚魚が成魚になって出荷されるまでに約１年半かかる。 ・ほかの魚をきずつけないように，歯切りという作業を１ぴきずつ行う。 ・台風や赤潮などの被害にも気をつけなくてはいけない。 ・生産が安定しているので地元	[**知技**]ノート

		の若い人が養殖業をやるようになってきている。 ②イラストと写真から魚や貝のたまごを育てている水産センターについてわかったことをノートにまとめる。 ・魚や貝のたまごを育てるだけでなく，病気への対応なども行っている。 ・かぎられた水産資源を守り，安定して魚がとれるように研究している。	
(5) すり身からかまぼこをつくる			
・**調べる**　長崎漁港の周辺では，どのようにして水産加工品がつくられているのでしょうか。 p. 104～105	1	①写真とかまぼこ工場の人の話から，かまぼこづくりについてわかったことをノートにまとめ，発表する。 ・漁港の近くには，いわしやあじなどの魚からすり身をつくる工場がある。 ・新鮮な魚を使ってすり身がつくられている。 ・かまぼこ工場では，すり身をさらに加工してかまぼこやちくわなどをつくっている。 ・若い人たちにもかまぼこを知ってもらおうと「長崎かんぼこ王国」などを作って宣伝している。	[知技]ノート
(6) 日本の水産業がかかえている課題			
・**調べる**　日本の水産業には，どのような課題があるのでしょうか。 p. 106～107	1	①地図とグラフから，日本の水産業の様子について読み取り，わかったことをノートにまとめる。 ・世界の海ではそれぞれの国が魚をとってよい範囲が決められている。 ・日本の遠洋漁業・沖合漁業の生産量はどんどん減ってきている。 ・水産物の輸入は増えてきている。 ・漁業で働く人の数も減ってきている。 ・わたしたちがこれからも同じように魚を食べていくためには，どうすればよいのだろう。	[知技]ノート
(7) プレゼンテーションソフトを使ってまとめる			
・**まとめる**　水産業がさかんな地域の人たちのくふうや努力について調べたことをまとめてみましょう。 p. 108～109	1	①学習したことをふり返り，プレゼンテーションソフトを使ってまとめる。 ・日本は豊富な水産資源に恵まれている。 ・長崎漁港のまわりでは，まき	[思判表]発言・プレゼンテーション [態度]発言・プレゼンテーション

		あみ漁がさかんである。 ・スマートフォンや魚群探知機なども活用して情報を早く得ることができるようにしている。 ・長崎漁港のまわりには，とった魚をすり身にする工場やかまぼこ工場がある。 ・養殖やさいばい漁業など魚をつくり育てる漁業もある。 ②まとめた作品をもとにこれからの漁業について考えたことを発表し合う。 ・漁業で働く人が増えてほしい。 ・漁業はこれからもっと機械化が進むのではないか。	

小単元名	４．これからの食料生産とわたしたち			教科書のページ	上 p.114～123
配当時数	5 時間	活動時期	9～10 月	学習指導要領の内容	(2)ア-(ｱ)(ｳ)，イ-(ｱ)

小単元の目標		我が国の農業や水産業における食料生産について，食料自給率や輸入など外国との関わり，食の安全・安心への取り組みなどに着目して，地図帳や地球儀，各種の資料で調べ，まとめることで食料生産の課題を捉え，食の安全・安心の確保，持続可能な食料生産・食料確保が重要な課題であることや，食料自給率を上げることが大切であることを理解できるようにするとともに，学習したことを基にこれからの農業などの発展について考えようとする。
小単元の観点別評価規準	知識･技能	・食料自給率や輸入など外国との関わり，食の安全・安心への取り組みなどについて，地図帳や地球儀，各種の資料で調べて，必要な情報を集め，読み取り，食料生産の課題を理解している。 ・調べたことを図表や文などにまとめ，食の安全・安心の確保，持続可能な食料生産・食料確保が重要な課題であることや，食料自給率を上げることが大切であることを理解している。
	思考･判断･表現	・食料自給率や輸入など外国との関わり，食の安全・安心への取り組みなどに着目して，問いを見いだし，食料生産の課題について考え表現している。 ・食料自給率と食生活の変化を関連づけたり，食料生産について学習してきたことを総合したりして食料生産の課題について考え，学習したことを基に，消費者や生産者の立場などから多角的に考えて，これからの農業や水産業の発展について考え表現している。
	主体的に学習に取り組む態度	・これからの食料生産について，予想や学習計画を立てたり，見直したりして主体的に学習問題を追究し，解決しようとしている。 ・学習したことを基に，消費者や生産者の立場などから多角的に考えて，これからの農業などの発展について考えようとしている。

本時のめあて	時数	学習活動	評価の観点と方法
(1)日本の食料生産をめぐる課題			
・つかむ　食料生産の課題について話し合い，学習問題をつくりましょう。 p.114～115	1	①農業や水産業の学習をふり返り，どのような課題があったか話し合う。 ・水産業ではとれる魚が少なくなり，輸入しているものもあった。 ・米の生産量と消費量が減っていた。 ・農業も水産業も働く人が減っていた。 ②日本と主な国の食料自給率について調べ，疑問に思うことを話し合い，学習問題を作る。 ・日本の食料の多くは輸入にたよっている。 ・小麦や大豆のほとんどを輸入している。 ・40 年前に比べ，自給率が約 3 分の 2 に減ったのはなぜだろう。 ・日本の食料生産にはどのよう	[思判表]発言

		な課題があるのだろう。 **学習問題**　日本の食料生産にはどのような課題があり，これからの食料生産をどのように進めたらよいのでしょうか。	
(2)わたしたちの食生活の変化と食料生産			
・調べる　食生活の変化は食料生産にどのようなえいきょうをあたえているのでしょうか。 p.116～117	1	①教科書 p.116 の写真を見ながら，毎日の食生活について話し合う。 ・わたしは朝はパンを食べることが多い。 ・ハンバーグやカレーなど，肉を使った食べ物が多い。 ②食生活の変化や食料品別の輸入量の変化を資料で調べる。 ・1960 年度と比べると米の消費量が減り，肉やその加工品，乳製品などの畜産物が増えている。 ・増えている食料品の多くは輸入に頼っている。 ③調べたことを関連づけ，食生活の変化が食料生産や食料の確保にどのような影響を与えているか考え，話し合う。 ・食生活が変化し，小麦や乳製品などがたくさん輸入されるようになった。 ・食生活は豊かになったが，自給率の高い米の消費が減り，輸入食料品が増え，自給率が下がっている。 ・食料廃棄の多さも問題になっている。	**[思判表]**ノート
(3) 食の安全・安心への取り組み			
・調べる　食の安全・安心に対する取り組みは，どのように行われているのでしょうか。 p.118～119	1	①食の安全・安心に対する取り組みについて知っていること，輸入食品で問題になること等を話し合う。 ・生産者の顔が見える野菜などがスーパーマーケットで売られている。 ・農業の学習では，農薬を使わない工夫などもあった。 ・外国ではどのような農薬を使っているのか心配。 ・気候の影響により，輸入国で農産物が収穫できなかったら，輸入ができない。 ②スーパーマーケットの店長さんの話と検疫所で働く長さんの話をもとに，食の安全・安心のためにどのような取り組みがあるか調べる。	**[知技]**ノート

		・トレーサビリティ ・日本の法律に合格した食品を輸入する。 ・検疫所での点検 ③調べたことをもとに，食の安全・安心に対する取り組みがどのように行われているか考え，話し合う。 ・トレーサビリティの取り組みや輸入食品の衛生管理が行われている。 ・しかし，輸入のための輸送では，たくさんの石油が使われている。	
(4) 食料を安定して確保する			
・調べる　食料を安定して確保し続けるためには，どのようなことが大切なのでしょうか。 p. 120	1/2	①「産業別の人口のわりあいの変化」及び「土地利用の変化」のグラフから，食料の安定確保にとって課題になることを話し合う。 ・農業や林業，水産業などで働く人が減っている。 ・畑や田の面積も減っている。 ・食料生産を行う人や場所が減っている。 ②農業協同組合の後藤さんの話をもとに，食料を安定して確保するために大切なことを調べ，考えたことを話し合う。 ・国内の食料自給率を上げるために国産のものを食べることが大切。 ・自分の住んでいる地域でとれるものを食べることも大切。 ・自分の地域で作られているものを食べると，輸送のために大量の燃料を使わなくて済む。	**[知技]**ノート
(4) これからの食料生産について考える			
・まとめる　これからの食料生産について調べたことをもとに，学習問題に対する考えをまとめましょう。 p. 121	1/2	①これまでに調べたことを，カードに書いて黒板に貼り，分類をする。 ・日本の食料生産がかかえる課題 ・食の安全・安心の取り組み ・食料を安定して確保するために大切なこと ②分類したカードを見ながら，これからの食料生産で大切だと思うことを発表し合う。 ・日本の食料自給率を上げることが大切。 ・食料自給率が上がると，農業や水産業が活発になる。 ・市で進めている地産地消の取	**[思判表]**ノート

		り組みにも進んで参加することが大切。 ・むだなく食べることも大切。 ・日本は輸入食料品が多い。食の安全・安心にも気を付けることが大切。 ③話し合ったことをもとに，これからの日本の食料生産について大切に思うことを各自ノートにまとめる。	
(5)食料生産の新たな取り組み			
・いかす　新しい食料生産のくふうをしょうかいし合い，これからの食料生産について考えましょう。 p.122～123	1	①ｐ.122～123 で紹介されている食料生産の新たな取り組みについて，グループ内で分担して調べ，発表し合う。 ・生産，加工，販売を自分たちで行う取り組み ・えさを工夫して畜産物の価値を高める取り組み ・持続可能な漁業を進める取り組み ・有機減農薬農法による米づくりの取り組み ②自分たちの県や市の農業や水産業の新たな取り組みについて，ホームページ等を利用して調べる。 ③これからの食料生産に対する考えをノートに文章でまとめる。 ・消費者は，安さや安全だけでなく，価値のあるものや高級なものも求めている。 ・生産から販売までを行う取り組みがある。 ・消費者の願いに応えながら，新しい取り組みが行われている。	**[態度]**発言 **[思判表]**ノート

単元名	3.わたしたちの生活と工業生産（オリエンテーション）			教科書のページ	下 p.2～3
配当時数	1 時間	活動時期	10 月	学習指導要領の内容	(3)アイ

本時のめあて	時数	学習活動	評価の観点と方法
(1) わたしたちの生活をとりまく工業製品			
・工業は，わたしたちの生活に，どのようにかかわっているのでしょうか。 p.2～3	1	①身のまわりの工業製品について，気づいたことを話し合う。 ・家に，冷蔵庫や電子レンジなどの電化製品がある。 ・ノートやパソコンなど学校で使うものにも工業製品があるのではないかな。 ②これまでの学習をふり返ったり，身のまわりの工業製品について考えたりしながら，工業製品と生活とのかかわりについて話し合う。 ・3 年の昔の道具の学習では，洗濯機ができて便利になったことを学習した。 ・身のまわりの工業製品は，どのようにつくられているのかな。 **めあて**　わたしたちの生活を支える工業製品は，どのようにしてつくられているのでしょうか。	[**思判表**]ノート，発言

小単元名	1. くらしを支える工業生産			教科書のページ	下 p.4～9
配当時数	3 時間	活動時期	10 月	学習指導要領の内容	(3)ア-(ア)(エ), イ-(ア)

小単元の目標		我が国の工業生産について，工業の種類，工業の盛んな地域の分布，工業製品の改良などに着目して，地図帳や地球儀，各種の資料で調べ，まとめることで工業生産の概要を捉え，工業生産と国民生活に果たす役割を考え，表現することを通して，我が国では様々な工業生産が行われていることや，国土には工業の盛んな地域が広がっていること及び工業製品は国民生活の向上に重要な役割を果たしていることを理解できるようにするとともに，主体的に学習問題を解決しようとする。
小単元の観点別評価規準	知識・技能	・工業の種類，工業の盛んな地域の分布，工業製品の改良などについて，地図帳や地球儀，各種の資料で調べて，必要な情報を集め，読み取り，工業生産の概要を理解している。 ・調べたことを白地図や文などにまとめ，我が国では様々な工業生産が行われていることや，国土には工業の盛んな地域が広がっていること及び工業製品は国民生活の向上に重要な役割を果たしていることを理解している。
	思考・判断・表現	・工業の種類，工業の盛んな地域の分布，工業製品の改良などに着目して，問いを見いだし，工業生産の概要について考え表現している。 ・我が国の工業の種類や生産額，工業生産が盛んな地域の分布などの情報を総合して工業生産が国民生活に果たす役割を考え，適切に表現している。
	主体的に学習に取り組む態度	・工業生産の概要について，予想や学習計画を立てたり，見直したりして，主体的に学習問題を追究し，解決しようとしている。

本時のめあて	時数	学習活動	評価の観点と方法
(1) わたしたちの生活に役立つ工業製品			
・つかむ　身のまわりにある工業製品について話し合い，学習問題をつくりましょう。 p.4	1/2	①身のまわりの工業製品を持ち寄り，それぞれの特徴を考えながら分類する。 ・機械もあれば，食べ物もある。 ・金属（鉄など）でできたものもあれば，プラスチックでできたものもある。 ・繊維（衣類など）でできたものもあれば，紙や陶器でできたものもある。 ・いろいろな種類の製品があるけれど，どこでつくっているのだろうか。 **学習問題**　わたしたちの生活を支えている工業製品は，どこでつくられているのでしょうか。 ②学習計画を立てる。 ・工業製品の種類や，どこで生産されているか調べたい。 ・日本ではどんな種類の工業がさかんなのか調べたい。 ・工業生産がさかんな地域は日本のどのあたりにあるのか調べたい。	[思判表]発言，分類表
(1) 日本各地の工場でつくられている工業製品			

・**調べる**　身のまわりの工業製品は，どこでつくられているのでしょうか。 p.5	1/2	①分類した工業製品がつくられた場所を調べて，発表し合うとともに，日本地図に印をつけてまとめる。 ・写真の船は，広島県呉市でつくられた。 ・音楽室にあるピアノは，静岡県掛川市でつくられた。 ・家で使っている掃除機は，茨城県日立市でつくられた。	[**知技**]ノート
(2)日本の工業生産の特色			**★他教科との関連:算数**
・**調べる**　日本の工業生産には，どのような特色があるのでしょうか。 p.6～7	1	①「工業種類別の工業生産額のわりあいの変化」「大工場と中小工場のわりあい」の二つのグラフを読み取り，日本の工業生産について気づいたことを話し合う。 ・日本の工場はほとんどが中小工場だ。 ・大工場の数は少ないが，工業生産額では半分以上を占めている。 ・1935年のグラフでは繊維工業の生産額の割合が大きいが，現在は機械工業が中心。 ②「日本の工業生産の分布」のグラフを読み取り，日本の工業生産のさかんな地域について話し合う。 ・工業がさかんな地域は，太平洋側の海沿いに広がっている。 ・最も生産額が高い中京工業地帯では，主に何がつくられているのだろう。	[**知技**]ノート
(3)工業のさかんな地域の分布と特色			
・**調べる**　日本で工業がさかんな地域には，どのような特色があるのでしょうか。 p.8	1/2	①教科書p.7「日本の工業生産の分布」のグラフを復習しながら，「太平洋ベルト」とよばれている工業地域や工業地帯の広がりを意識する。 ・太平洋ベルトの工業生産額は，日本全体の2分の1以上を占めている。 ②工業地域や工業地帯の相互のつながりや海外とのつながりにも発展させて思考を深めていく。 ・工業のさかんな地域が海沿いに多いのは，材料や製品の輸送に便利だからではないか。 ・高速道路が全国に広がって，内陸でも工業がさかんな地域が増えてきた。	[**知技**]ノート
(3)ノートにまとめる			
・**まとめる**　日本の工業のさかんな地域の特色をまとめましょう。 p.9	1/2	①日本の工業生産と工業のさかんな地域の特色について，わかったことや考えたことをノートにまとめ，話し合う。	[**思判表**]発言・ノート [**態度**]発言・ノート

		＜工業生産の特色＞ ・昔は繊維工業がさかんだったが，現在は機械工業の割合が多い。 ・工場数は，ほとんどを中小工場が占めている。一方，生産額では，半分以上を大工場が占めている。 ＜工業のさかんな地域＞ ・太平洋の海沿いに工業のさかんな地域が多く広がり，太平洋ベルトとよばれている。 ・高速道路の発達にともない，関東内陸工業地域など，内陸部にも工業のさかんな地域がある。	

小単元名	2. 自動車をつくる工業			教科書のページ	下 p.10～23
配当時数	7 時間	活動時期	10 月～11 月	学習指導要領の内容	(3)ア-(イ)(エ), イ-(イ)

小単元の目標		我が国の自動車生産について，製造の行程，工場相互の協力関係，優れた技術などに着目して，地図帳や地球儀，各種の資料で調べ，まとめることで自動車生産に関わる人々の工夫や努力を捉え，その働きを考え，表現することを通して，自動車生産に関わる人々は，消費者の需要や社会の変化に対応し，優れた製品を生産するよう様々な努力や工夫をして，自動車生産を支えていることを理解できるようにするとともに，主体的に学習問題を解決しようとする。
小単元の観点別評価規準	知識･技能	・自動車の製造の行程，工場相互の協力関係，優れた技術などについて地図帳や地球儀，各種の資料で調べて，必要な情報を集め，読み取り，自動車生産に関わる人々の工夫や努力を理解している。 ・調べたことを図表や文などにまとめ，自動車生産に関わる人々は，消費者の需要や社会の変化に対応し，優れた製品を生産するよう様々な努力や工夫をして，自動車生産を支えていることを理解している。
	思考･判断･表現	・自動車の製造の行程，工場相互の協力関係，優れた技術などに着目して，問いを見いだし，自動車生産に関わる人々の工夫や努力について考え表現している。 ・自動車生産の仕事の工夫や努力と消費者の需要や社会の変化を関連付けて，自動車生産に関わる人々の働きを考え，適切に表現している。
	主体的に学習に取り組む態度	・自動車生産について，予想や学習計画を立てたり，見直したりして，主体的に学習問題を追究し，解決しようとしている。

本時のめあて	時数	学習活動	評価の観点と方法
(1) 変わってきた自動車			★他教科との関連：算数
・**つかむ**　わたしたちの生活や産業を支える自動車は，どのような地域でつくられているのでしょうか。 p.10～11	1	①写真とグラフから，自動車の変化について，考えを発表し合う。 ・時代とともに自動車は変化しているね。 ・わたしたちの生活や要望によって変わるのかな。 ・乗用車も 80%くらい普及しているね。 ②地図を見て気づいたことを発表する。 ・豊田市に自動車工場が多いね。 ・関連工場も集まっているよ。 ・どんなところで組み立てているのかな。	[思判表]発言
(2) さかんな自動車工業			
・**つかむ**　日本の自動車工業がさかんな理由を考え，学習問題をつくり，学習計画を立てましょう。 p.12～13	1	①写真とグラフから，日本の産業にとって自動車工業が重要であることを考える。 ・大きな工場だね。 ・日本の工業のうち機械工業の生産額が一番大きいね。 ・機械工業の中でも，半分近くが自動車工業だね。 ②「まなび方コーナー」をみて学習計画を立てる。	[思判表]ノート

		・どうやって生産されているのかな。 ・関連工場の役割はなんだろう。 ・時代にあった自動車はどうやって開発されるのかな。 **学習問題**　自動車づくりにたずさわる人々は，よりよい自動車をたくさんつくるために，どのようなくふうや努力をしているのでしょうか。	
(3) 自動車を組み立てる工場			
・**調べる**　組み立て工場で働く人々は，どのように自動車をつくっているのでしょうか。 p.14～15	1	①写真から，自動車を組み立てる流れを知り，工夫を話し合う。 ・消費者の注文に合わせて，違う種類の自動車を，一つの組み立てラインで組み立てているんだね。 ・間違えないように指示ビラなどの工夫があるね。 ・部品を余らせないようにしたり，事故の起こらないようにしたりする工夫がたくさんあるね。 ②工場の方の話を読み，組み立てについてまとめる。 ・ロボットや機械の特徴を生かして，素早くたくさんの自動車を生産しているんだね。	[知技]ノート
(4)自動車の部品をつくる工場			
・**調べる**　自動車の各部品は，どのようにつくられているのでしょうか。 p.16～17	1	①図と写真から，自動車の部品をつくる工場の働きを発表する。 ・一台の自動車を生産するにはたくさんの部品が必要なんだね。 ・部品は関連工場で組み立てられているね。 ・組み立て工場のまわりにはたくさんの関連工場がある理由がわかるね。 ②シート工場の方の話を読んだり，組み立て工場と関連工場のつながりの図を見たりして，組み立て工場の工夫と役割を話し合う。 ・シートを組み立てるにもたくさんの部品が必要なんだね。 ・シートを組み立てるための部品をつくる工場もあるんだね。 ・組み立て工場と部品工場が全体で一つの大きな工場になっているんだね。	[知技]ノート

(5)世界とつながる自動車			
・**調べる**　完成した自動車は，どのようにして世界じゅうの消費者にとどけられるのでしょうか。 p.18～19	1	①写真と図から，生産された自動車はどのように消費者に届けられるのか発表する。 ・船やトラックで運ばれていくんだね。 ・工場から遠くの販売店や海外へは船で運ばれるんだね。 ・船には一度に何千台もつめるんだね。 ②自動車会社の方の話から，海外生産について意見を述べあう。 ・海外生産は年々増えているね。 ・現地の工場と日本の工場で交流して，高い品質を保っているんだね。 ・現地で生産することでその国の産業を発展させるんだね。	[**知技**]ノート
(6)人々の願いに合わせた自動車開発			
・**まとめる**　新しい自動車は，どのようにして生み出されているのでしょうか。 p.20～21	1	①これからの時代に合わせた自動車について話し合う。 ・環境にやさしい自動車が求められると思う。 ・事故が防げる自動車が大切だと思う。 ・車いすに乗ったまま移動できる車はどうかな。 ②自動車開発をする方の話を読み，消費者や社会の要望に応える自動車開発についてまとめる。 ・自動車会社はどのような自動車が求められているのか常に考えているんだね。	[**知技**]ノート
(7)新聞にまとめる			★他教科との関連：国語
・**まとめる**　これまでの学習をふり返り，日本の自動車づくりのよさを新聞にまとめましょう。 p.22～23	1	①これまでの学習を振り返り，自動車生産の工夫について意見を述べる。 ・組み立て工場では，ラインで作業をしたり，ロボットを使ったりとたくさんの工夫がありました。 ・自動車をつくるにはたくさんの部品が必要で，組み立て工場と関連工場が協力していました。 ・日本の自動車は海外でも販売されていました。 ・消費者や時代に合わせた自動車を開発していました。 ②例をもとに新聞をつくる。	[**思判表**]新聞 [**態度**]新聞

小単元名	3. 工業生産を支える輸送と貿易			教科書のページ	下 p.36～45
配当時数	5 時間	活動時期	11 月	学習指導要領の内容	(3)ア-(ウ)(エ), イ-(ウ)

小単元の目標		我が国の工業生産について，交通網の広がり，外国との関わりなどに着目して，地図帳や地球儀，各種の資料で調べ，まとめることで貿易や運輸の様子を捉え，それらの役割を考え，表現することを通して，貿易や運輸は，原材料の確保や製品の販売などにおいて，工業生産を支える重要な役割を果たしていることを理解できるようにするとともに，主体的に学習問題を解決しようとする。
小単元の観点別評価規準	知識・技能	・交通網の広がり，外国との関わりなどについて地図帳や地球儀，各種の資料で調べて，必要な情報を集め，読み取り，貿易や運輸の様子を理解している。 ・調べたことを白地図や文などにまとめ，貿易や運輸は，原材料の確保や製品の販売などにおいて，工業生産を支える重要な役割を果たしていることを理解している。
	思考・判断・表現	・交通網の広がり，外国との関わりなどに着目して，問いを見いだし，貿易や運輸の様子について考え表現している。 ・工業生産と貿易や運輸の働きを関連付けて貿易や運輸が工業生産に果たす役割を考え，適切に表現している。
	主体的に学習に取り組む態度	・工業生産における貿易や運輸について，予想や学習計画を立てたり，見直したりして，主体的に学習問題を追究し，解決しようとしている。

本時のめあて	時数	学習活動	評価の観点と方法
(1) 工業製品の輸送と日本の貿易			
・**つかむ**　日本の輸送や貿易について話し合い，学習問題をつくりましょう。 p.36～37	1	①自動車工業の学習を振り返り，輸送との関わりを話し合う。 ・部品は関連工場でつくられ，組み立て工場に運ばれる。 ・自動車はトラックや船で運ばれる。 ・空輸される工業製品もあるのではないか。 ②工業にかかわる貿易について話し合い，輸送との関連をもとに学習問題をつくる。 ・工業地帯にある港で輸出入が行われているようだ。 ・空港の貿易額も多い。 **学習問題**　輸送や貿易は，日本の工業生産をどのように支えているのでしょうか。	[**思判表**]発言
(2) 全国へ運ばれる工業製品			
・**調べる**　工場でつくられた工業製品は，どのように運ばれているのでしょうか。 p.38～39	1	①「京浜トラックターミナルのまわり」の地図や「日本の主な交通もう」などから，工業生産における輸送手段を調べる。 ・トラックターミナルの周辺には様々な交通手段がある。 ・トラックターミナルに来た工業製品は，様々な交通手段を組み合わせて運ばれる。	[**知技**]ノート

		②工業生産における輸送の役割を話し合う。 ・輸送する場所や量によって交通手段を使い分けたり組み合わせたりしている。 ・運輸は，各地に工業製品を運ぶなど，重要な役割を果たしている。	
(3) 日本の輸入の特色			
・**調べる**　日本の輸入には，どのような特色があるのでしょうか。 p.40～41	1	①「主な輸入品の輸入相手国」「輸入量と国内生産量のわりあい」などから，日本が輸入している品目と相手国を調べる。 ・オーストラリアやサウジアラビアをはじめ，世界中から輸入している。 ・石油や石炭，天然ガス，鉄鉱石など燃料や原料を輸入している。 ②「主な輸入品の取りあつかい額のわりあいの変化」をもとに，日本の輸入の特色を話し合う。 ・アジア地域で生産された，安くて品質のよい工業製品が輸入されている。 ・機械類の割合が高まっている。	[知技]ノート
(4) 日本の輸出の特色			
・**調べる**　日本の輸出には，どのような特色があるのでしょうか。 p.42～43	1	①「主な輸出品の輸出相手国」「輸出される機械類」などから日本が輸出している品目と相手国を調べる。 ・自動車，鉄鋼，集積回路など高い技術に支えられた製品が輸出されている。 ・アメリカや中国をはじめとして世界中に輸出している。 ②「主な輸出品の取りあつかい額のわりあいの変化」をもとに，日本の輸出の特色を話し合う。 ・1970年代からは機械類が多くなった。 ・輸出製品は海外での生産に使われている。 ・現地生産も多くなっている。	[知技]ノート
(5) これからの社会に向けて			
・**調べる**　原料や資源の多くを輸入している日本では，どのような取り組みが進んでいるのでしょうか。 p.44	1/2	①「主な風力発電所などの分布」などから，原料や資源を輸入に頼っている状況での日本の取り組みを調べる。 ・再生可能エネルギーの開発が広がっている。 ・世界との結びつきを大切にする。	[知技]ノート
(5) かるたにまとめる			
・**まとめる**　工業を支える運輸や	1/2	①これまでの学習を振り返り，	[思判表]ワークシート

貿易について，かるたにまとめましょう。 p.45		「運輸」「貿易」と「日本の工業生産」との関わりを話し合う。 ・資源が少ない日本は，貿易で原材料を確保している。 ・運輸の働きが全国に広がっているから，輸入した原材料や生産した工業製品を各地で使うことができる。 ②工業生産における「運輸」「貿易」について重要だと思ったことをかるたに表現する。 ・「貿易で，材料・製品支え合い」。日本は原材料を輸入し，製品を輸出することで工業製品が成り立っている。	**[態度]**ノート

小単元名	4. これからの工業生産とわたしたち			教科書のページ	下 p.46～55
配当時数	5 時間	活動時期	11 月～12 月	学習指導要領の内容	(3)ア-(ア)(エ), イ-(ア)

小単元の目標		我が国の工業生産について，伝統を生かした工業，中小工場の優れた技術などに着目して，地図帳や地球儀，各種の資料で調べ，まとめることで工業生産の課題を捉え，工業生産の発展と国民生活との関連を考え，表現することを通して，原材料や資源の多くを輸入している我が国の工業生産の現状をふまえつつ，消費者の需要や社会の変化に対応した新しい技術の開発などが重要であることを理解できるようにするとともに，学習したことを基にこれからの工業の発展について考えようとする。
小単元の観点別評価規準	知識・技能	・伝統を生かした工業，中小工場の優れた技術などについて地図帳や地球儀，各種の資料で調べて，必要な情報を集め，読み取り，工業生産の課題を理解している。 ・調べたことを図表や文などにまとめ，原材料や資源の多くを輸入している我が国の工業生産の現状をふまえつつ，消費者の需要や社会の変化に対応した新しい技術の開発などが重要であることを理解している。
	思考・判断・表現	・伝統を生かした工業，中小工場の優れた技術などに着目して，問いを見いだし，工業生産の課題について考え表現している。 ・工業生産について学習してきたことを総合して工業生産の課題について考え，学習したことを基に，消費者や生産者の立場などから多角的に考えて，これからの工業の発展について考え表現している。
	主体的に学習に取り組む態度	・これからの工業生産について，予想や学習計画を立てたり，見直したりして，主体的に学習問題を追究し，解決しようとしている。 ・学習したことを基に，消費者や生産者の立場などから多角的に考えて，これからの工業の発展について考えようとしている。

本時のめあて	時数	学習活動	評価の観点と方法
(1) 日本の工業生産の特色			
・**つかむ**　日本の工業生産の特色について話し合い，学習問題をつくりましょう。 p.46～47	1	①「自動車工業」や「輸送と貿易」の学習，「いろいろな工業の生産額で大工場・中小工場がしめるわりあい」のグラフなどをもとに，日本の工業の特色について話し合い，学習問題をつくる。 ・大きな工場で効率よく組み立てていた。 ・部品は関連工場でつくられている。 ・繊維工業や食料品工業をはじめ中小工場の生産額が多い。 ・鯖江市はめがねづくりがさかんなようだ。 ・中小工場には特色があるのではないか。 **学習問題**　日本の工業生産は，すぐれた技術をどのように生かし，発展していこうとしているのでしょうか。	[**思判表**]ノート
(2) 昔から伝わる工業生産			
・**調べる**　北陸地方の工場では，昔から伝わる技術をどのように工業生産に生かしているのでし	1	①「めがね協会の小松原さんの話」「伝統を生かした北陸の工業」などから北陸地方の工	[**知技**]ノート

ょうか。 p.48～49		業生産を調べ，伝統的な技術をどのように生かしているのかを話し合う。 ・100年以上前，めがねづくりの技術が定着した。 ・めがね枠の国内生産の90%以上が福井県で鯖江はその中心となる産地。 ・産地ブランドをつくっている。 ・高岡銅器や輪島塗など，専門的な優れた技術を職人が受け継いでいる。	
(3) 高い技術をほこる工場が集まる大田区			
・**調べる**　ものづくりのまち大田区がほこる技術は，どのようなものでしょうか。 p.50～51	1	①「北嶋さんの話」「田中さんの話」などから大田区での工業生産を調べ，他地域との違いについて話し合う。 ・北嶋さんたちは「しぼり」という技術でロケットの先端などをつくっている。 ・世界でも大田区でしかできない「オンリーワン」の製品をつくっている。 ・田中さんたちは，近くの工場どうしで協力して高い品質の製品をつくっている。	[知技]ノート
(4)日本の工業生産の課題			
・**調べる**　日本の工業生産には，どのような課題があるのでしょうか。 p.52～53	1	①「製造業で働く人口の変化」のグラフや「輸送と貿易」での学習などから，日本の工業生産の課題について話し合う。 ・原材料や燃料を輸入に頼っているので，資源の確保を考える必要がある。 ・製造業の人口が減っているので，国内生産ができなくなるのではないか。 ・輸入品によって国産品に影響が出てしまう。 ②「活やくするロボット」「海外に輸出された日本企業の鉄道」などから，課題に対する取り組みを調べる。 ・人口減少の中，ロボットが開発されている。 ・環境への配慮や品質の高い製品を海外に輸出している。 ・持続可能な社会に向けた工業生産が求められている。	[知技]ノート
(5)話し合ってノートにまとめる			
・**まとめる**　日本の工業生産についての学習をふり返り，これからの工業生産についてまとめましょう。	1/2	①これまでの学習を振り返って，これからの工業生産に必要なことを話し合い，学習問題について考えたことをノー	[知技]ノート [思判表]ノート

p.54		トに書く。 ・（例）日本の工業は高い技術があるので，困っている人を助ける製品づくりが日本の工業の発展につながる。	
(5)これからの工業生産に大切なこと			
・いかす　これからの日本の工業生産のために，大切だと思うことを話し合いましょう。 p.55	1/2	①これからの工業生産のために大切なことについて，ランキング形式で表現し話し合う。 ・（例）「製品づくりの資源を確保すること」が最も大切。資源を確保しないことには日本の工業生産は何も行うことができなくなる。 ・（例）「さまざまな人の生活を支える製品づくり」が最も大切。社会の課題を解決するような製品づくりによって信頼が高まる。	**[思判表]**ワークシート **[態度]**ワークシート

単元名	4.情報化した社会と産業の発展（オリエンテーション）			教科書のページ	下 p.56～57
配当時数	1 時間	活動時期	12 月	学習指導要領の内容	(4)アイ

本時のめあて	時数	学習活動	評価の観点と方法
(1) わたしたちをとりまく情報			
・わたしたちは，どのような情報とどのようにかかわっているのでしょうか。 p.56～57	1	①どのような情報をどのように得ているのか発表し合う。 ・他地域や外国のニュースはテレビやラジオ，新聞で知る。 ・天気はインターネットを使うことが多い。 ・趣味のことは雑誌が多い。 ②情報を得る手段と情報の内容との関わりを話し合う。 ・インターネットは外でも調べられる。 ・テレビは家族で一緒に見られ，すぐに知ることができる。 **めあて**　わたしたちの生活の中で，情報はどのような役わりを果たしているのでしょうか。	[思判表]ノート，発言

小単元名	1. 情報産業とわたしたちのくらし			教科書のページ	下 p.58～69
配当時数	6 時間	活動時期	12 月	学習指導要領の内容	(4)ア-(ア)(ウ), イ-(ア)

小単元の目標		我が国の産業と情報との関わりについて，放送などの情報産業で働く人々の情報を集め発信するまでの工夫や努力などに着目して，聞き取り調査をしたり映像や新聞，インターネットなどの各種資料で調べたりして，まとめることで放送などの情報産業の様子を捉え，それらの産業が国民生活に果たす役割を考え，表現することを通して，放送などの情報産業は，国民生活に大きな影響を及ぼしていることを理解できるようにするとともに，学習したことを基に情報の送り手と受け手の立場から多角的に考え，受け手として正しく判断することや送り手として責任をもつことが大切であることを考えようとする。
小単元の観点別評価規準	知識･技能	・放送などの情報産業で働く人々の情報を集め発信するまでの工夫や努力などについて聞き取り調査をしたり映像や新聞，インターネットなどの各種資料で調べたりして，必要な情報を集め，読み取り，放送などの情報産業の様子を理解している。 ・調べたことを図表や文などにまとめ，放送などの情報産業は，国民生活に大きな影響を及ぼしていることを理解している。
	思考･判断･表現	・放送などの情報産業で働く人々の情報を集め発信するまでの工夫や努力などに着目して，問いを見いだし，放送などの情報産業の様子について考え表現している。 ・放送局などから発信される情報と自分たちの生活を関連付けて，放送などの産業が国民生活に果たす役割を考えたり，学習したことを基に情報の送り手と受け手の立場から多角的に考え，受け手として正しく判断することや送り手として責任をもつことが大切であることを考えたりして表現している。
	主体的に学習に取り組む態度	・放送などの産業と情報との関わりについて，予想や学習計画を立てたり，見直したりして，主体的に学習問題を追究し，解決しようとしている。 ・学習したことを基に情報の送り手と受け手の立場から多角的に考え，受け手として正しく判断することや送り手として責任をもつことが大切であることを考えようとしている。

本時のめあて	時数	学習活動	評価の観点と方法
(1) テレビから伝えられる情報			
・**つかむ**　ニュース番組では，どのような情報が放送されているのでしょうか。 p.58～59	1	①よく見るテレビ番組について発表し合う。 ・毎朝天気予報を見て，傘が必要か考える。 ・スポーツや音楽番組 ・ニュース番組 ②ニュース番組を視聴し，情報の種類や放送内容について話し合う。 ・全国各地の様々な出来事がその日のうちに放送されている。 ・外国のことも放送されている。 ・スポーツや天気予報は最後の方に放送されている。	[思判表]ノート
(2) ニュース番組をつくる現場			
・**つかむ**　番組をつくる放送局に	1	①ニュース番組の放送について	[思判表]発言

ついて，疑問を出し合って学習問題をつくり，学習計画を立てましょう。 p.60～61		疑問を出し合い学習問題をつくる。 ・どのように情報を集めているのか。 ・出来事をどのように選んでいるのか。 ・内容によって放送時間の長さが違うのはなぜか。 **学習問題**　放送局の人々は，どのようにしてわたしたちに情報をとどけているのでしょうか。 ②予想を出し合い，学習計画を立てる。 ＜調べること＞ ・どのように情報を集めているのか。 ・集めた情報をどのようにして伝えているのか。 ・番組を見る人は，どのように情報を活用するとよいか。	
(3) ニュース番組をつくるための情報収集			
・**調べる**　放送局は，１本のニュース番組をつくるために，どのように情報を集めているのでしょうか。 p.62～63	1	①放送局のホームページや「ニュース番組をつくる佐藤さんの話」などから情報の集め方を調べ，工夫や努力を話し合う。 ・多くの時間と人で番組はつくられている。 ・取材したり映像を撮ったりしている。 ・外国からも人工衛星やインターネットを通して毎日たくさんのニュースが届く。 ・正確で詳しい情報を得るようにしている。 ・人権や公平，公正さなどに配慮し，見る人が求める情報を考えている。	[知技]ノート
(4)集めた情報を番組にしてとどける			
・**調べる**　放送局は，集めた情報をどのようにまとめ，ニュース番組にして放送しているのでしょうか。 p.64～65	1	①「映像を編集する武山さんの話」「アナウンサーの高畑さんの話」「ニュース番組編集長の金子さんの話」などからニュース番組の放送の仕方について調べ，工夫や努力を話し合う。 ・映像の中でいちばん大切なところや見る人が求めているものを考えている。 ・自分が伝える情報が役に立つよう，落ち着いてゆっくり話すようにしている。 ・常に，どの情報を放送するのかをその場で判断している。	[知技]ノート
(5)情報を上手に生かす			
・**調べる**　テレビ放送では，どのような情報が放送され，どのようなえいきょうがあるのでしょ	1	①テレビ番組の種類や「熊本地震のボランティア活動」，「放送局編集長の林さんの	[知技]ノート

うか。 p.66～67		話」などから放送された情報の活用や影響を調べ，人々と情報との関わりについて話し合う。 ・おもちゃのコマーシャルが放送される。 ・政見放送を見て投票先を決める。 ・被災地のニュースでボランティアが集まった。 ・送り手の考えによって内容が変わる。 ・受け手の立場で考えて放送している。	
(6)フローチャートにまとめて話し合う			
・まとめる　放送局がわたしたちに情報をとどけるまでの働きをフローチャートにまとめ，話し合いましょう。 p.68～69	1	①学習したことをフローチャートにまとめる。 ・正確さや詳しさ，人権や公平，公正さを考えつつ，見る人が求める情報となるように工夫して集めている。 ・番組を見る人が求めている情報を選ぶとともに，見る人が情報を役立てられるように伝え方を工夫して放送している。 ・テレビなどの情報は，人々の行動を決めるきっかけとなったり，報道被害や社会の混乱を起こしたりすることがあるので，影響を考えることなどが必要。 ②ニュース番組での情報について話し合い，自分の考えをノートにまとめる。 ・放送局の工夫や努力によって，自分たちは生活に役立つような情報を得ることができている。情報にはよさだけでなく，報道被害や社会の混乱を引き起こすこともあるので，自分でしっかりと情報の影響を考えて行動したい。	**[思判表]**ワークシート **[態度]**ノート

小単元名	2. 情報を生かす産業			教科書のページ	下 p.74～83
配当時数	5 時間	活動時期	1 月	学習指導要領の内容	(4)ア-(イ)(ウ), イ-(イ)

小単元の目標		我が国の産業と情報との関わりについて，情報の種類，情報の活用の仕方などに着目して，聞き取り調査をしたり映像や新聞，インターネットなどの各種資料で調べ，まとめることで産業における情報活用の現状を捉え，情報を生かして発展する産業が国民生活に果たす役割を多角的に考え，表現することを通して，大量の情報や情報通信技術の活用は，様々な産業を発展させ，国民生活を向上させていることを理解できるようにするとともに，学習したことを基に産業と国民の立場から多角的に考えて，情報化の進展に伴う産業の発展や国民生活の向上について考えようとする。
小単元の観点別評価規準	知識･技能	・情報の種類，情報の活用の仕方などについて，聞き取り調査をしたり映像や新聞などの各種資料で調べたりして，必要な情報を集め，読み取り，産業における情報活用の現状を理解している。 ・調べたことを図表や文などにまとめ，大量の情報や情報通信技術の活用は，様々な産業を発展させ，国民生活を向上させていることを理解している。
	思考･判断･表現	・情報の種類，情報の活用の仕方などに着目して，問いを見いだし，産業における情報活用の現状について考え表現している。 ・情報を活用した産業の変化や発展と人々の生活の利便性の向上を関連付けて，情報を生かして発展する産業が国民生活に果たす役割を考え，学習したことを基に産業と国民の立場から多角的に考えて，情報化の進展に伴う産業の発展や国民生活の向上について考え表現している。
	主体的に学習に取り組む態度	・大量の情報や情報通信技術の活用について，予想や学習計画を立てたり，見直したりして，主体的に学習問題を追究し，解決しようとしている。 ・学習したことを基に産業と国民の立場から多角的に考えて，情報化の進展に伴う産業の発展や国民生活の向上について考えようとしている。

本時のめあて	時数	学習活動	評価の観点と方法
(1) くらしを支える産業と情報の活用			
・つかむ　くらしを支える産業の情報の生かし方について話し合い，学習問題をつくりましょう。 p.74～75	1	①くらしを支える産業では，情報をどのように活用しているか話し合う。 ・電車やバスなど，人を運ぶ運輸の仕事では，ＩＣカードなどを利用している。 ・農業用水をスマートフォンで管理している。 ・漁業では漁船からスマートフォンでとれた魚の情報を漁港に送っていた。 ②販売の仕事ではどのように情報を活用しているか，写真資料を参考に話し合う。 ・レジでは，バーコードを機械で読み込むと値段が表示されるしくみになっている。 ・ポイントカードで支払いもできる。 ③話し合ったことをもとに疑問に思うことを出し合い，学習問題をつくる。	[思判表]発言

		・いつも品物がそろっているのは，情報を活用しているからなのだろうか。 ・ポイントカードは，どのように利用されているのだろう。 **学習問題**　はん売の仕事をするコンビニエンスストアでは，どのような情報を何のために活用しているのでしょうか。	
(2) 情報を活用してはん売する			
・**調べる**　コンビニエンスストアでは，情報をどのように活用してはん売の仕事をしているのでしょうか。 p.76～77	1	①コンビニエンスストアでは，情報をどのように活用しているか話し合い，教科書p. 76，77の資料をもとに調べる。 ・レジからいつどんな商品が売れたか本部に情報が送られている。 ・お店では，翌日の天気や地域の行事などの情報も活用して商品を発注している。 ・ポイントカードで買い物をすると，性別や年齢などの情報も本部に送られる。 ・本部では，集めた情報を使って，新しい商品の開発を行っている。 ②コンビニエンスストアでは，情報をどのように活用しているか考え話し合う。 ・コンビニエンスストアの情報は，本部に送られ，大量の情報になっている。 ・本部では，売れた商品のほかに，買った人の情報も集め，新しい商品の開発に生かしている。 ・それぞれのお店でも，天気や地域の行事などの情報を活用している。	[知技]ノート
(3) 情報を生かしてものを運ぶ			
・**調べる**　はん売の仕事では，商品を運ぶために情報をどのように活用しているのでしょうか。 p.78～79	1	①コンビニエンスストアに商品が運ばれるときにどのように情報が活用されているか話し合い，p. 78資料1 2をもとに調べる。 ・店からタブレットを使って本部や工場に情報が送られている。 ・本部ではトラックがどこを走っているかがわかり，災害の時は本部から指示がだせるようになっている。 ②人々の願いに応えるための情報を生かした工夫をp. 79 3 4の資料などから調べる。 ・お年寄りや子育て中の方は，インターネットを利用して商品をお店から届けてもらうこともできる。	[知技]ノート

		③販売の仕事では，商品を運ぶために情報をどのように活用しているか考え，話し合う。 ・お店から情報が本部や工場に送られ，商品が届けられている。 ・カーナビゲーションを利用して，トラックの場所がわかるので，災害時にも商品が届けられる。 ・お年寄りや子育て中の方も，情報を活用して商品が届けられるしくみがある。	
(4)情報の活用によるサービスの広がり			
・調べる　はん売の仕事では，情報通信技術を活用し，どのようにサービスを広げているのでしょうか。 p.80～81	1	①コンビニでは，情報通信機器がどのように活用されているのか話し合い，p. 81 3 の資料などから調べる。 ・コンサートやスポーツの試合のチケットを買える。 ・バスのチケットも買える。 ・市役所などで発行する証明もとることができるものがある。 ②販売の仕事では，情報通信機器を活用し，どのようにサービスを広げているのか考え，話し合う。 ・お店の商品を買うだけでなく，情報通信機器を使って，いろいろなサービスを受けられる。 ・情報通信機器を使って，他の産業ともつながることで，わたしたちはいっそう便利になっている。	**[知技]**ノート
(5)関係図にまとめる			
・まとめる　はん売の仕事をするコンビニエンスストアでの情報活用について，関係図にまとめましょう。 p.82～83	1	①これまでの学習を振り返り，コンビニエンスストアがどのように情報を活用しているか話し合う。 ・売れた商品と同時に，買ったお客さんの情報を集めて，新しい商品を開発していた。 ・カーナビゲーションを活用して，配送トラックの位置がいつでもわかるしくみになっていた。 ・お店でも売れた商品の情報や地域の行事，天候などの情報を活用していた。 ・情報通信技術を活用して，ほかの産業ともつながってサービスを広げている。 ②コンビニエンスストアでの情報活用について，関係図にまとめ，発表し合う。 ・集めた情報を販売の仕事に生かすという工夫と，情報通信技術を生かしてほかの産業と	**[思判表]**関係図 **[態度]**発言

		つながり，サービスを広げるという工夫があった。 ・情報を活用することで販売の仕事が発展し，そのことでわたしたちの生活も便利になっている。	

小単元名	3. 情報を生かすわたしたち			教科書のページ	下 p.90～97
配当時数	4 時間	活動時期	1 月	学習指導要領の内容	(4)ア-(イ)(ウ), イ-(イ)

小単元の目標		情報活用のあり方について，情報の種類，情報の活用の仕方などに着目して，各種の資料で調べ，まとめることで情報化の進展が国民生活に果たす役割や情報の適切な活用の仕方を捉え，情報が国民生活に果たす役割を考え，表現することを通して，情報化の進展により国民生活の利便性が向上する一方，適切に情報を見極める必要があることを理解できるようにするとともに，主体的に学習問題を解決しようとする。
小単元の観点別評価規準	知識・技能	・情報の種類，情報の活用の仕方などについて，各種の資料で調べて，必要な情報を集め，読み取り，情報化の進展が国民生活に果たす役割や情報の適切な活用の仕方を理解している。 ・調べたことを図表や文などにまとめ，情報化の進展により国民生活の利便性が向上する一方，適切に情報を見極める必要があることを理解している。
	思考・判断・表現	・情報の使い方や情報活用に関連して起きている問題などに着目して，問いを見いだし，情報化の進展が国民生活に果たす役割や情報の適切な活用の仕方について考え表現している。 ・学習してきたことを総合して，情報活用のあり方について考え，表現している。
	主体的に学習に取り組む態度	・情報活用のあり方について，予想や学習計画を立てたり，見直したりして，主体的に学習問題を追究し，解決しようとしている。

本時のめあて	時数	学習活動	評価の観点と方法
(1) あふれる情報			
・**つかむ**　日ごろの情報の生かし方について話し合い，学習問題をつくりましょう。 p.90～91	1	①パソコンやスマートフォンの利用経験を話し合う。 ・メールを送ったり，電車の時刻を調べたりした。 ・インターネットを利用して調べ学習をした。 ・インターネットを利用して買い物をした。 ②インターネットでできることや普及率を調べ，どのようなことが問題になるか話し合い，学習問題をつくる。 ・ルールやマナーを知らないで使うと，トラブルに巻き込まれることがある。 **学習問題**　わたしたちは，情報とどのようにしてかかわっていったらよいのでしょうか。	[思判表]発言
(2) 情報活用のルールやマナー			
・**調べる**　情報を上手に活用するには，どのようなルールやマナーを心がければよいのでしょうか。 p.92～93	1	①p. 92 1 2 3のインターネットを利用した犯罪件数のグラフや犯罪を伝える新聞記事の資料をもとに，その原因を話し合う。 ・パソコンや携帯電話が普及したことと関係があるのではないかな。 ・インターネットは，お互いの	[知技]ノート

		顔を合わせなくても情報のやり取りができるからではないかな。 ②インターネットで起こる問題を調べ，情報を上手に活用するには，どのようなルールやマナーを心がければよいか考え話し合う。 〈問題の例＞ ・ＳＮＳに書き込んだ個人情報の流出。 ・個人情報が盗まれる。 ・代金を払ったが商品が届かなかった。 ＜ルールやマナーの例＞ ・インターネットを使うと多くの情報が得られるが，中には有害なものや正しくないものもあることを理解して利用する。 ・インターネット上に流れた情報は止めることができないので，十分注意が必要。	
(3) 調べ学習とインターネット			
・**調べる**　情報を学習に生かすには，どのようにすればよいのでしょうか。 p.94～95	1	①インターネットを利用した調べ学習で困ったり，迷ったりした経験を話し合う。 ・たくさんの情報があってどれを選べばよいか迷ったことがある。 ・集めた情報をそのまま使ってよいのかわからなかった。 ・メールで質問したいときはどうすればよいのかわからなかった。 ②メディアリテラシーの意味を知り，情報を集めるときや，情報を読み取るときに大切なことを考え，話し合う。 ・必要な情報かどうかを見極め，情報を選んで受け取る。 ・メールで質問するときは，相手の名前とあいさつを書き，教えてほしい内容をわかりやすく書く。 ・情報をそのまま書き写さず，自分の言葉に置き換えてまとめる。 ・発表の時は，参考にした資料や本の名前，作者，発行元，発行年などを書いておく。	[**知技**]ノート
(4)情報の活用について話し合う			
・**まとめる**　情報をどのように活用し，生かしていったらよいかまとめましょう。 p.96	1/2	①今まで，情報の活用について学んできたことを振り返り，話し合う。 ・情報化した社会では情報がく	[**思判表**]ノート

		らしや産業に役立っている。 ・インターネットの情報は便利に活用できるが，すべて正しいとは限らない。 ・インターネットによるいじめや犯罪が問題になっている。 ②情報をどのように活用し，生かしていったらよいか考え，話し合う。 ・インターネットを正しく使うために，メディアリテラシーを身に付けることが大切。 ・情報の活用には，「情報モラル」というルールやマナーが大切。	
(4)情報活用宣言			
・いかす　わたしたちの情報モラルを見直し，情報活用宣言をつくりましょう。 p.97	1/2	①これまでの学習をもとに，自分たちの情報モラルを振り返り，注意しなければならないことをグループで話し合い，クイズをつくる。 ・個人情報を入力する場合，相手を確かめることや余計なことを書かないことが大切。 ・ＳＮＳで発信するとき，友達のことを書き込んだり，個人情報を発信したりしない。 ②グループごとに作成したクイズを相互に発表し合い，情報を活用するうえで大切だと思うことを整理して「情報活用宣言」を書く。 ・常に，個人情報の扱いに注意する。 ・必要な情報はきちんと確かめて使う。 ・ＳＮＳでいたずら書きや悪口を書いたり，個人情報を載せたりしない。	**[思判表]**情報活用宣言 **[態度]**情報活用宣言

単元名	5.わたしたちの生活と環境（オリエンテーション）			教科書のページ	下 p.98～99
配当時数	1 時間	活動時期	2 月	学習指導要領の内容	(5)アイ

本時のめあて	時数	学習活動	評価の観点と方法
(1) 自然環境とかかわっていく大切さ			
・わたしたちの生活は，どのような自然環境に囲まれているのでしょうか。 p.98～99	1	①わたしたちの生活と自然環境とのかかわりについて話し合う。 ・国土の学習で，地形や気候の特色を学習した。 ・世界自然遺産に一度行ってみたい。日本には，美しい自然環境が残されているところが多くある。 ・趣味のことは雑誌が多い。 ②p. 98～99の資料を見ながら，豊かな自然環境や環境が悪化する問題について考える。 ・木を植えているのはどうしてだろう。 ・空がきれいになったのはどうしてだろう。 ・自然環境とどのようにかかわっていくのがよいのだろう。 **めあて**　国土の自然環境は，わたしたちの生活とどのようなかかわりがあるのでしょうか。	[**思判表**]ノート，発言

小単元名	1. 自然災害を防ぐ			教科書のページ	下 p.100～111
配当時数	5 時間	活動時期	2 月	学習指導要領の内容	(5)ア-(ア)(エ), イ-(ア)

小単元の目標		我が国の国土の自然環境と国民生活について，災害の種類や発生の位置や時期，防災対策などに着目して，地図帳や各種の資料で調べ，まとめることで国土の自然災害の状況を捉え，自然条件との関連を考え，表現することを通して，自然災害は国土の自然条件などと関連して発生していることや，自然災害から国土を保全し国民生活を守るために国や県などが様々な対策や事業を進めていることを理解できるようにするとともに，主体的に学習問題を解決しようとする。
小単元の観点別評価規準	知識･技能	・災害の種類や発生の位置や時期，防災対策などについて，地図帳や各種の資料で調べて，必要な情報を集め，読み取り，国土の自然災害の状況を理解している。 ・調べたことを白地図や図表などにまとめ，自然災害は国土の自然条件などと関連して発生していることや，自然災害から国土を保全し国民生活を守るために国や県などが様々な対策や事業を進めていることを理解している。
	思考･判断･表現	・災害の種類や発生の位置や時期，防災対策などに着目して，問いを見いだし，国土の自然災害の状況について考え表現している。 ・我が国で発生する様々な自然災害と国土の自然条件を関連付けて，国や県なおの防災・減災に向けた対策や事業の役割を考え，表現している。
	主体的に学習に取り組む態度	・自然災害について，予想や学習計画を立てたり，見直したりして，主体的に学習問題を追究し，解決しようとしている。

本時のめあて	時数	学習活動	評価の観点と方法
(1) 自然災害が多い日本の国土			
・**つかむ**　日本で起きる自然災害について話し合い，学習問題をつくりましょう。 p.100～103	1	①p. 102～103の日本の災害地図を見ながら，資料1～10の災害が起きた場所を確認する。 ②同時に，p. 102の災害年表を見ながら，資料1～10の災害が起きた場所を確認する。 ・地震や津波はどのようなところで起きるのかな。 ・高い土地や低い土地，あたたかい気候や寒い気候など，日本の様々な地形や気候の地域について学んできたから，自然災害も地形や気候と関係があると思う。 ・自然災害に対して，国や都道府県では，どのような防災の取り組みを行っているのかな。 **学習問題**　自然災害は地形や気候とどのようなかかわりがあり，国や都道府県では，どのような防災の取り組みを行っているのでしょうか。	[**思判表**]ノート・発言
(2) 地震災害への取り組み			
・**調べる**　地震はどのようなとこ	1	①日本で地震が多いわけを，本	[**知技**]ノート・発言

ろで起こり，被害を減らすためにどのような取り組みが行われているのでしょうか。 p.104～105		文や，資料3「断層で起きる地震」から，読み取って話し合う。 ・複数のプレートの出合う場所にあるから。 ・内陸には断層が多いから。 ②大地震に備えて，国ではどのような対策や備えをしているか，資料4～7やことば「緊急地震速報」などから，読み取って話し合う。 ・学校や県庁では，耐震工事を進めています。 ・気象庁では，緊急地震速報を流して，大きな揺れが来る前に，自分の身を守れるようにしています。 ・中央防災会議や国土交通省の災害対策本部では，地震の前触れがないかを話し合ったり，地震が起きたときの対策を話し合ったりします。	
(3) 津波災害への取り組み			
・調べる　津波災害はどのようなときに起こり，被害を減らすためにどのような取り組みが行われているのでしょうか。 p.106～107	1	①日本で津波が起きるわけを，本文や，資料3 4から読み取って話し合う。 ・プレートの出合う場所では大きなひずみがたまって地震が起きると津波が発生する。 ・津波は陸地に到達するとさらに高くなる。 ②大津波からの被害を減らすために，各都道府県ではどのような取り組みをしているのか，資料5～8からわかったことを話し合う。 ・防潮堤を建設している。 ・避難タワーを建設している。 ・防災訓練をしている。 ・昔から，津波がここまで来たという「津波記念碑」が残されている。 ③昔から，津波がここまで来たという「津波記念碑」が残されているが，濱口梧陵のように津波の被害を減らそうと努力した人もいたことを，p. 107右下コラムからとらえる。	**[知技]**ノート
(4)風水害への取り組み			**★他教科との関連：理科**
・調べる　風水害はどのようなときに起こり，被害を減らすためにどのような取り組みが行われているのでしょうか。 p.108～109	1	①日本では風水害の被害が大きくなる理由について，資料1 2と本文から考え，話し合う。 ・日本は，つゆがあり台風がよ	**[知技]**ノート

		く来る場所にあるから。 ・短時間に急な大雨が降ることがあると，水があふれる。 ・日本の国土は山がちなことも関係がある。 ②風水害からの被害を減らすために，各都道府県ではどのような取り組みをしているのか，資料4～7からわかったことを話し合う。 ・砂防ダムで一度に川の上流の土砂が流れ出るのを防いでいる。 ・地下に放水路をつくって，川の水があふれないようにしている。 ・防災ステーションをつくって，水防活動の拠点にしている。 ・ハザードマップをつくって，洪水時に浸水が予想される箇所を地図に示して，避難時に役立ててもらう。	
(5)火山の噴火や大雪への取り組み			
・**調べる**　火山や大雪による被害を減らすために，どのような取り組みが行われているでしょうか。 p.110	1/2	①資料1～4から，火山や大雪への取り組みについてわかったことを話し合う。 ・火山の噴火に備えて，気象庁では常に観測している火山がある。 ・大雪に備えて，雪崩を防ぐ柵などを道路の脇につくっている。 ・大雪に備えて道路の凍結を防ぐなどの対策もしている。	[知技]ノート
(5)ノートにまとめる			
・**まとめる**　自然災害と国土とのかかわりや，防災の取り組みについて学習したことをノートにまとめましょう。 p.111	1/2	①「まとめる」ページの課題をノートに写して，わかったことを考えて書く。 ・大津波からの被害を減らすために，各都道府県では，防潮堤や避難タワーを建設しているほかに，防災訓練をしている。 ・日本は，つゆがあり台風がよく来る場所にあるから風水害の被害が大きくなりがちである。だから，砂防ダム，放水路，ハザードマップなどの多様な対策を各都道府県は行っている。 ・火山の噴火に備えて，気象庁では常に観測している。また，大雪に備えて雪崩を防ぐ柵などを道路の脇につくって	[思判表]ノート [態度]ノート

		いる。	

小単元名	2. わたしたちの生活と森林			教科書のページ	下 p.112～123
配当時数	6 時間	活動時期	2 月～3 月	学習指導要領の内容	(5)ア-(イ)(エ), イ-(イ)

小単元の目標		我が国の国土の自然環境と国民生活との関連について，森林資源の分布や働きなどに着目して，地図帳や各種の資料で調べ，まとめることで国土の環境を捉え，森林資源が果たす役割を考え，表現することを通して，森林は，その育成や保護に従事している人々の様々な工夫と努力により国土の保全など重要な役割を果たしていることを理解できるようにするとともに，学習したことを基に，国土の環境保全について，自分たちにできることなどを考えようとする。
小単元の観点別評価規準	知識・技能	・森林資源の分布や働きなどについて，地図帳や各種の資料で調べて，必要な情報を集め，読み取り，国土の環境を理解している。 ・調べたことを白地図や図表，文などにまとめ，森林は，その育成や保護に従事している人々の様々な工夫と努力により国土の保全など重要な役割を果たしていることを理解している。
	思考・判断・表現	・森林資源の分布や働きなどに着目して，問いを見いだし，国土の環境について考え表現している。 ・我が国の国土における森林の分布と国民の生活舞台である国土の保全を関連付けて，森林資源が果たす役割を考えたり，学習したことを基に，国土の環境保全について，自分たちにできることなどを考えたり選択・判断したりして，表現している。
	主体的に学習に取り組む態度	・森林資源の働きについて，予想や学習計画を立てたり，見直したりして，主体的に学習問題を追究し，解決しようとしている。 ・学習したことを基に，国土の環境保全について，自分たちにできることなどを考えようとしている。

本時のめあて	時数	学習活動	評価の観点と方法
(1) 日本の森林			
・つかむ　日本の森林は，どのようになっているのでしょうか。 p.112～113	1	①森林の様子の写真やグラフ資料から，日本には森林が多くあることを調べる。 ・日本の総面積に対して約3分の2が森林になっている。世界各国と比べても森林の多い国である。 ・都市や産業のない所には森林が多い。 ・森林が少ないと土砂くずれがおきやすい。	[思判表]発言
(2) 森林とのかかわり			
・つかむ　森林とわたしたちのくらしのかかわりを話し合って学習問題をつくり，学習計画を立てましょう。 p.114～115	1	①森林の様子を写真やグラフから見て，気づいたことや森林にはどのような働きがあるか話し合う。 ・森林は天然林と人工林に分けることができ，天然林の方が面積が多い。 ・天然林と人工林で，働きに違いはあるのだろうか。 ・森林はどのような働きをしているのだろうか。 **学習問題**　森林にはどのような働きがあり，わたしたちの生活とどのようなかかわりがあるのでしょうか。	[思判表]発言

		②学習問題について予想し，学習計画を立てる。 ・森林はどのように守っているのか。 ・防砂林などくらしを守る働きについて。 ・林業について。 ・木材など森林資源について。	
(3)貴重な天然林・白神山地			
・**調べる**　白神山地では，どのような森林の働きがあるのでしょうか。 p.116～117	1	①地図帳で白神山地の位置や広さなどについて調べ，写真資料をもとに山地の様子を具体的に調べる。 ・青森県から秋田県にかけて広がる，ぶなの天然林が広がる山地。 ・ぶなの天然林のすばらしさが認められて世界遺産にも登録されている。 ②森林の役割や天然林を守ることの大切さについて調べ，発表し合う。 ・観光地にもなっている。 ・動物たちが生きる場でもある。 ・赤石川のきれいな水は，白神山地から流れている。 ・森林ときれいな川を守るために努力している人々がいる。	[**知技**]ノート・発言
(4)木材をつくり出す森林			
・**調べる**　林業で働く人は，どのように森林を利用しているのでしょうか。 p.118～119	1	①白神山地に近い秋田県の人工林について調べ，人々の工夫や努力についてわかったことをノートにまとめる。 ・秋田杉は，主に住宅用の木材として使われている。 ・植えた木が大きく育ち，よい木材となるまでには長い年月がかかる。 ・間ばつなどの手入れをすることが大切である。 ・木のくずも燃料として使っている。 ・林業で働く人が減っているのが心配だ。	[**知技**]ノート
(5)さまざまな森林の働き			
・**調べる**　森林には，どのような働きがあり，森林資源はどのように利用されているのでしょうか。 p.120～121	1	①森林の働きやその大切さについて話し合い，木材の活用や自分たちの生活とのつながりについてまとめる。 ・森林は，生き物にとって大切な場所である。 ・木材を活用することによって林業がさかんになる。 ・秋田杉を使った伝統的工芸品もある。 ・防雪林は雪から鉄道を守って	[**知技**]ノート

		いる。	
(6)守っていきたい森林			
・まとめる　森林の働きについてまとめ，環境を守ることについて考えてみましょう。 p.122～123	1	①これまで森林について学習してきたことをノートにまとめ，自分の考えを発表し合う。 ・森林には，資源としての働きや自然災害を減らす働きがある。 ・白神山地のような天然林を守っていきたい。 ・わたしたちが木を使った製品を積極的に使えば，人工林が増え，林業がさかんになるのではないか。 ②小単元を振り返り，森林を守っていくために自分たちにできることを話し合う。	**[思判表]**ノート・発表 **[態度]**ノート・発表

小単元名	3. 環境を守るわたしたち			教科書のページ	下 p.124～133
配当時数	5 時間	活動時期	3 月	学習指導要領の内容	(5)ア-(ウ)(エ), イ-(ウ)

小単元の目標		我が国の国土の自然環境と国民生活との関連について，公害の発生時期や経過，人々の協力や努力などに着目して，地図帳や各種の資料で調べ，まとめることで公害防止の取組を捉え，その働きを考え，表現することを通して，関係機関や地域の人々の様々な努力により公害の防止や生活環境の改善が図られてきたことや，公害から国土の環境や国民の健康な生活を守ることの大切さを理解できるようにするとともに，学習したことを基に，国土の環境保全について，自分たちにできることなどを考えようとする。
小単元の観点別評価規準	知識・技能	・公害の発生時期や経過，人々の協力や努力などについて，地図帳や各種の資料で調べて，必要な情報を集め，読み取り，公害防止の取組を理解している。 ・調べたことを白地図や図表，文などにまとめ，関係機関や地域の人々の様々な努力により公害の防止や生活環境の改善が図られてきたことや，公害から国土の環境や国民の健康な生活を守ることの大切さを理解している。
	思考・判断・表現	・公害の発生時期や経過，人々の協力や努力などに着目して，問いを見いだし，国土の環境について考え表現している。 ・公害防止の取組と環境改善や人々の健康な生活を関連付けて，公害防止の取組の働きを考えたり，学習したことを基に，国土の環境保全について，自分たちにできることなどを考えたり選択・判断したりして，表現している。
	主体的に学習に取り組む態度	・公害防止の取組について，予想や学習計画を立てたり，見直したりして，主体的に学習問題を追究し，解決しようとしている。 学習したことを基に，国土の環境保全について，自分たちにできることなどを考えようとしている。

本時のめあて	時数	学習活動	評価の観点と方法
(1) 豊かな水資源をもつ京都市			
・**つかむ**　鴨川の変化について話し合い，学習問題をつくりましょう。 p.124～125	1	①鴨川と京都市民との関わりを調べる。 ・鴨川の豊かな水が生活やゆばづくりなどの産業を支えている。 ・現在は，いこいの場として親しまれている。 ②現在と過去の鴨川の様子を比べて，疑問を出し合い，学習問題をつくる。 ・なぜ昔は汚れていたのか。 ・どのようにしてきれいにしたのか。 ・だれがきれいにしたのか。 **学習問題**　鴨川は，だれがどのようにしてきれいな川にしているのでしょうか。 ③学習計画を立てる。 ・昔鴨川がよごれていた原因。 ・よごれていた鴨川をきれいにした取り組み。 ・美しい鴨川を守るための取り	[**思判表**]ノート

		組み。	
(2) 生活が便利になる一方で			
・**調べる**　なぜ鴨川はよごれていたのでしょうか。 p.126～127	1	①当時の新聞記事や「市役所の大原さんの話」，「公害にかかわる苦情・ちん情」（地図）などから，当時の社会の様子を調べ，汚れの原因について話し合う。 ・生活排水や工場排水によって汚れた。 ・産業の発展で生活が便利になる一方，環境を考えない人が多かった。	[**知技**]ノート
(3)美しい鴨川を取りもどすために			
・**調べる**　全国的に公害が広がったころ，京都市では，鴨川をきれいにするために,どのような取り組みが行われたのでしょうか。 p.128～129	1	①年表や「市役所の大原さんの話」，「友禅あらい職人の澁谷さんの話」などから，環境をよくするための取り組みについて調べ，話し合う。 ・国は法律を整えた。 ・県や市は，下水道を整えたり工場排水を規制したりした。 ・工場の人たちは県や市のルールに協力し，工場を移転したり排水で汚したりしないように工夫した。	[**知技**]ノート
(4)取りもどした環境を守るために			
・**調べる**　きれいになった鴨川を守るために，どのような取り組みが行われているのでしょうか。 p.130～131	1	①「鴨川を美しくする会の杉江さんの話」や「京都府鴨川条例」などから現在の取り組みを調べ，環境を維持する様子について話し合う。 ・杉江さんは市民が川に親しむイベントを行うことで，環境を守る気持ちをもってもらえるようにしている。 ・杉江さんたち市民の活動によって県が条例をつくり，さらに環境が守られるようにしている。	[**知技**]ノート
(5)つながりを考えて話し合う			
・**まとめる**　鴨川の環境を守るための取り組みをそれぞれの立場でまとめ，話し合いましょう。 p.132～133	1	①学習したことを関連図にまとめる。 ・京都府や京都市は，下水道を整備したり工場排水の規制を行ったりした。また鴨川条例もつくった。 ・友禅あらい職人さんたちは，川を汚さないような生産の工夫をして，府や市の取り組みに協力した。 ・鴨川を美しくする会（市民）は，イベントを行うなど，人々が環境を守る意識を高められる工夫を行っている。 ②自分だったら，だれのどの活動に協力できるか話し合う。 ・市民主催のイベントに協力できる。	[**思判表**]関連図・ノート [**態度**]関連図・ノート

		・職人さんが環境に配慮していることをみんなに伝えることで，協力できる。 ・府や市に対して，下水道を正しく使うことで，協力できる。 ③小単元を振り返る。 ・産業の発展や生活の向上の裏には，人々の行動によって，環境を悪化させてしまうことがある。一人一人が環境への意識をもって取り組むことが大切だ。	

本時のめあて	時数	学習活動	評価の観点と方法
(1)ことなる立場から考えよう			
・**いかす**　自然を守りながら，人が生活をしていくためには，どのようなことを大切にしなければならないのでしょうか。 p.138～139	1	①川をめぐる問題について，異なる二つの立場の意見をそれぞれ「よさ」「問題点」に分けて表にまとめ，自分の意見を書く。 <Aさんたちの意見> よさ ・川底をコンクリートで整備すると，洪水になりにくい。災害の心配が減る。 ・親水公園を川のまわりに建設して，みんなの憩いの場にすることができる。 問題点 ・川の環境が変わってしまう。 <Bさんたちの意見> よさ ・洪水の際の避難計画を考えることで，川の自然の姿をそのまま守ることができる。 問題点 ・災害が起こった際に，被害が大きくなる心配がある。 ②AさんたちとBさんたちの意見の違いから，自然に対する二つの考え方があることを整理し，自然を守りながら人々が生活していくためにはどのようなことが大切か，自分の考えを書く。	[**思判表**] 表・ノート [**態度**] 表・ノート

二之江小学校	6年生社会科評価規準

単元名	1. わたしたちの生活と政治			教科書のページ	政治・国際編 p.6～7
配当時数	1時間	活動時期	4月	学習指導要領の内容	(1)ア，イ

本時のめあて	時数	学習活動	評価の観点と方法
(1) わたしたちのくらしを支えるしくみ			
・わたしたちのくらしは，どのようなしくみで支えられているのでしょうか。 p.6～7	1	①国の政治の中心地の写真を見て，気づいたことを話し合う。 ・首相官邸や国会議事堂，最高裁判所がある。 ②まちでくらしている人たちが，どんな願いや思いをもっているのかを話し合い，その願いと市や国の政治とのつながりに関心をもつ。 ・まちには，いろいろな人たちが，それぞれの願いをもってくらしていること。 **めあて**　わたしたちのくらしと政治は，どのように結びついているのでしょうか。身のまわりのことから調べ，考えましょう。	[**思判表**]発言・ノート

小単元名	1. わたしたちのくらしと日本国憲法			教科書のページ	政治・国際編 p.8～21
配当時数	5時間	活動時期	4月	学習指導要領の内容	(1)ア-(ア)(ウ), イ-(ア)

小単元の目標		我が国の政治の働きについて，日本国憲法の基本的な考え方に着目して，見学・調査したり各種の資料で調べたりして，まとめることで我が国の民主政治を捉え，日本国憲法が国民生活に果たす役割を考え，表現することを通して，日本国憲法は国家の理想，天皇の地位，国民としての権利及び義務など国家や国民生活の基本を定めていることや，現在の我が国の民主政治は日本国憲法の基本的な考え方に基づいていることを理解するとともに，主体的に学習問題を解決しようとする。
小単元の観点別評価規準	知識・技能	・日本国憲法の基本的な考え方について，見学・調査したり各種の資料で調べたりして，必要な情報を集め，読み取り，我が国の民主政治を理解している。 ・調べたことを図表や文などにまとめ，日本国憲法は国家の理想，天皇の地位，国民としての権利及び義務など国家や国民生活の基本を定めていることや，現在の我が国の民主政治は日本国憲法の基本的な考え方に基づいていることを理解している。
	思考・判断・表現	・日本国憲法の基本的な考え方に着目して，問いを見いだし，我が国の民主政治ついて考え表現している。 ・日本国憲法の基本的な考え方と国民生活を関連付けて，日本国憲法が国民生活に果たす役割を考え，表現している。
	主体的に学習に取り組む態度	・日本国憲法の基本的な考え方について，予想や学習計画を立てたり，見直したりして，主体的に学習問題を追究し，解決しようとしている。

本時のめあて	時数	学習活動	評価の観点と方法
(1) くらしの中の法やきまり			
・**つかむ**　日本国憲法とはどのようなものなのでしょうか。 p.8～9	1	①写真を見て，くらしの中にある法やきまりを探す。また，何のために法やきまりがあるのか考える。 ・車や歩行者が交通ルールを守ると，道路を安全に利用できる。 ・ごみの収集日を守らなければ，臭いやよごれが発生してしまう。 ・法やきまりを守ることは，住みよい社会をつくることにつながっている。	[**思判表**]発言・ノート
(2) 日本国憲法の考え方			
・**つかむ**　日本国憲法にはどのような考え方があるのか話し合い，学習問題をつくりましょう。 p.10～11	1	①日本国憲法の基本的な考え方を知る。 ・日本国憲法は，戦後，人々が平和を願う中でつくられた。 ・日本国憲法には，三つの原則がある。 ・国民のことを考えた内容になっている。 ②くらしと日本国憲法のつながりについて気づいたことや疑問に思ったことを話し合い，学習問題をつくる。	[**思判表**]発言

		・教科書が無償で配られているのは，憲法に関係があったんだね。 ・憲法の考え方が，体の不自由な人やお年寄りなどみんなが暮らしやすくなるようにしていたんだ。 ・くらしと憲法のつながりには，他にどんなものがあるのだろう。 **学習問題**　わたしたちのくらしと日本国憲法の三つの原則は，どのようにつながっているのでしょうか。	
(2) 学習の進め方			
p.12～13	1	①単元の「つかむ→調べる→まとめる→いかす」という学習の流れを確認する。 ②学習問題に対する予想や調べ方などを発表し合い，学習計画を立てる。 ・日本国憲法の三つの原則は，市の政治に生かされているのではないか。 ・日本国憲法の考え方は，さまざまな立場の人々がくらしやすい社会をつくることにつながっているのではないか。 ・教科書や資料集に加えて，新聞記事や広報誌，インターネットで日本国憲法に関する資料を集めて調べていく。 ・憲法の三つの原則ごとに調べていく。 ＜調べること＞ ・基本的人権の尊重の考え方とわたしたちのくらしのつながり ・国民主権の考え方とわたしたちのくらしのつながり ・平和主義の考え方とわたしたちのくらしのつながり	**[思判表]**発言・ノート
(3) くらしの中の基本的人権の尊重			
・調べる　憲法の基本的人権の考えは，市や国の政治にどのように反映されているのでしょうか。 p.14～15	1	①基本的人権を尊重する市の施策を調べ，憲法が定める国民の権利と義務について，わかったことや考えたことを話し合う。 ・基本的人権について考えるために，講演会を開いたり，標語を募集したりしている。 ・地域に住む外国人市民の生活もサポートすることも基本的人権の尊重という憲法の考え方につながっているんだね。 ②自分たちの身のまわりで基本的人権の尊重のように，さまざまな権利が保障されている例や，わたしたちが国民として果たすべき義務についてわ	**[知技]**発言・ノート

		かったことや考えたことを話し合う。 ・男女平等 ・裁判を受ける権利 ・教育を受ける権利 ・居住の自由 ・政治に参加する権利 ・職業の自由 ・言論の自由 ・学問の自由 ・健康で文化的な生活を営む権利 ・三大義務（教育・勤労・納税） ③本時のめあてについての考えをまとめる。	
(4) くらしの中の国民主権			
・調べる 憲法の国民主権の考えは，市や国の政治にどのように反映されているのでしょうか。 p.16～17	1	①国民主権につながるような市の施策を調べ，憲法が定める国民主権について，わかったことや考えたこと話し合う。 ・政治の代表を選ぶのは市民である。 ・市役所には，市民の意見を政治にいかすための制度がある。 ・市民の意見を聞き，市の条例をつくっている。地域をよくするためには，一人一人の行動が大切なんだ。 ②市だけでなく国のレベルでも，国民主権の考えが生かされている。 ・国会議員を選ぶのは国民である。 ・国民の声で政治が変わることがある。 ・最高裁判所の裁判官も国民が審査している。 ③本時のめあてについての考えをまとめる。	[**知技**]発言・ノート
(5) くらしの中の平和主義			
・調べる 憲法の平和主義の考えは，市や国の政治にどのように反映されているのでしょうか。 p.18～19	1	①平和を願う市の施策を調べ，憲法が定める平和主義について考える。 ・公園に世界平和の鐘がある。 ・戦争の悲惨さや平和の尊さを伝える取り組みがある。 ・平和と人権は強いつながりがあり，戦争がもっとも人権を侵害することだと思った。 ②市の平和を願う制度は，国でも同じように行われていることを調べ，わかったことや考えたことを話し合う。 ・沖縄や東京で行われている式典では，戦争でなくなった人を思い，平和を祈っている。 ・唯一の被爆国である日本は，世界に向けて平和を願う心を	[**知技**]発言・ノート

		アピールしている。 ③本時の問いについての考えをまとめる。	

(6) 考えたことを整理して，自分の考えをノートに書く			
・**まとめる**　学習問題について調べたことを整理し自分の考えをノートに書き，友達と話し合ってみましょう。 p.20～21	1	①学習をふり返って，わたしたちのくらしに日本国憲法の考え方がどのように生かされているのか考える。 ・子どもはみな，学校で教育を受ける権利が保障されている。 ・18才以上のすべての国民に選挙権があり，政治に参加する権利が与えられている。 ・二度と戦争をしないことや平和への思いをもてるようにしている。 ②わたしたちのくらしに日本国憲法がどのように生かされているのか，さまざまな場面で考える。 ・車椅子が通りやすいように改札が広く作られている。だれもが生活しやすいという基本的人権の尊重の考え方が生かされている。 ・働く権利と義務がある。権利だけでなく，国民として果たさなければならない義務もある。 ・日本は二度と自ら戦争をしないことを決めている。 ③日本国憲法がなぜ大切にされているのか考え，話し合う。 ・三つの原則により，だれもが生活しやすいような権利が保障されたり，政治に参加したり，平和な国をつくったりすることができるようになっている。だから，これからも守っていく必要があると思う。 ・わたしたちのくらしは日本国憲法とは切っても切れない関係で結びついていて，わたしたちは憲法によって守られている。 ④学習問題についての考えをまとめる。	**[思判表]**発言・ノート **[態度]**発言・ノート

小単元名	2. 国の政治のしくみと選挙			教科書のページ	政治・国際編 p.24～31
配当時数	4時間	活動時期	4～5月	学習指導要領の内容	(1)ア-(ア)(ウ), イ-(ア)

小単元の目標		我が国の政治の働きについて，日本国憲法の基本的な考え方に着目して，見学・調査したり各種の資料で調べたりして，まとめることで，我が国の民主政治を捉え，国会，内閣，裁判所と国民との関わりを考え，表現することを通して，立法，行政，司法の三権がそれぞれの役割を果たしていることを理解するとともに，学習したことを基に国民としての政治への関わり方について多角的に考えようとしている。
小単元の観点別評価規準	知識・技能	・国会，内閣，裁判所のそれぞれの役割などについて，見学・調査したり各種の資料で調べたりして，必要な情報を集め，読み取り，我が国の民主政治を理解している。 ・調べたことを図表や文などにまとめ，立法，行政，司法の三権がそれぞれの役割を果たしていることを理解している。
	思考・判断・表現	・国会，内閣，裁判所のそれぞれの役割に着目して，問いを見いだし，我が国の民主政治について考え表現している。 ・国会，内閣，裁判所の働きと国民を関連付けて考えたり，学習したことを基に国民としての政治への関わり方について多角的に考えたりして，表現している。
	主体的に学習に取り組む態度	・国会，内閣，裁判所の働きについて，予想や学習計画を立てたり，見直したりして，主体的に問題を追究し，解決しようとしている。 ・学習したことを基に国民としての政治への関わり方について多角的に考えようとしている。

本時のめあて	時数	学習活動	評価の観点と方法
(1) 国会の働き			
・**調べる**　国会の働きについて調べて整理したことをもとに，最後に一文で説明しましょう。 p.24～25	1	①国会の働きについて整理し，一文で説明する。 ・国会には衆議院と参議院がある。 ・国会議員は選挙で選ばれる。	[知技]ノート・最後の一文
(2) 選挙のしくみと税金の働き			
・**調べる**　選挙のしくみや税金の働きについて調べましょう。 p.26～27	1	①選挙や税金に関する資料を収集して調べ，選挙のしくみや税金の働きについて整理し，一文で説明する。 ・国会議員，都道府県や市区町村の長や議員は選挙で選ばれる。 ・選挙権は，18才以上の国民に認められている。 ・公共サービスや公共施設にかかる費用の多くは，税金によってまかなわれている。	[知技]ノート
(3) 内閣の働き			
・**調べる**　内閣の働きについて調べて整理したことをもとに，最後に一文で説明しましょう。 p.28～29	1	①内閣に関する資料を収集して調べ，内閣の働きについて整理し，一文で説明する。 ・内閣は，内閣総理大臣が中心となって，国民のためにいろいろな仕事をしている。 ・内閣のもとで，省や庁が実際の仕事を受けもっている。	[知技]ノート・最後の一文

(4) 裁判所の働き			
・**調べる**　裁判所の働きについて調べて整理したことをもとに一文で説明しましょう。最後に国会・内閣・裁判所の図を完成させましょう。 p.30～31	1	①裁判所に関する資料を収集して調べ，裁判所の働きや裁判員制度について整理し，一文で説明する。 ・裁判所は，法律に基づいて，様々な問題を解決し，国民の権利を分担していること。 ②学習したことをもとに，三権分立の関係を示す図を完成させる。	[**知技**]ノート・最後の一文

小単元名	3. 子育て支援の願いを実現する政治			教科書のページ	政治・国際編 p.34～44
配当時数	6時間	活動時期	5～6月	学習指導要領の内容	(1)ア-(イ)(ウ), イ-(イ)

小単元の目標		我が国の政治の働きについて，政策の内容や計画から実施までの過程，法令や予算との関わりなどに着目して，見学・調査したり各種の資料で調べたりして，まとめることで国や地方公共団体の政治の取組を捉え，国民生活における政治の働きを考え，表現することを通して，国や地方公共団体の政治は，国民主権の考え方の下，国民生活の安定と向上を図る大切な働きをしていることを理解するとともに，主体的に学習問題を解決しようとする。
小単元の観点別評価規準	知識・技能	・政策の内容や計画から実施までの過程，法令や予算との関わりなどについて，見学・調査したり各種の資料で調べたりして，必要な情報を集め，読み取り，国や地方公共団体の政治の取組を理解している。 ・調べたことを図表や文などにまとめ，国や地方公共団体の政治は，国民主権の考え方の下，国民生活の安定と向上を図る大切な働きをしていることを理解している。
	思考・判断・表現	・政策の内容や計画から実施までの過程，法令や予算との関わりなどに着目して，問いを見いだし，国や地方公共団体の政治の取組について考え表現している。 ・国や地方公共団体の政治の取組と国民生活を関連付けて政治の働きを考え，表現している。
	主体的に学習に取り組む態度	・我が国の政治の働きについて，予想や学習計画を立てたり，見直したりして，主体的に学習問題を追究し，解決しようとしている。

本時のめあて	時数	学習活動	評価の観点と方法
(1) わたしたちの願いと児童センター			
・つかむ　児童センターの様子と子どもをもつ親の願いについて話し合い，学習問題をつくりましょう。 p.34～35	1	①児童センターを利用した経験を話し合う。 ・赤ちゃんや小さな子どもだけでなく，小学生や中学生も利用している。ここでけん玉を教えてもらったことがある。 ・誰でも無料で遊べて，小さな子どもを連れた親がたくさん来ている。お父さんも弟といっしょによく遊んでいる。 ②児童センターを訪ねて，どのような人が，なぜ利用しているのかを調べる。 ・小さい子どもを安心して遊ばせることができ，同じ年ごろの子どもをもつ親どうしで話ができるので助かる。 ・子どもと遊べる道具や場所があるので，休みの日によく利用している。 ・遊びだけでなく勉強もできる。少人数で落ち着いて勉強できるし，教えてくれる人もいるので気に入っている。 ・児童センターには，子どもをもつ親の願いや工夫がある。 ③児童センターを訪ねてわかったことや疑問から学習問題を	[思判表]発言・ノート

		つくる。 ・児童センターは，どうやってつくられたのかな。 ・どうして無料で遊べるのかな。 **学習問題**　児童センターがつくられるまでには，どのような人たちの，どのような働きがあったのでしょうか。 ④学習問題について予想し，学習計画を立てる。 ・児童センターの活動について ・児童センターができるまでの市役所の働きについて ・児童センターができるまでの市議会の働きについて ・児童センターができるまでの税金の働きについて	
(2) あすぱるの活動			
・**調べる**　あすぱるでは，どのような活動が行われているのでしょうか。 p.36～37	1	①写真資料やあすぱる所長の話を読み取り，あすぱるではどのような活動をしているのかを調べる。 ・親子で遊ぶイベントや父親向けのイベントがある。 ・中学生や高校生の居場所となる工夫もある。 ・親への子育て支援事業もある。 ②施設を運営している人たちは，どのような目的をもって活動しているのかを考える。 ・子どもや親が安全で安心して遊べるようにする。 ・子どもだけでなく，親の子育てについてのサポートをする。 ・利用する人たちの思いや願いを参考にして活動する。	[**知技**]発言・ノート
(3) 市役所の働き			
・**調べる**　市では，どのような考えのもとにどのようにあすぱるをつくったのでしょうか。 p.38～39	1	①市役所を見学したり，市役所の人に取材をしたりして，「あすぱる」ができるまでの市役所の働きについて調べる。 ・児童センター「あすぱる」の建設は，国の法律に基づいて進められた。 ・児童センター「あすぱる」は，子育て支援を目的としており，市民の要望を反映して建設された。 ・市が計画案や予算案を作成し，市議会の話し合いで建設されることが決定した。 ②資料3の図を見ながら，児童センター「あすぱる」ができるまでの市役所の働きを説明する。	[**知技**]発言・ノート

		・子育て支援に関わる市民の要望を聞く。 ・国の法律に基づき，専門家を入れて計画案をつくったり費用を計算したりする。 ・案を市議会に提出する。 ・国や県からの補助金を申請する。	
(4) 市議会の働き			
・**調べる**　議会では，どのようにしてあずぱるをつくることを決めたのでしょうか。 p.40～41	1	①側注の「市議会の仕事」などを活用して，「あすぱる」ができるまでの市議会の働きについて調べる。 ・市議会は，市役所の提案に基づき，「あすぱる」をつくることやそのための予算を話し合って決めている。 ・その他の子育て支援事業や様々な事業も，国の法律や市民の要望に基づいて市議会で決定している。 ・市議会は，市の仕事が正しく行われているかをチェックしている。 ②資料3の絵や資料6の図を見ながら，市民と市議会の関わりについて考える。 ・選挙によって選ばれた市民の代表である市議会議員が，必要なことを話し合って決めている。 ・市民には議員を選挙で選ぶ大きな責任がある。 ・市だけで解決できない問題について，県や国に働きかけることも市議会議員の仕事である。 ・市民は市議会に請願をしたり，市議会の様子を傍聴したりできる。	[**知技**]発言・ノート
(5) 税金の働き			
・**調べる**　あすぱるをつくるための費用は，どこから出ているのでしょうか。 p.42～43	1	①子育て支援センター「あすぱる」を建設，運営するための費用がどこから出ているのかを調べる。 ・「あすぱる」の建設に，１億4000万円かかっている。 ・「あすぱる」の運営には，働く人の給料など，年間2000万円かかっている。 ・市は住民や会社から集めた税金や国や県からの補助金などを使って事業を行っている。 ②資料4「川口市の収入の内訳」などから，税金の集められ方やその使われ方について調べ，税金の役割について考える。 ・住民や会社が納める税金が一	[**知技**]発言・ノート

		番多い。 ・納めた税金の中で一番多く使われるのは，市民の生活を支えるお金である。 ・税金は，学校教育やごみ処理などにも多く使われている。 ・税金はわたしたちの生活を支える大切なもので，多くの人が必要とする事業に使われる。 ・国民には納税の義務があり，誰もが税金によるサービスを受けられる。	
(6) 学習問題をまとめる			
・まとめる　学習問題について，調べてわかったことを整理し，児童センターがつくられるまでの政治の働きについてまとめましょう。 p.44	1	①学習問題をふり返る。 ②市民と市役所と市議会の関係を表す矢印の意味を（　）に書き入れ，図をもとに，児童センターがつくられるまでの政治の働きについて自分の考えをノートにまとめる。 ③一人一人がノートにまとめた政治の働きについて話し合い，グループで政治の働きを一つに整理する。 ④グループで整理したまとめを発表する。	[**知技**]発言・ノート [**思判表**]発言・ノート
(7) 公園づくりについて話し合おう			
・いかす　みんなにとってよい公園にするにはどうしたらよいか，考えてみましょう。 p.58～59	1	①どのような公園がよいのか，自分の願いを出し合う。 ②いろいろな人の話を聞いて，ほかにどのような立場があるか，考える。 ③多様な意見をまとめていくために，どのようなことに気をつけるべきか話し合う。	[**思判表**]観察・ノート [**態度**]観察・ノート

小単元名	3. 震災復興の願いを実現する政治			教科書のページ	政治・国際編 p.46～57
配当時数	6時間	活動時期	5～6月	学習指導要領の内容	(1)ア-(イ)(ウ), イ-(イ)

小単元の目標		我が国の政治の働きについて，政策の内容や計画から実施までの過程，法令や予算との関わりなどに着目して，見学・調査したり各種の資料で調べたりして，まとめることで国や地方公共団体の政治の取組を捉え，国民生活における政治の働きを考え，表現することを通して，国や地方公共団体の政治は，国民主権の考え方の下，国民生活の安定と向上を図る大切な働きをしていることを理解するとともに，主体的に学習問題を解決しようとする。
小単元の観点別評価規準	知識・技能	・政策の内容や計画から実施までの過程，法令や予算との関わりなどについて，見学・調査したり各種の資料で調べたりして，必要な情報を集め，読み取り，国や地方公共団体の政治の取組を理解している。 ・調べたことを図表や文などにまとめ，国や地方公共団体の政治は，国民主権の考え方の下，国民生活の安定と向上を図る大切な働きをしていることを理解している。
	思考・判断・表現	・政策の内容や計画から実施までの過程，法令や予算との関わりなどに着目して，問いを見いだし，国や地方公共団体の政治の取組について考え表現している。 ・国や地方公共団体の政治の取組と国民生活を関連付けて政治の働きを考え，表現している。
	主体的に学習に取り組む態度	・我が国の政治の働きについて，予想や学習計画を立てたり，見直したりして，主体的に学習問題を追究し，解決しようとしている。

本時のめあて	時数	学習活動	評価の観点と方法
(1) 東日本大震災の発生			★他教科との関連:理科
・**つかむ**　東日本大震災の発生とまちの人たちの願いについて話し合い，学習問題をつくりましょう。 p.46～47	1	①「大震災直後の気仙沼の様子」や新聞の号外を見て，気づいたことや考えたことを発表し合う。 ・まちが津波にのみこまれている。 ・家が流されている。 ②震災直後と現在のまちや漁港の様子を比べて，気づいたことを話し合う。 ・現在はがれきが撤去されて建物や道路が整備されている。 ・震災で大きな被害を受けた漁港では，３か月後にはかつおの水あげを再開している。 ・だれがどうやって直したのだろう。 ③被災した人々の願いを実現するためにどうしたらいいか話し合い，学習問題をつくる。 ・がれきは，国や県，市が取りのぞいた。 ・国や県，市が人々の願いを実現するように努力した。 **学習問題**　災害にあった人々の願いは，どのような人たちの，どのような働きによって実現されるのでしょうか。	[**思判表**]ノート

(2) 東日本大震災への緊急対応			
・調べる　東日本大震災が発生したとき，市や県，国は，どのような取り組みをしたのでしょうか。 p.48～49	1	①地震直後の市の取り組みについて調べる。 ・災害対策本部を設置して，避難所の開設や被害状況の確認などを指示したこと。 ・避難した住民のための水，食料，仮設トイレなどを県や他の市に要請したこと。 ②地震直後の県の取り組みについて調べる。 ・被害状況の情報収集をしたこと。 ・災害救助法を適用して自衛隊に派遣要請したこと。 ・必要な物資を被災地に送る準備をしたこと。 ③地震直後の国の取り組みについて調べる。 ・各県と連絡を取りながら，自衛隊の派遣人数を増やしたり，他国への救助要請，必要な物資や機材の準備を進めたりしたこと。 ・全国の消防署から緊急消防援助隊を派遣したこと。 ・自衛隊の災害派遣は何度かに分けて増員され，過去最大の10万人規模になったこと。	**[知技]**ノート
(3) 復旧・復興に向けた国の支援			
・調べる　復旧・復興に向けて，国はどのような取り組みを行ったのでしょうか。 p.50～51	1	①災害復旧に向けた国の取り組みを調べる。 ・復旧を進めるために，第一次補正予算を成立させたこと。 ・それにより，仮設住宅の建設，ライフラインの復旧，がれきの撤去，まちの整備を進められるようになったこと。 ②災害からの復興に向けた国の取り組みを調べる。 ・東日本大震災復興基本法を成立させたこと。 ・第二次補正予算，第三次補正予算を成立させたこと。 ・復興庁を設置し，長期的，計	**[知技]**ノート

		画的に支援を続ける体制をつくったこと。 ・復興にかかる費用は，国民や企業から集めた税金が使われること。	
(4) 復興を願う市や市民の取り組み			
・調べる　復興に向けて，市や市民は，どのような計画を立てて，どのような取り組みをしてきたのでしょうか。 p.52～53	1	①市や市民の取り組みについて調べる。 ・市では，震災復興計画をつくり，計画に基づいて，復興に向けたさまざまな取り組みを行っていること。 ・新しいまちづくりに向けて，みんなで協力して取り組んでいること。 ・国や県，市の対応で震災から３か月でかつおの水あげが再開され，20年以上連続で生鮮かつおの水あげ日本一を達成したこと。そこには国や県，市の支援と市民の努力があったこと。	**[知技]**ノート
(5) これからに向けたまちづくり			
・調べる　これからに向けてどのような課題があり，どのような取り組みが行われているのでしょうか。 p.54～55	1	①復興を進めている被災地で，現在課題になっていることを調べる。 ・震災前から人口の減少が課題となっている。 ②現在，どのような取り組みが行われているのかを調べる。 ・もっと魅力のあるまちにするために，市民と市役所が一緒になって取り組んでいる。 ・各地から移住してくる人への情報提供も行っている。	**[知技]**ノート
(6) 調べてきたことをまとめよう			
・まとめる　学習問題について調べてきたことを表にまとめ，自分の考えを書きましょう。 p.56	1	①災害にあった人々の願いと，政治の働きについて，表に整理する。 ・震災直後の市，県，国の取り組み ・災害復旧に向けた市，県，国の取り組み ・災害復興に向けた市，県，国の取り組み ・市や市民の復興への取り組み ・これからのまちづくり ②まちづくりを進めていくうえで大切なことは何か。自分の考えを書く。 ・まちの特色を生かしてさまざまなことに取り組んでいく。	**[知技]**ノート **[思判表]**ノート
(7) 公園づくりについて話し合おう			
・いかす　みんなにとってよい公園にするにはどうしたらよいか，考えてみましょう。 p.58～59	1	①どのような公園がよいのか，自分の願いを出し合う。 ②いろいろな人の話を聞いて，ほかにどのような立場がある	**[思判表]**観察・ノート **[態度]**観察・ノート

		か，考える。 ③多様な意見をまとめていくために，どのようなことに気をつけるべきか話し合う。	

本時のめあて	時数	学習活動	評価の観点と方法
(1) 新聞を読もう			
・**いかす** 政治や憲法に関連した新聞記事から，気になったことを出し合おう。 p.62～63	1	①政治に関して気になった記事を選び，発表する。 ・選挙，内閣，司法，震災復興など ②みんなの発表を通して，感じたことや考えたことを話し合う。	[**態度**] 発言・ノート

単元名	2. 日本の歴史			教科書のページ	歴史編 p.2～7
配当時数	2時間	活動時期	6月	学習指導要領の内容	(2)ア，イ

本時のめあて	時数	学習活動	評価の観点と方法
(1) (2) 歴史学習の基本をおさえよう①～③			
・身近にある歴史を見つけよう p.2～3 ・歴史博物館へ行こう p.4～5 ・年表の見方を知ろう p.6～7	2	①身のまわりの歴史を調べて，ノートやカード，地図などにまとめる。 ・現地に足を運ぶことを前提に，自分が住んでいる地域の歴史を調べる。次に県内の歴史を調べる。 ②「まなび方コーナー」を参考にして，歴史博物館の利用の仕方を学ぶ。 ③歴史博物館を訪ね，見学・体験をする。 ・資料の解説文を読んだり，学芸員から話を聞いたり，展示物や映像シアターなどを見たりして，調べ学習に取り組む。 ④「まなび方コーナー」を参考にして，年表の見方を調べる。 ・西暦，世紀，時代の意味を調べる。 ・時代と出来事をつなげる教科書の例題を考える。 ⑤年表をもとにして，時代ごとの主な人物について考える。 ・例示されている人物について，教科書を使って大まかな内容を調べる。 **めあて**　わたしたちの国の歴史には，どのようなできごとがあり，どのような人物の働きがあったのでしょうか。	[**思判表**]ノート・観察

小単元名	1. 縄文のむらから古墳のくにへ			教科書のページ	歴史編 p.8～23
配当時数	6時間	活動時期	6月	学習指導要領の内容	(2)ア-(ア)(シ), イ-(ア)

小単元の目標		我が国の歴史上の主な事象について，人物の働きや代表的な文化遺産などに着目して，遺跡や文化財，地図や年表などの資料で調べてまとめ，我が国の歴史の展開を考え，表現することを通して，狩猟・採集や農耕の生活，古墳，大和朝廷（大和政権）による統一の様子を手掛かりに，むらからくにへと変化したことを理解できるようにするとともに，主体的に学習問題を解決しようとする。
小単元の観点別評価規準	知識・技能	・世の中の様子，人物の働きや代表的な文化遺産などについて，遺跡や文化財，地図や年表などの資料で調べ，狩猟・採集や農耕の生活，古墳，大和朝廷（大和政権）による統一の様子を理解している。 ・調べたことを年表や文などにまとめ，むらからくにへと変化したことを理解している。
	思考・判断・表現	・世の中の様子，人物の働きや代表的な文化遺産などに着目して，問いを見いだし，狩猟・採集や農耕の生活，古墳，大和朝廷（大和政権）について考え表現している。 ・狩猟・採集や農耕の生活，古墳，大和朝廷（大和政権）による統一の様子を関連付けたり総合したりして，この頃の世の中の様子を考え，適切に表現している。
	主体的に学習に取り組む態度	・狩猟・採集や農耕の生活，古墳，大和朝廷（大和政権）による統一の様子について，予想や学習計画を立てたり，見直したりして，主体的に学習問題を追究し，解決しようとしている。

本時のめあて	時数	学習活動	評価の観点と方法
(1) 大昔のむらのくらし			
・**つかむ**　縄文のむらのくらしの様子について話し合いましょう。 p.8～9	1	①三内丸山遺跡や出土品の写真，「縄文時代の人々の１年の生活」の図などを見て，当時の人々がどのようにくらしていたのか話し合う。 ・たて穴住居とよばれる住まいにくらしていた。 ・狩りや漁，採集中心の生活であり，食べ物が手に入らないこともあった。 ・生活に必要な道具を，石，木，骨などでつくっていた。 ・ねん土を焼いてつくった縄文土器を使って煮たり焼いたりしていた。	[思判表]発言
(2) 板付遺跡と米づくり			
・**つかむ**　米づくりが始まったころのむらや人々の様子について見てみましょう。 p.10～11	1	①板付遺跡や出土品の写真，米づくりの様子の想像図を見て，米づくりが始まり，人々のくらしの様子がどのように変化したのか，気づいたことを話し合う。 ・米づくりのさまざまな道具が板付遺跡から出土している。 ・指導者を中心に力を合わせて米づくりをしている。 ・米づくりによって，食料を安定的に得ることができるよう	[思判表]ノート

		になった。	
(3) 縄文時代と弥生時代の想像図を見て			
・**つかむ**　縄文時代と弥生時代の想像図を見比べながら話し合い，学習問題をつくりましょう。 p.12～15	1	①三内丸山遺跡と吉野ヶ里遺跡の想像図を調べて，それぞれの生活の様子について，わかったことや考えたことを話し合う。 ・縄文と弥生では，衣服の生地の質が違うようだ。住まいも変わってきた。 ・縄文のむらでは，狩りや漁をしたり，木の実をとったりしていたが，弥生のむらでは米づくりをし，とれた米を保存していたようだ。 ・弥生のむらでは，まわりに堀や柵がつくられている。兵士のような人もいる。 ②疑問に思ったことを発表し合い，学習問題をつくる。 ・食料を安定して手に入れられるようになって人口が増え，田も広がったのではないか。 ・道具はどのように変化していくのだろう。 ・弥生のむらにあった堀や柵は何のためにつくられたのだろう。 ・社会の様子は，どう変わっていったのだろう。 **学習問題**　米づくりが始まったことで，人々のくらしや世の中は，どのように変わっていったのでしょうか。	[**思判表**]発言・ノート
(4) むらからくにへ			
・**調べる**　米づくりの広がりによって，むらの様子はどのように変わったのでしょうか。 p.16～17	1	①米づくりの広がりによって，むらの様子がどのように変わっていったのかを調べる。 ・米づくりの広がりにより，むらとむらの間で争いが起こった。 ・むらの指導者は，むらを支配する豪族となり，豪族の中には，まわりのむらを従えてくにをつくり，王とよばれる人も現れた。人が集まることと交通が便利なことは，関係があるよ。 ・各地の王や豪族は，大陸の進んだ技術や文化をくにづくりに役立てた。	[**知技**]発言・ノート
(5) 巨大古墳と豪族			
・**調べる**　古墳は，何のために，どのようにして，つくられたのでしょうか。 p.18～19	1	①仁徳天皇陵古墳の写真，古墳を築いている様子の想像図，出土品などから，古墳づくりの目的，王や豪族たちの力の大きさについて考え，話し合う。	[**知技**]発言・ノート

		・古墳の大きさ，多くの人を動員してつくらせたこと，出土品などから，古墳にほうむられた人物が大きな力をもっていたと言える。 ・王や豪族たちは，自分の力の大きさを示すために古墳をつくらせた。	
(6) 大和朝廷（大和政権）と国土の統一			
・調べる　国土は，どのように統一されていったのでしょうか。 p.20～21	1	①大和朝廷の力が各地に広がり，国土がどのように統一されていったのかを調べる。 ・大和朝廷は大王を中心とした国の政府。 ・ワカタケル大王の名が記された鉄刀と鉄剣が熊本県と埼玉県の古墳から出土したことから，大和朝廷の力の広がりがわかる。 ・神話がつくられるほど，大和朝廷は，大きくて強い「国」になっていった。 ・渡来人の中には，建築や土木技術，焼き物などの技術を身につけた人々がおり，進んだ技術を大陸からもたらした。	**[知技]**発言・ノート
(7) 新聞にまとめる			
・まとめる　学習問題について調べてきたことをノートに整理し，新聞にまとめましょう。 p.22～23	1	①学習問題について調べてきたことを，ノートに整理し，まとめる。 ・米づくりの広がりによって，むらがくにへと発展していった。 ・王や豪族たちは，渡来人の技術や文化をくにづくりに役立てた。 ・大和朝廷が勢力を広げ，国としての日本の形ができ上がっていった。 ②調べたことを整理して新聞をつくる。	**[思判表]**ノート・新聞 **[態度]**ノート・新聞

小単元名	2. 天皇中心の国づくり			教科書のページ	歴史編 p.24～34
配当時数	6時間	活動時期	7月	学習指導要領の内容	(2)ア-(イ)(シ), イ-(ア)

小単元の目標		我が国の歴史上の主な事象について，人物の働きや代表的な文化遺産などに着目して，遺跡や文化財，地図や年表などの資料で調べてまとめ，我が国の歴史の展開を考え，表現することを通して，大陸文化の摂取，大化の改新，大仏造営の様子を手掛かりに，天皇を中心とした政治が確立されたことを理解できるようにするとともに，主体的に学習問題を解決しようとする。
小単元の観点別評価規準	知識・技能	・世の中の様子，人物の働きや代表的な文化遺産などについて，遺跡や文化財，地図や年表などの資料で調べ，大陸文化の摂取，大化の改新，大仏造営の様子を理解している。 ・調べたことを年表や文などにまとめ，天皇を中心とした政治が確立されたことを理解している。
	思考・判断・表現	・世の中の様子，人物の働きや代表的な文化遺産などに着目して，問いを見いだし，大陸文化の摂取，大化の改新，大仏造営の様子について考え表現している。 ・大陸文化の摂取，大化の改新，大仏造営の様子を関連付けたり総合したりして，この頃の世の中の様子を考え，適切に表現している。
	主体的に学習に取り組む態度	・大陸文化の摂取，大化の改新，大仏造営の様子について，予想や学習計画を立てたり，見直したりして，主体的に学習問題を追究し，解決しようとしている。

本時のめあて	時数	学習活動	評価の観点と方法
(1) 聖徳太子の国づくり			
・つかむ　聖徳太子が行った政治について整理し，学習問題をつくりましょう。 p.24～25	1	①中国を統一した隋の様子を調べたり，聖徳太子が遣隋使を派遣した目的について話し合ったりする。 ・隋は，皇帝を中心とした政治が整い文化が栄えていた。 ・聖徳太子は，小野妹子らを隋に送り，隋の進んだ制度や文化，学問を取り入れ，新しい国づくりに生かそうとした。 ②聖徳太子が行った政治について調べ，学習問題をつくる。 ・冠位十二階を定め，家柄に関係なく能力や功績で役人を取り立てた。 ・十七条の憲法を定め，政治を行う役人の心構えを示した。 ・豪族の力を押さえ，天皇中心の国づくりをめざした。 ・法隆寺などを建てて仏教の教えを人々に広めようとした。 **学習問題**　聖徳太子がめざした天皇中心の国づくりは，だれが，どのように受けついでいったのでしょうか。 ③中大兄皇子や聖武天皇の働きを調べる学習計画を立てる。	[**思判表**]発言

(2) 大化の改新と天皇の力の広がり			
・調べる　聖徳太子の死後，だれが，どのような国づくりを進めたのでしょうか。 p.26～27	1	①中大兄皇子と中臣鎌足らがどのような政治を行ったのか調べる。 ・蘇我氏をたおし，大化の改新を進めた。 ・中国の政治の制度を手本にして，都から全国へ支配を進めていくしくみを整備した。 ・初めて年号を定めたり天皇が時間を管理したりした。 ・豪族が支配していた土地や人々は国のものになり，豪族は貴族として政治に参加した。 ・地方の豪族も役人となってそれぞれの地方を治めた。 ・中国にならって最初の本格的な都である藤原京を飛鳥につくった。 ②律令や都から運ばれてきた各地の主な産物について調べ，中国の政治の日本への影響を話し合う。 ・人々は，租・庸・調といった税を納めるとともに，役を務めた。 ・都には日本各地から多くの産物が運ばれ，それらを管理するのに木簡が使われた。 ・中国の政治を取り入れ，天皇の力が強くなった。	**[知技]**発言・ノート
(3) 仏教の力で国を治める			
・調べる　聖武天皇は，どのようにして世の中を治めようとしたのでしょうか。 p.28～29	1	①当時の平城京の様子や地方の人々のくらしの様子について調べる。 ・平城京は中国風の都で，東西南北にのびる道路で碁盤のように区切られていた。 ・天皇や貴族，下級役人などがくらしににぎわいを見せていた。 ・地方の人々の生活は厳しく，重い税の負担に耐えかねて逃げ出すものもいた。 ②聖武天皇のころの主なできごとや天皇が行った政治について調べる。 ・病気によって多くの人々がなくなった。 ・全国各地で災害や反乱が起こるなど社会全体に不安が広がっていた。 ・聖武天皇は政治を安定させるため都を移した。 ・仏教の力で社会の不安をしずめようと，国ごとに国分寺を建てることを命じた。	**[思判表]**発言・ノート

(4) 大仏をつくる			
・調べる　聖武天皇の大仏づくりは，どのように進められたのでしょうか。 **p.30〜31**	1	①大仏の大きさや，大仏造営への聖武天皇の願いについて話し合う。 ・巨大な大仏を造り，世界を仏の力で照らし人々を救おうとした。 ・自分の力だけでなく，多くの人の協力を集め，大仏を造ろうとした。 ②どのように大仏が造られたのか調べる。 ・行基が大仏づくりに協力し，多くの人々に大仏をともに造ることを呼びかけた。 ・大仏づくりにはすぐれた技術をもつ渡来人も活躍した。 ・聖武天皇の命令で，全国からばく大な物資が集められて大仏が造られた。 ・のべ260万以上の人々が何年も働き，大仏が完成した。 ・開眼式には，天皇や貴族，僧など1万人以上の人々が国の平安を祈った。	**[知技]**発言・ノート
(5) 大陸の文化を学ぶ			
・調べる　奈良に都があったころ，日本は，大陸からどのようなことを学んだのでしょうか。 **p.32〜33**	1	①遣唐使は，どのようなものを日本にもたらしたのか調べる。 ・聖武天皇は，唐から皇帝中心の政治のしくみや大陸文化を学ぼうと遣唐使を送った。 ・航海技術が発達していなかったので，唐に渡るのは危険な旅だったが，遣唐使は危険を乗りこえ唐に渡り，多くの大陸の文化や文物を日本にもたらした。 ・その一部は東大寺にある正倉院の宝物として保管されている。 ②聖武天皇が唐から招いた鑑真の活躍について調べる。 ・何回も失敗しながら来日を果たし，唐招提寺を建立し，日本で仏教を発展させた。 ③この頃日本は大陸との交流により，どのようなことを学んだのか話し合う。 ・中国の皇帝を中心とした政治のしくみ ・大陸の影響を受けた文化 ・仏教　など	**[知技]**発言・ノート
(6) まとめる			
・まとめる　学習問題について調べてきたことを表に整理し，最後に人物のせりふを書きましょう。 **p.34**	1	①これまでに調べたことを発表して，この時代の人物が，新しい国づくりのためにどのようなことを行ったのか，表に	**[思判表]**表・吹き出し **[態度]**表・吹き出し

		整理する。 ・「中大兄皇子，中臣鎌足，唐から帰国した留学生や留学僧」「聖武天皇」「行基」「鑑真」の四つの人物の観点で，新しい国づくりのために行ったことを整理 ②整理したことをもとに，それぞれの立場の人物になったつもりで，天皇中心の世の中について説明する。 ・聖武天皇…わたしは，多くの人々の協力を得ながら，天皇である自分のもっている力を使って全国に国分寺を建てたり大仏を造ったりして仏教の力で世の中を平和にしようとしました。 ・農民…天皇中心の世の中は，実はわたしたち農民が支えていました。大仏づくりも，わたしたちの協力やがんばりがなければ実現しませんでした。	

小単元名	3. 貴族のくらし			教科書のページ	歴史編 p.36～41
配当時数	3時間	活動時期	9月	学習指導要領の内容	(2)ア-(ウ)(シ), イ-(ア)

小単元の目標		我が国の歴史上の主な事象について，世の中の様子，人物の働きや代表的な文化遺産などに着目して，遺跡や文化財，地図や年表などの資料で調べてまとめ，我が国の歴史の展開を考え，表現することを通して，貴族の生活や文化を手掛かりに，日本風の文化が生まれたことを理解できるようにするとともに，学習してきたことを基に長い歴史を経て築かれてきた我が国の伝統や文化と今日の自分たちの生活との関わりを考えようとする。
小単元の観点別評価規準	知識・技能	・世の中の様子，人物の働きや代表的な文化遺産などについて，遺跡や文化財，地図や年表などの資料で調べ，貴族の生活や文化を理解している。 ・調べたことを年表や文などにまとめ，日本風の文化が生まれたことを理解している。
	思考・判断・表現	・世の中の様子，人物の働きや代表的な文化遺産などに着目して，問いを見いだし，貴族の生活や文化について考え表現している。 ・貴族の生活や文化を関連付けたり総合したりして，この頃の文化の特色を考え，適切に表現している。
	主体的に学習に取り組む態度	・貴族の生活や文化について，予想や学習計画を立てたり，見直したりして，主体的に学習問題を追究し，解決しようとしている。 ・学習してきたことを基に長い歴史を経て築かれてきた我が国の伝統や文化と今日の自分たちの生活との関わりを考えようとする。

本時のめあて	時数	学習活動	評価の観点と方法
(1) 貴族と藤原道長			
・**つかむ**　藤原道長ら，貴族がどのようなくらしをしていたのか話し合い，学習問題をつくりましょう。 p.36～37	1	①藤原道長が詠んだ歌の意味を考え，話し合う。 ・この世はすべて自分の思い通りにできる。 ・娘を天皇の妃にし，強い権力を手に入れた。 ・このころ貴族は大きな力をもっていた。 ②貴族は，どんなくらしをしていたのかを調べ，わかったことや疑問に思ったことを話し合い，学習問題をつくる。 ・広くて優雅な寝殿造のやしきに住んでいる。 ・広い庭や池もあり，そこで貴族が遊びを楽しんでいる。 ・貴族は蹴鞠を楽しんでいる。 ・食事も庶民とちがう。 ・はなやかな文化が栄えたみたいだな。 **学習問題**　貴族が栄えていたころ，どのような文化が生まれたのでしょうか。	[**思判表**]発言
(2) 貴族のくらしの中から生まれた文化			★他教科との関連:国語
・**調べる**　藤原氏が栄えていたころ，どのような文化が生まれたのでしょうか。	1	①貴族のくらしの中から生まれてきた文化について，資料から調べる。	[**知技**]発言・ノート

p.38～39		・このころつくられた大和絵には，貴族のくらしの様子が描かれている。 ・束帯や十二単などの服装が生み出された。 ・琴，琵琶，笛などをたしなみ，囲碁や双六で遊び，男子は，蹴鞠や乗馬も行った。 ・漢字からかな文字がつくられ，「源氏物語」など世界的な文学が生まれた。 ・小倉百人一首には，平安時代の女性の歌がたくさん含まれている。 ・中国の影響を受けながら，朝廷を中心として，貴族のくらしの中から美しくはなやかな日本風の文化が生まれた。	
(3) 今に伝わる年中行事			
・**調べる**　貴族が栄えていたころの年中行事で，今に伝えられているものには，どのようなものがあるでしょうか。 p.40	1	①貴族の年中行事で，今に伝えられ行われているものについて資料から調べる。 ・京都で行われている賀茂祭（葵祭）は，今から1200年前から始まり，今でも平安時代のいでたちの人々が行列をつくって市内を歩く。 ・曲水の宴は，貴族の遊びだったけど，今でも伝えられている。 ・お正月の行事や端午の節句，七夕などの行事も貴族の年中行事が今に伝わっている。 ・貴族の文化は，今でもわたしたちのくらしの中に生きている。	[**知技**]発言・ノート
(4) キャッチコピーにまとめる			
・**まとめる**　学習問題について調べてきたことについて話し合い，平安時代の文化の特色を表すキャッチコピーを書きましょう。 p.40	1	①平安時代には，どのような文化が生まれてきたのか調べたことをもとに話し合う。 ・貴族のくらしの中からはなやかな文化が生まれた。 ・中国文化の影響を受けながら，日本独自の文化が生まれた。 ・貴族のくらしの中から生まれた文学は，日本だけでなく世界の人たちにも親しまれている。 ・貴族たちの行っていた年中行事の中には今も受けつがれているものがある。 ②平安時代の文化の特色をキャッチコピーに表現する。 ・今につながる日本風の文化	[**思判表**]発言・キャッチコピー [**態度**]発言・キャッチコピー

小単元名	4. 武士の世の中へ			教科書のページ	歴史編 p.44～54
配当時数	6時間	活動時期	9月	学習指導要領の内容	(2)ア-(エ)(シ), イ-(ア)

小単元の目標		我が国の歴史上の主な事象について，世の中の様子，人物の働きや代表的な文化遺産に着目して，遺跡や文化財，地図や年表などの資料で調べてまとめ，我が国の歴史の展開を考え，表現することを通して，源平の戦い，鎌倉幕府の始まり，元との戦いを手掛かりに，武士による政治が始まったことを理解できるようにするとともに，主体的に学習問題を解決しようとする。
小単元の観点別評価規準	知識・技能	・世の中の様子，人物の働きや代表的な文化遺産などについて，遺跡や文化財，地図や年表などの資料で調べ，源平の戦い，鎌倉幕府の始まり，元との戦いを理解している。 ・調べたことを年表や文などにまとめ，武士による政治が始まったことを理解している。
	思考・判断・表現	・世の中の様子，人物の働きや代表的な文化遺産などに着目して，問いを見いだし，源平の戦い，鎌倉幕府の始まり，元との戦いについて考え表現している。 ・源平の戦い，鎌倉幕府の始まり，元との戦いを関連付けたり総合したりして，この頃の世の中の様子を考え，適切に表現している。
	主体的に学習に取り組む態度	・源平の戦い，鎌倉幕府の始まり，元との戦いについて，予想や学習計画を立てたり，見直したりして，主体的に学習問題を追究し，解決しようとしている。

本時のめあて	時数	学習活動	評価の観点と方法
(1) 武士の登場と武士のくらし			
・**つかむ**　武士とは，どのような人々で，どのような願いをもっていたのかについて話し合い，学習問題をつくりましょう。 p.44～45	1	①「武士のやかたの様子（想像図）」をもとに，武士の生活の様子，武士と貴族のちがいなどについて考え，話し合う。 ・地方の武士は，自分の領地が見渡せる場所にやかたを建てて住んでいた。 ・一族や家来たちも近くに住んでいた。 ・武器の手入れや武芸の訓練，馬の世話などを行い，常に戦いに備えていた。 **学習問題**　武士の登場によって，世の中はどのように変わり，武士は，どのような政治を行っていったのでしょうか。	[**思判表**]発言・ノート
(2) 武士の政治の始まり			
・**調べる**　武士は，どのようにして勢力をのばしていったのでしょうか。 p.46～47	1	①平清盛の活躍について年表にまとめたりして調べ，武士の政治の始まりと平氏の政治の特色について考える。 ・武士のなかには武芸を認められて朝廷や貴族に仕え，大きな力をつけていく者が現れた。 ・平清盛は，むすめを天皇のきさきとして生まれた子を天皇に立てるなど，朝廷の中で重い役を独占して強い力をもつ	[**知技**]発言・ノート

		ようになった。	
(3) 源氏と平氏が戦う			
・**調べる**　源平の戦いで，源氏は平氏をどのように破ったのでしょうか。 p.48～49	1	①源義経の活躍について図書館などで伝記を探すなどして調べ，鎌倉に幕府が開かれるまでの経緯をまとめる。 ・源頼朝が平氏をたおそうと兵をあげると，自分たちの領地を認めてくれる新しいかしらを求めていた武士が次々に集まった。 ・源義経に率いられた軍が，一ノ谷，屋島で平氏を破り，壇ノ浦で平氏をほろぼした。	[**知技**]発言・ノート
(4) 頼朝が東国を治める			
・**調べる**　頼朝は，どのようにして武士たちを従えていったのでしょうか。 p.50～51	1	①鎌倉の地図やご恩と奉公の関係図，政子のうったえなどをもとにして，源頼朝が武士たちをどのように従えていったのかを考える。 ・源頼朝はご恩と奉公の主従関係で武士を従えた。 ・承久の乱の後，鎌倉幕府の力は西国にまで及ぶようになり，執権の北条氏を中心とした幕府は法律や裁判の制度を整えて支配力を強めていった。	[**知技**]発言・ノート
(5) 元の大軍がせめてくる			
・**調べる**　鎌倉幕府は，どのようにして元軍と戦い，その後は，どうなっていったのでしょうか。 p.52～53	1	①元の大軍との戦いの様子を絵図や写真などをもとに調べ，この戦いが鎌倉幕府にどのような影響をおよぼし，幕府の力がどのように弱まっていったのかを考える。 ・元は日本に服従を求めてきたが，執権の北条時宗はその要求を退けた。 ・武士たちは，元軍の集団戦法や火薬兵器（てつはう）などに苦しみながら，恩賞を得るために一所懸命に戦った。	[**知技**] 発言・ノート
(6) まとめる			
・**まとめる**　学習問題について調べてきたことを整理し，自分の考えを４コマまんがで表しましょう。 p.54	1	①武士の発生から元寇までの世の中について，いくつかの視点で整理する。 ・天皇や貴族のくらしと武士のくらしのちがいはどのようなことか。 ・平氏の政治と源氏の政治のちがいはどのようなことか。 ②関係する人物のせりふを考え，４コマまんがを完成させる。 ・元寇の竹崎季長の各場面のせりふを考えて，お互いに発表し合う。 ・他の人物についても場面を設	[**思判表**]４コマまんが・ノート [**態度**]４コマまんが・ノート

			定してせりふを考え，お互いに発表し合う。		
小単元名	5. 今に伝わる室町文化			教科書のページ	歴史編 p.56～61
配当時数	3時間	活動時期	9月	学習指導要領の内容	(2)ア-(オ)(シ)，イ-(ア)

小単元の目標		我が国の歴史上の主な事象について，世の中の様子，人物の働きや代表的な文化遺産などに着目して，遺跡や文化財，地図や年表などの資料で調べてまとめ，我が国の歴史の展開を考え，表現することを通して，京都の室町に幕府が置かれた頃の代表的な建造物や絵画を手掛かりに，今日の生活文化につながる室町文化が生まれたことを理解できるようにするとともに，学習してきたことを基に長い歴史を経て築かれてきた我が国の伝統や文化と今日の自分たちの生活との関わりを考えようとする。
小単元の観点別評価規準	知識・技能	・世の中の様子，人物の働きや代表的な文化遺産などについて，遺跡や文化財，地図や年表などの資料で調べ，京都の室町に幕府が置かれた頃の代表的な建造物や絵画を理解している。 ・調べたことを年表や文などにまとめ，今日の生活文化につながる室町文化が生まれたことを理解している。
	思考・判断・表現	・世の中の様子，人物の働きや代表的な文化遺産などに着目して，問いを見いだし，京都の室町に幕府が置かれた頃の代表的な建造物や絵画について考え表現している。 ・京都の室町に幕府が置かれた頃の代表的な建造物や絵画を関連付けたり総合したりして，この頃の文化の特色を考え，適切に表現している。
	主体的に学習に取り組む態度	・京都の室町に幕府が置かれた頃の代表的な建造物や絵画について，予想や学習計画を立てたり，見直したりして，主体的に学習問題を追究し，解決しようとしている。 ・学習してきたことを基に長い歴史を経て築かれてきた我が国の伝統や文化と今日の自分たちの生活との関わりを考えようとしている。

本時のめあて	時数	学習活動	評価の観点と方法
(1) 足利義政が建てた銀閣			
・**つかむ**　銀閣の様子を見たり，金閣と比べたりしながら話し合い，学習問題をつくりましょう。 p.56～57	1	①金閣と銀閣の写真を比較し，資料をもとに調べる。 ・金閣は，足利義満が建てて，はなやか。 ・銀閣は，足利義政が建てて，とても落ち着いた印象で，金閣と全く違う。 ②「書院造の部屋」や年表をもとに，わかったことや疑問をもとに話し合い，学習問題をつくる。 ・障子やふすまがあって，現在の和室に似ている。 ・書院造は，現在の和室とつながりがあるのかもしれない。 ・室町時代に，茶の湯や生け花などが流行している。 **学習問題**　室町時代の文化は，どのようなものだったのでしょうか。	[**思判表**]発言
(2) 新しい文化が生まれる			
・**調べる**　室町時代の文化には，どのような特色があるのでしょ	1	①雪舟の「天橋立図」を見て，気づいたことを話し合い，雪舟や水墨画について調べる。	[**知技**]ノート

うか。 p.58～59		・墨の濃淡がとても素晴らしい。 ・雪舟は，中国から伝えられたすみ絵を芸術として大成させた。 ・日本の自然の美しさを求めて描き，独特の技法で，国宝の作品にもなっている。 ②室町時代に生まれた，茶の湯や生け花について調べる。 ・室町時代にお茶を飲む習慣が広まり，茶室もつくられるようになった。 ・書院造の床の間を飾る生け花も盛んになった。 ・今では，日本人だけでなく外国人も親しんでいる。 ・庭園づくりも当時は盛んになった。	
(3) 室町文化と現在のつながり			
・調べる　室町時代に生まれた文化には，ほかにどのようなものがあるのでしょうか。 p.60～61	1	①室町時代に生まれた，お祭り，能や狂言について調べる。 ・室町時代に，民衆の力が高まり，お祭りやぼんおどりが各地で行われるようになった。 ・能は，観阿弥や世阿弥によって大成された。 ・狂言は，民衆の生活などを題材に，多くの人が楽しんだ。 ②室町時代に民衆に広まった習慣を調べる。 ・１日３回食事をする習慣が起こった。 ・しょうゆや砂糖も使われるようになった。	[**知技**]ノート
(4) まとめる			
・まとめる　学習問題について調べてきたことを整理し，「ことば」を使って室町時代の文化のしょうかい文を書きましょう。 p.61	1	①これまでに調べたことを発表し，ことばを使って，室町時代の文化の紹介文を書く。 ・現在でも，茶の湯や生け花は日本人だけでなく外国人にも親しまれている。 ・室町時代の書院造は，現在の和室に受け継がれている。 ・雪舟のすみ絵の作品は，現在も多くの人に感動を与えている。	[**思判表**]紹介文・ノート [**態度**]紹介文・ノート

小単元名	6. 戦国の世から天下統一へ			教科書のページ	歴史編 p.64～75
配当時数	6時間	活動時期	10 月	学習指導要領の内容	(2)ア-(カ)(シ), イ-(ア)

小単元の目標		我が国の歴史上の主な事象について，世の中の様子，人物の働きや代表的な文化遺産などに着目して，遺跡や文化財，地図や年表などの資料を調べてまとめ，我が国の歴史の展開を考え，表現することを通して，キリスト教の伝来，織田・豊臣の天下統一を手掛かりに，戦国の世が統一されたことを理解できるようにするとともに，主体的に学習問題を解決しようとする。
小単元の観点別評価規準	知識・技能	・世の中の様子，人物の働きや代表的な文化遺産などについて，遺跡や文化財，地図や年表などの資料で調べ，キリスト教の伝来，織田・豊臣の天下統一を理解している。 ・調べたことを年表や文などにまとめ，戦国の世が統一されたことを理解している。
	思考・判断・表現	・世の中の様子，人物の働きや文化遺産などに着目して，問いを見いだし，キリスト教の伝来，織田・豊臣の天下統一について考え表現している。 ・キリスト教の伝来，織田・豊臣の天下統一を関連付けたり総合したりして，この頃の世の中の様子を考え，適切に表現している。
	主体的に学習に取り組む態度	・キリスト教の伝来，織田・豊臣の天下統一について，予想や学習計画を立てたり，見直したりして，主体的に学習問題を追究し，解決しようとしている。

本時のめあて	時数	学習活動	評価の観点と方法
(1) 戦国大名の登場			
・**つかむ**　長篠の戦いがあったころの世の中の様子について話し合いましょう。 p.64～65	1	①資料1「長篠の戦い」を見てわかったことや 感じたことを発表する。 ・織田信長や豊臣秀吉などの有名な武将がいる。 ・川をはさんで，織田・徳川の連合軍と武田 軍が戦っている。 ・左の織田・徳川の連合軍は馬を防ぐ柵をつくって鉄砲で戦い，右の武田軍は騎馬隊で戦っている。 ・織田信長が鉄砲に目をつけて，長篠の戦いで使ったのがすごい。 ②このころの世の中がどのような様子だったのかを資料3「1570年ごろの主な戦国大名」を見て話し合う。 ・日本各地に，戦国大名と呼ばれる力をもった武将がいた。 ・お互いの力を広げるための戦国大名の戦いが，全国各地で100年ほど続いた。 ・鉄砲を使った織田信長はかなり強かったのではないか。	[**思判表**]発言

(2) 天下統一を進めた二人の武将			
・**つかむ**　年表や資料を見ながら話し合って学習問題をつくり，学習計画を立てましょう。 p.66～67	1	①年表や資料1，2を参考にして，この時代の様子や疑問に思ったことを話し合う。 ・織田信長は，家来の豊臣秀吉や徳川家康と力を合わせて天下統一を目指したのではないか。 ・天下統一のためには，戦いだけでなく，もっと他のことも行ったのではないか。 ・鉄砲が外国から入ってきたように，天下統一のためには，外国との関わりも関係があるのではないか。 ②出された疑問をもとに学習問題をつくる。 **学習問題**　織田信長，豊臣秀吉は，どのようにして戦国の世をおさめていったのでしょうか。 ③学習問題に対して予想を立て，予想を確かめるために調べることを決めて学習計画を立てる。 ・外国との関わりを調べる。 ・戦いの様子を調べる。 ・政治の様子を調べる。 ④調べ方やまとめ方についても話し合う。 ・教科書，資料集 ・図書館等の本 ・インターネットでの情報収集 ・VTR ・信長と秀吉について調べ，わかったことをもとにテーマを決めて話し合う。 （ミニディスカッション）	[**思判表**]発言・ノート
(3) ヨーロッパ人の来航			
・**調べる**　戦国の世，日本と外国にはどのようなかかわりがあったのでしょうか。 p.68～69	1	①この時代の日本が，外国とどのように関わっていたのかを資料1，3の地図を見て調べる。 ・ポルトガルやスペインが世界の様々なところに出かけていて日本にもやってきた。 ・鉄砲のように，このころヨーロッパの進んだ文化や品物が入ってくるようになった。 ・ザビエルは九州に来て，そこから西日本を通って京都までやってきた。 ②ヨーロッパの進んだ文化や品物が入ってきて日本にはどのような影響があったのかを資料5，6やグラフを見て調べる。 ・鉄砲は戦い方を大きく変えた。	[**知技**]発言・ノート

		・外国の品物が入ってきたことで栄えてきた町がある。 ・キリスト教を信じる人が年々増えていった。	
(4) 安土城と織田信長			
・**調べる**　織田信長は，天下統一をするために，どのようなことを行ったのでしょうか。 p.70～71	1	①織田信長が，天下統一に向けてどのようなことを行ったのか，戦いの様子を調べる。 ・鉄砲を使うなど，戦い方を工夫した。 ・堺などの商業都市をおさえて豊富な資金を手に入れ，それで武器を買った。 ・その武器を使って，少しずつ勢力を広げ，室町幕府も滅ぼした。 ・常識にとらわれず，天下を統一しようとする強い気持ちがあった。 ②織田信長が，天下統一に向けてどのようなことを行ったのか，政治の様子を調べる。 ・自らの力を示すために安土城を築いた。 ・強い力をもっていた仏教勢力をおさえた。 ・キリスト教を保護した。 ・誰でも商売ができるようにして（楽市・楽座），商業や工業を盛んにした。	[**知技**]発言・ノート
(5) 大阪城と豊臣秀吉			
・**調べる**　豊臣秀吉は，天下統一をするために，どのようなことを行ったのでしょうか。 p.72～73	1	①豊臣秀吉が，天下統一に向けてどのようなことを行ったのか，戦いの様子を調べる。 ・織田信長に仕えて有力な武将になった。 ・織田信長にそむいた明智光秀を倒した。 ・朝廷から関白に命じられ，全国の大名や仏教勢力をおさえて天下統一を成し遂げた。 ・幼いころから賢く，人の嫌がる仕事も引き受けて力をつけていった。 ②豊臣秀吉が，天下統一に向けてどのようなことを行ったのか，政治の様子を調べる。 ・大阪城を築いて政治の拠点とした。 ・金や銀の鉱山をおさえるなどしてばく大な財力を蓄えた。 ・検地で確実に収入を得られるようにした。 ・刀狩令で百姓が反抗できないようにした。 ・武士の世の中のしくみが整えられた。 ・朝鮮に大軍を送ったが失敗した。	[**知技**]発言・ノート

		・大陸の影響を受けた文化 ・仏教　など	

(6) まとめる			
・まとめる　天下統一を進めた二人の武将の働きについて，学習したことをもとに話し合いましょう。 **p.74～75**	1	①学習問題をふり返る。 ②二人の武将が行ったことをグループで表に整理し，「天下統一に向けての働きがより大きかったのは信長か秀吉か」をテーマに，自分の考えをノートに書く。（10分） ③役割を決めてミニディスカッションをする。 ・信長の働きが大きかったと考える児童2名 ・秀吉の働きが大きかったと考える児童2名 ・司会1名 ・4人のパネラーがテーマについての自分の考えを述べる。 ・パネラーどうしで質問や意見を述べ合う。 ・パネラーの話を聞いていた人たちからパネラーへ質問や意見を述べ，それぞれの考えを伝え合う。（25分） ④ミニパネルディスカッションで出された意見を参考に，学習問題についてのまとめとして自分の考えを書く。	**[思判表]**発言・ノート **[態度]**発言・ノート

小単元名	7. 江戸幕府と政治の安定			教科書のページ	歴史編 p.76～86
配当時数	6時間	活動時期	10 月	学習指導要領の内容	(2)ア-(キ)(シ), イ-(ア)

小単元の目標		我が国の歴史上の主な事象について，世の中の様子，人物の働きや代表的な文化遺産などに着目して，遺跡や文化財，地図や年表などの資料で調べてまとめ，我が国の歴史の展開を考え，表現することを通して，江戸幕府の始まり，参勤交代や鎖国などの幕府の政策，身分制を手掛かりに，武士による政治が安定したことを理解できるようにするとともに，主体的に学習問題を解決しようとする。
小単元の観点別評価規準	知識・技能	・世の中の様子，人物の働きや代表的な文化遺産などについて，遺跡や文化財，地図や年表などの資料で調べ，江戸幕府の始まり，参勤交代や鎖国などの幕府の政策，身分制を理解している。 ・調べたことを年表や文などにまとめ，武士による政治が安定したことを理解している。
	思考・判断・表現	・世の中の様子，人物の働きや代表的な文化遺産などに着目して，問いを見いだし，江戸幕府の始まり，参勤交代や鎖国などの幕府の政策，身分制について考え表現している。 ・江戸幕府の始まり，参勤交代や鎖国などの幕府の政策，身分制を関連付けたり総合したりして，この頃の世の中の様子を考え，適切に表現している。
	主体的に学習に取り組む態度	・江戸幕府の始まり，参勤交代や鎖国などの幕府の政策，身分制について，予想や学習計画を立てたり，見直したりして，主体的に学習問題を追究し，解決しようとしている。

本時のめあて	時数	学習活動	評価の観点と方法
(1) 徳川家康と江戸幕府			
・**つかむ**　江戸幕府が力を強め，政治を安定させたしくみについて話し合い，学習問題をつくりましょう。 p.76～77	1	①徳川家康が，どのようにして，江戸幕府を開いたのか調べる。 ・三河の小さな大名の子に生まれ，苦労を重ねたが，成長するとともに勢力を伸ばし，戦いにすぐれた強い武将として知られた。 ・秀吉の死後，多くの大名を味方につけて勢力を強め，関ヶ原の戦いで対立する大名を破り，全国支配を確かなものにした。 ・朝廷から征夷大将軍に任じられ，江戸に幕府を開いた。 ・豊臣氏を滅ぼすとともに，全国に一国一城令を出し，大名の住む城以外の城の破壊を命じた。 ②江戸幕府が，親藩，譜代，外様といった大名をどのように配置し，どのような場所を直接支配したのか調べ，話し合う。 ・外様大名がすぐに江戸を攻められないよう工夫して配置している。 ・主な鉱山や主要な都市は幕府	[思判表]発言

		が直接支配している。 **学習問題**　江戸幕府は，どのようにして力を強め，政治を安定させようとしたのでしょうか。 ③学習計画を立てる。	
(2) 将軍による支配の安定			
・調べる　徳川家康が開いた江戸幕府は，徳川家光にどのように受けつがれたのでしょうか。 p.78～79	1	①徳川家光が，どのようにして江戸幕府を受け継ぎ，権力を確立したか調べ，話し合う。 ・日光東照宮は家光の権力を大名たちに見せつけるうえで大きな役割を果たした。 ・家光は江戸城と江戸の町を大幅に改修し，天下にふさわしい城下町を作った。 ・家康から家光のころの間，武家諸法度に反したなどの理由で，全国の多くの大名が取りつぶされ，将軍の力はますます強くなった。 ・江戸幕府のしくみは家光のころに確立し，安定した世の中をむかえた。	**[知技]**ノート
(3) 大名の取りしまりと参勤交代			
・調べる　幕府は，どのようにして多くの大名を従えていったのでしょうか。 p.80～81	1	①江戸幕府が全国の大名を従えるために，どのようなしくみを整えたかを調べ，話し合う。 ・家光が将軍のころ，大名が行列を組んで領地と江戸との間を行き来する参勤交代の制度が整えられた。 ・大名は自分の城と領地を持っていたが，１年おきに江戸の屋敷に住まわされ，将軍に対して服従の態度を示した。 ・大名の妻と子どもは江戸の屋敷での生活を義務づけられた。 ・将軍は参勤交代の制度を利用して，全国の大名を従えることができた。 ・大名にとって，江戸での生活は多くの費用がかかった。 ・大名は将軍に命じられ，さまざまな土木工事の費用や労力を負担した。 ・参勤交代のために，幕府は五街道をはじめとする主な道路を整備した。その結果，旅人や飛脚の行き来もさかんになり，江戸の文化が各地に広がるきっかけとなった。	**[知技]**発言・ノート
(4) 人々のくらしと身分			
・調べる　江戸時代，人々は身分に応じて，どのようにくらしていたのでしょうか。 p.82～83	1	①江戸時代の人々が身分に応じてどのようにくらしていたのかを調べ，話し合う。 ・江戸時代の社会は，武士，百	**[知技]**発言・ノート

		姓，町人など，さまざまな身分の人々によって構成されていた。 ・武士や町人は城下町に集められ，身分によって住む場所が決められた。 ・江戸時代の人口の80％以上は，百姓でしめられていた。 ・百姓は名主を中心に，自分たちで村を運営した。 ・百姓は農村や山村，漁村に住み，収穫の半分にもなる重い年貢を納めたり，いろいろな力仕事をさせられたりした。 ・百姓は農具を改良したり，肥料をくふうしたりして，農業技術を進歩させた。 ・それ以外にも皇族，公家，宗教者，芸能者など，さまざまな身分がみられた。また，百姓や町人とは別に厳しく差別されてきた身分の人々もいた。	
(5) キリスト教の禁止と鎖国			
・**調べる**　幕府は，どのようにしてキリスト教を禁止したのでしょうか。 p.84～85	1	①江戸幕府が，どのようにキリスト教を禁止していったのか調べて話し合う。 ・幕府は初めのころ，外国との貿易をさかんにしようとしていたが，キリスト教信者が増え，幕府の命令に従わなくなることを心配して，キリスト教を禁止するようになった。 ・幕府は島原・天草一揆を，大軍を送っておさえた後，絵踏みを取り入れ，キリスト教をいっそう厳しくとりしまるようになった。 ・幕府はキリスト教を徹底して排除するとともに，海外貿易の利益を独占した。	[**知技**]ノート
(6) まとめる			
・**まとめる**　学習問題について調べてきたことを整理し，最後に，当時の人々になったつもりでせりふをうめましょう。 p.86	1	①江戸幕府が政治を安定させるために，人々に対して行ったことを整理する。 ＜大名に対しての例＞日光東照宮や江戸城の建設を通じて幕府の力を見せつけながら，武家諸法度と参勤交代によって将軍に従わせた。 ＜百姓や町人などに対しての例＞身分に応じて異なる場所に住まわせたり，年貢や役などのさまざまな負担を行わせたりした。 ＜キリスト教の信者や外国の貿易船に対しての例＞キリスト教を厳しく禁止するととも	[**思判表**]まとめシート [**態度**]まとめシート

		に，貿易相手の国と貿易の場所を限り，幕府が貿易を独占した。 ②江戸幕府の政治について，人々がどう思ったかを考える。 ＜外様大名の例＞１年おきに江戸に住んで将軍に従うのは大変だ。領地で妻や子供と一緒にくらしたい。 ＜百姓の例＞年貢や役の負担が大変だ。せめて農具や肥料を改良して，農業の技術を高めよう。 ＜オランダの商人の例＞自分たちはキリスト教を広めないから貿易をひとりじめできる。でも，長崎の出島での貿易はとてもきゅうくつだなあ。	

小単元名	8. 町人の文化と新しい学問			教科書のページ	歴史編 p.90～98
配当時数	5時間	活動時期	11 月	学習指導要領の内容	(2)ア-(ク)(シ), イ-(ア)

小単元の目標		我が国の歴史上の主な事象について，世の中の様子，人物の働きや代表的な文化遺産などに着目して，遺跡や文化財，地図や年表などの資料で調べてまとめ，我が国の歴史の展開を考え，表現することを通して，歌舞伎や浮世絵，国学や蘭学を手掛かりに，町人の文化が栄え新しい学問がおこったことを理解できるようにするとともに，学習してきたことを基に長い歴史を経て築かれてきた我が国の伝統や文化と今日の自分たちの生活との関わりを考えようとする。
小単元の観点別評価規準	知識・技能	・世の中の様子，人物の働きや代表的な文化遺産などについて，遺跡や文化財，地図や年表などの資料で調べ，歌舞伎や浮世絵，国学や蘭学を理解している。 ・調べたことを年表や文などにまとめ，町人の文化が栄え新しい学問がおこったことを理解している。
	思考・判断・表現	・世の中の様子，人物の働きや代表的な文化遺産などに着目して，問いを見いだし，歌舞伎や浮世絵，国学や蘭学などについて考え表現している。 ・歌舞伎や浮世絵，国学や蘭学を関連付けたり総合したりして，この頃の文化の特色を考え，適切に表現している。
	主体的に学習に取り組む態度	・歌舞伎や浮世絵，国学や蘭学について，予想や学習計画を立てたり，見直したりして，主体的に学習問題を追究し，解決しようとしている。 ・学習してきたことを基に長い歴史を経て築かれてきた我が国の伝統や文化と今日の自分たちの生活との関わりを考えようとしている。

本時のめあて	時数	学習活動	評価の観点と方法
(1) 江戸や大阪のまちと人々のくらし			
・**つかむ**　江戸や大阪のまちの様子やほかの資料をもとにして，当時の社会について話し合い，学習問題をつくりましょう。 p.90～91	1	①江戸や大阪のまちの様子について資料をもとに調べ，話し合う。 ・江戸の両国橋付近は，橋の上，広場，川のどこも花火見物の人であふれかえり，とてもにぎやかだ。 ・大阪のまちは，経済の中心地として栄え，多くの物が江戸に運ばれた。 ・社会が安定するにつれて商業が発達し，武士以外の人々の中にも学問や文化に親しむ人が現れるようになった。 ・両国橋や芝居小屋にたくさんの人が集まっている。 ・役者や風景などを描いた浮世絵という多色刷りの版画について，描き方や誰が買ったかなどが気になる。 ・蘭学や国学といった学問で活躍した杉田玄白や本居宣長はどんなことをしたのだろう。 **学習問題**　江戸時代の後半には，どのような新しい文化や学問が生まれ，社会にどのように広がったのでしょうか。	[**思判表**]発言

		②学習計画を立てる。	
(2) 人々が歌舞伎や浮世絵を楽しむ			
・調べる　歌舞伎や浮世絵は，人々の間で，どのように親しまれていったのでしょうか。 p.92～93	1	①近松門左衛門の活躍の様子について調べ，歌舞伎が，人々にどのように親しまれていったのか話し合う。 ・各地の城下町の芝居小屋は，いつも大勢の人でにぎわっていて，芝居見物は人々の大きな楽しみだった。 ・近松門左衛門の歌舞伎や人形浄瑠璃の作品は，力をつけてきた町人の生き生きとした姿や義理人情を描き，人々に親しまれた。 ・近松の作品は，現在でも名作としてさまざまな舞台で上演されている。 ・歌舞伎は地方にもさまざまな形で広まり，今でも演じられているところがある。 ②歌川広重の活躍の様子を調べ，浮世絵が人々にどのように親しまれたのか話し合う。 ・浮世絵は版画として大量に刷られたので安く売られ，多くの人々に買い求められた。 ・歌川広重が東海道の名所や風景を描いた「東海道五十三次」は大量に印刷され，江戸からふるさとへのみやげとしても買い求められ，多くの人の手に渡った。 ・町人や百姓が，観光をかねて寺や神社にお参りする旅に行けるようになったことも，名所や風景を描いた浮世絵が流行した背景にあった。 ・19世紀後半には，広重らの浮世絵は海外でも，鑑賞されるようになった。	[**知技**]ノート
(3) 新しい学問・蘭学			
・調べる　蘭学は，どのような学問で，社会にどのようなえいきょうをあたえたのでしょうか。 p.94～95	1	①二つの解剖図を比べたり，オランダ語の医学書を翻訳する際の苦労などについて調べたりする。 ・「解体新書」の解剖図の方が正確に描かれている。 ・杉田玄白らは，どんな困難があってもオランダ語の医学書を日本語に訳そうとした。 ・満足な辞典がないため，医学用語の翻訳に大変苦労し，4年の間に11回も書き改めた。 ②江戸時代初期と伊能忠敬の日本地図を比べたり，忠敬がどのように測量を進めたのか調べたりする。	[**知技**]ノート

		・伊能忠敬の日本地図は，現代の日本地図とほとんど変わらず，正確である。 ・伊能忠敬は，当時としては新しい天文学や測量術を学び，それを生かして，全国を歩いて測量し，正確な日本地図を作り上げた。 ③蘭学が当時の人々の考え方に与えた影響について調べ話し合う。 ・医学のほかにもヨーロッパの地理学や天文学，兵学など新しい知識や技術を日本に役立てようとする人々が現れた。 ・そうした人々の中から，もっと世界に目を向けて，政治や社会がこのままではいけないと考える人々も出てきた。	
(4) 国学の発展と新しい時代への動き			
・調べる 国学は，どのような学問なのでしょうか。また，新しい時代への動きは，どのようなものだったのでしょうか。 **p.96～97**	1	①国学はどのような学問なのか，本居宣長は国学の発展にどのような働きをしたのか調べ話し合う。 ・国学とは，仏教や儒教などが中国から伝える前の日本人が持っていた考え方を研究しようとする学問で，「古事記」や「万葉集」の中に日本人の心を探ろうとした。 ・本居宣長は，「古事記」の研究に全力を注ぎ，35年かけて「古事記伝」を完成させた。 ・本居宣長は社会や政治にも目を向け，政治を行う人の心構えを説いた。 ・国学は江戸時代の後半，地方の人々の間に広まり，天皇を尊いものとして，政治の現状を批判する人たちも現れた。 ②江戸時代後半の新しい時代の動きについて調べる。 ・大きなききんや物価の上昇によって，百姓一揆や打ちこわしが全国各地で起きた。 ・百姓一揆や打ちこわしを人々の中には，幕府や藩に社会の問題を解決する力がなくなってきていることに気づく人が出てきた。 ・新しい学問を学ぶ人や武士の中からも，幕府や藩を批判する人が現れた。 ・長州藩や薩摩藩などでは藩の政治を改革する動きが出てきた。	**[知技]**ノート

(5) まとめる			
・まとめる　学習問題について調べてきたことを整理し，キャッチフレーズをつくって発表しましょう。 p.98	1	①近松門左衛門，杉田玄白，本居宣長がどのようなことをしたかをまとめ，説明する。 ＜近松門左衛門の例＞歴史上の物語や実際に起きた事件を題材にして，歌舞伎や人形浄瑠璃について約150編の脚本を書いた。 ＜杉田玄白の例＞人体の解剖を見学して，オランダ語の解剖図が正確に描かれていることに驚き，苦労して翻訳し，「解体新書」と名づけて出版した。 ＜本居宣長の例＞古い時代の日本人が持っていた考え方を明らかにするために「古事記」の研究にうちこみ，「古事記伝」を完成させた。 ②歌舞伎，浮世絵，蘭学，国学について，特色を表すキャッチフレーズをつくり，みんなで発表する。 ＜国学のキャッチフレーズの例＞昔の日本人の心を探る ＜浮世絵のキャッチフレーズの例＞安く楽しめる名所の風景	**[思判表]**まとめシート **[態度]**まとめシート

小単元名	9. 明治の国づくりを進めた人々			教科書のページ	歴史編 p.102～115
配当時数	7時間	活動時期	11 月	学習指導要領の内容	(2)ア-(ケ)(シ), イ-(ア)

小単元の目標		我が国の歴史上の主な事象について，世の中の様子，人物の働きや代表的な文化遺産などに着目して，遺跡や文化財，地図や年表などの資料で調べてまとめ，我が国の歴史の展開を考え，表現することを通して，黒船の来航，廃藩置県や四民平等などの改革，文明開化などを手掛かりに，我が国が明治維新を機に欧米の文化を取り入れつつ近代化を進めたことを理解できるようにするとともに，主体的に学習問題を解決しようとする。
小単元の観点別評価規準	知識･技能	・世の中の様子，人物の働きや代表的な文化遺産などについて，遺跡や文化財，地図や年表などの資料で調べ，黒船の来航，廃藩置県や四民平等などの改革，文明開化などを理解している。 ・調べたことを年表や文などにまとめ，我が国が明治維新を機に欧米の文化を取り入れつつ近代化を進めたことを理解している。
	思考･判断･表現	・世の中の様子，人物の働きや代表的な文化遺産などに着目して，問いを見いだし，黒船の来航，廃藩置県や四民平等などの改革，文明開化などについて考え表現している。 ・黒船の来航，廃藩置県や四民平等などの改革，文明開化などを関連付けたり総合したりして，この頃の世の中の様子を考え，適切に表現している。
	主体的に学習に取り組む態度	・黒船の来航，廃藩置県や四民平等などの改革，文明開化などについて，予想や学習計画を立てたり，見直したりして，主体的に学習問題を追究し，解決しようとしている。

本時のめあて	時数	学習活動	評価の観点と方法
(1) 江戸から明治へ			
・**つかむ**　江戸から明治への変化について話し合い，学習問題をつくりましょう。 p.102～103	1	①江戸時代末ころと明治時代初めの日本橋近くの様子や寺子屋と学校とを比べ，変わったことを明らかにする。 ・服装・髪型・乗り物・建物・ガス灯の有無 ・校舎の様子・先生の服装・学び方など ②江戸時代末から明治時代初めの20～30年くらいの間に社会全体に大きな変化が起きたことを明治維新ということを捉え，学習問題をつくる。 **学習問題**　明治維新では，だれが，どのように，世の中のしくみを整えていったのでしょうか。	**[思判表]** 発言・ノート
(2) 若い武士たちが幕府をたおす			
・**調べる**　明治維新を進めた人々は，どのような思いをもっていたのでしょうか。 p.104～105	1	①「ペリーの上陸」の絵やペリーの肖像画などから，江戸時代末に起こったことを明らかにする。 ・1853年に４せきの軍艦を率いてやってきた。 ・幕府はとても驚いた。 ・1854年に日米和親条約を結んで開国し，鎖国の状態が終わった。	**[知技]**発言・ノート

		・その後，1858年には日米修好通商条約を結んで，外国との貿易が始まった。 ・物価が急に上がって人々の不満が高まった。 ・長州藩や薩摩藩は外国と戦ったが力の差が大きいことがわかった。 ②開国後に武士たちがどのような思いをもって活動し，世の中がどのように変わったのかを明らかにする。 ・木戸孝允，大久保利通，西郷隆盛らは，強い国づくりを進めるために，新しい政府をつくる運動を始めた。 ・15代将軍徳川慶喜は，1867年に政権を朝廷に返した。 ・1868年，明治天皇の名で五箇条の御誓文を定め，新しい時代が始まった。	
(3) 大久保利通と明治新政府の改革			
・**調べる**　欧米に学んだ大久保利通は，どのような国づくりをめざして取り組んでいったのでしょうか。 p.106～107	1	①新しい政府がどのように政治を進めようとしたのかを調べる。 ・政治の方針が日本中に広まるようにするために，廃藩置県を行った。 ・政治の中心となった大久保利通や木戸孝允らはヨーロッパの国々に追いつくために，工業をさかんにし，強い軍隊をもつという富国強兵に力を入れた。 ②外国で学んだ大久保利通らが進めた取り組みを調べ，国づくりの特色を話し合う， ・近代的な工業を始めるために，外国から機械を買い，技師を招いて国が運営する官営工場を開いた（富国強兵）。 ・武士にかわり，訓練された近代的な軍隊をもつために徴兵令を出した。 ・国の収入を安定させるために，土地に対する税のしくみを改めた（地租改正）。	[**知技**]発言・ノート
(4) 新しい世の中の文化や生活			
・**調べる**　明治時代になって，人々の生活は，どのように変わっていったのでしょうか。 p.108～109	1	①文明開化の意味を明らかにし，人々の生活の変化を調べる。 ・文明開化により，西洋から多くのことが紹介されたりとり入れられたりした。 ・新しい時代の学問を学び，それにふさわしい生き方や考え方に興味をもつ人が多くなった。 ・1871年には身分制度が変わ	[**知技**]発言・ノート

		り，国民は平等であるとされた。 ・1872年に学制が公布され，６歳以上の男女が学校に通うようになってきた。 ・鉄道が開通したり，郵便制度ができたり電信が始まったりした。	
(5) 板垣退助と自由民権運動			
・**調べる**　政府の改革に不満をもつ人々は，どのような行動をとったのでしょうか。 p.110～111	1	①政府の改革に不満をもつ士族の行動を調べ，世の中の変化を明らかにする。 ・多くの士族は，武士として得ていた収入を失って生活に困るようになった。 ・西郷隆盛を中心とする西南戦争などの士族による反乱が各地で起こったが，すべて政府の軍隊によってしずめられた。 ・その後，言論で主張する世の中に変わった。 ②自由民権運動の特色を調べ，その成果を話し合う。 ・板垣退助らは国会開設を主張し，人々の間にも政治参加を求める声が出てきた。 ・国会を開き，憲法をつくることを求める動きは自由民権運動として各地に広がった。 ・政府は様々な条例を定めて厳しく取りしまったが，1881年に政府は1890年に国会を開くことを約束した。	[**知技**]発言・ノート
(6) 伊藤博文と国会開設，大日本帝国憲法			
・**調べる**　伊藤博文は，どのような思いをもって大日本帝国憲法をつくったのでしょうか。 p.112～113	1	①国会開設に先立って板垣退助や大隈重信らが行ったことを調べる。 ・自由党や立憲改進党といった政党がつくられた。 ・日本各地でさまざまな立場の人々が憲法の案をつくった。 ・伊藤博文は，ドイツで憲法を学び，内閣制度をつくった。また，初代内閣総理大臣に命じられ，憲法をつくる仕事に力を注いだ。 ②大日本帝国憲法や国会の特色を明らかにし，国の政治のあり方について話し合う。 ・1889年，天皇が国民にあたえるという形で大日本帝国憲法が発布された。 ・大日本帝国憲法は，天皇が主権をもち，軍隊を率いたり条約を結んだりするのも天皇であった。 ・国会は，貴族院と衆議院から	[**知技**]発言・ノート

		なり，衆議院議員のみ国民の選挙で選ばれた。 ・選挙権は一定の税金を納めた25歳以上の男子のみであった。 ・1890年に第１回の国会が開かれた。	
(7) まとめる			
・**まとめる**　調べたことを年表でふり返り，学習問題について話し合いましょう。最後に，自分の考えをノートにまとめましょう。 p.114～115	1	①これまで調べたことを想起し，多くの人物が明治維新で様々なことを行ったことを年表にまとめる。 ・木戸孝允，大久保利通，板垣退助，西郷隆盛，伊藤博文らの業績を中心にまとめる。 ②年表などを活用し，明治維新で国や社会のしくみがどのように変わったのかを話し合って，自分の考えをノートにまとめる。	[**思判表**]年表・ノート [**態度**]年表・ノート

小単元名	10. 世界に歩み出した日本			教科書のページ	歴史編 p.116～126
配当時数	6時間	活動時期	12 月	学習指導要領の内容	(2)ア-(コ)(シ), イ-(ア)

小単元の目標		我が国の歴史上の主な事象について，世の中の様子，人物の働きや代表的な文化遺産などに着目して，遺跡や文化財，地図や年表などの資料で調べてまとめ，我が国の歴史の展開を考え，表現することを通して，日清・日露の戦争，条約改正，科学の発展などを手掛かりに，我が国の国力が充実し国際的地位が向上したことを理解できるようにするとともに，主体的に学習問題を解決しようとする。
小単元の観点別評価規準	知識・技能	・世の中の様子，人物の働きや代表的な文化遺産などについて，遺跡や文化財，地図や年表などの資料で調べ，日清・日露の戦争，条約改正，科学の発展などを理解している。 ・調べたことを年表や文などにまとめ，我が国の国力が充実し国際的地位が向上したことを理解している。
	思考・判断・表現	・世の中の様子，人物の働きや代表的な文化遺産などに着目して，問いを見いだし，日清・日露の戦争，条約改正，科学の発展などについて考え表現している。 ・日清・日露の戦争，条約改正，科学の発展などを関連付けたり総合したりして，この頃の世の中の様子を考え，適切に表現している。
	主体的に学習に取り組む態度	・日清・日露の戦争，条約改正，科学の発展などについて，予想や学習計画を立てたり，見直したりして，主体的に学習問題を追究し，解決しようとしている。

本時のめあて	時数	学習活動	評価の観点と方法
(1) 条約改正をめざして			
・**つかむ**　日本は江戸時代の終わりに結んだ条約によって，どのようなえいきょうを受けていたのか話し合い，学習問題をつくりましょう。 p.116～117	1	①ノルマントン号事件の風刺画を見て話し合い，不平等条約の存在に気づく。 ②図を見て不平等条約の内容について話し合う。 ・外国人が日本で罪をおかしても日本の法律でさばくことができない（領事裁判権）。 ・修好通商条約は，日本に関税自主権が認められていない（輸入品にかける税金を自由に決められない）不平等条約だった。 ・領事裁判権を認めたこと，関税自主権が認められていないことは日本にとって不利である。 ③読み取った資料からわかったこと，疑問に思ったことを話し合い，学習問題をつくる。 **学習問題**　日本は，条約改正をめざして，どのような努力をしたのでしょうか。また，世界の中で，日本の立場や国民の生活には，どのような変化が起こったのでしょうか。	[**思判表**]発言・ノート

(2) 発展していく日本			★他教科との関連:算数
・**調べる**　この時代，日本はどのように国づくりを進め，世界に歩み出していったのでしょうか。 p.118～119	1	①紡績工場と製糸工場の写真，前の見開きの年表を見て，気づいたことを話し合う。 ・とても大きな工場で，たくさんの女工と呼ばれた人々が朝から晩まで働いていた。 ・日本は，10年間で2回も戦争をしている。 ②「日本の西洋クラブへの仲間入りをえがいたまんが」を見て気づいたことを話し合う。 ・前の見開きの鹿鳴館の絵も参照する。 ・日本は何とかして欧米諸国への仲間入りをしたかった。 ・欧米諸国は，あまり歓迎しなかった。 ③条約改正に向けた陸奥宗光の願いや働きを読み取る。 ・1894年，外務大臣の陸奥宗光は，そのころ最も力の強かったイギリスと交渉して，領事裁判権をなくすことに成功した。	[**知技**]発言・ノート
(3) 中国やロシアと戦う			
・**調べる**　二つの戦争によって，日本と世界の国々との関係は，どのように変わっていったのでしょうか。 p.120～121	1	①「朝鮮をめぐる日本，ロシア，中国」の風刺画を見て，朝鮮をめぐる三国の関係について話し合う。 ②教科書の本文や資料を見て，二つの戦争の様子や結果を読み取る。 ・日清戦争も日露戦争も，朝鮮半島の支配をめぐっての戦いだった。 ・戦場は主に朝鮮半島や中国東北部（満州）だった。 ・日清戦争で，日本は清から賠償金を得るとともに台湾などを植民地とした。 ・日露戦争で，日本はロシア艦隊を破り，樺太の南部と満州の鉄道などを得た。 ・日露戦争では，日清戦争よりもずっと多い戦死者が出た。 ・二つの戦争を通して，日本の国際的な地位が向上した。	[**知技**]発言・ノート
(4) 世界へ進出する日本			
・**調べる**　世界の中で日本の立場は，どのように変わっていったのでしょうか。 p.122～123	1	①写真や地図を見て，日本が朝鮮の人々にどのようなことをして，それを朝鮮の人々はどう思ったのかを考える。 ②小村寿太郎が条約改正に成功して関税自主権が回復されたことの意義を考える。 ③世界で活躍した日本人の様子や国内での新しい文学や科学	[**知技**]発言・ノート

		の発展について調べる。 ・新渡戸稲造は国際連盟の事務局次長を務めた。 ・北里柴三郎，志賀潔，野口英世らは医学の発展に尽くした。 ・文学の世界では，夏目漱石，樋口一葉，与謝野晶子，正岡子規らが活躍した。	
(5) 生活や社会の変化			
・**調べる**　産業の発展によって，人々の生活や社会はどのように変化したのでしょうか。 p.124～125	1	①産業の発展によって生活がどのように変わってきたのかを調べる。 ・八幡製鉄所の写真から重工業が発達した様子がわかる。 ・電車やバスなどの交通機関が発達し，ラジオ放送が始まり，洋服が普及するなど，人々の生活や社会が大きく変化した。 ②人々の民主主義への意識の高まりについて調べる。 ・衆議院議員の選挙権が25歳以上の男子となった。 ・平塚らいてう，市川房枝などを中心として女性の地位向上をめざす運動が広がった。	[**知技**]発言・ノート
(6) まとめる			
・**まとめる**　学習問題について調べてきたことを人物カードに整理し，最後に，自分の考えをノートにまとめましょう。 p.126	1	①学習問題について調べてきたことを人物カードに整理する。 ②学習問題を通して考えたことをノートにまとめる。 ・日本は，条約改正をめざして，どのような努力をしてきたのか。 ・日本が条約改正を達成できたのは，日本の国力が充実したからである。 ・世界の中で，日本の立場や国民の生活にはどのような変化が起こったのか。	[**思判表**]人物カード・ノート [**態度**]人物カード・ノート

小単元名	11. 長く続いた戦争と人々のくらし			教科書のページ	歴史編 p.128～140
配当時数	7時間	活動時期	1月	学習指導要領の内容	(2)ア-(サ)(シ), イ-(ア)

小単元の目標		我が国の歴史上の主な事象について，世の中の様子，人物の働きや代表的な文化遺産に着目して，遺跡や文化財，地図や年表などの資料で調べてまとめ，我が国の歴史の展開を考え，表現することを通して，日中戦争や我が国に関わる第二次世界大戦などを手掛かりに，我が国と中国との戦いが全面化したことや，連合国との戦いによる敗戦，広島・長崎への原爆投下など大きな被害を受けたことなどを理解できるようにするとともに，学習してきたことを基に過去の出来事と今日の自分たちの生活や社会との関連や，歴史から学んだことをどのように生かしていくかなど国家及び社会の発展を考えようとする。
小単元の観点別評価規準	知識・技能	・世の中の様子，人物の働きや代表的な文化遺産などについて，遺跡や文化財，地図や年表などの資料で調べ，日中戦争や我が国に関わる第二次世界大戦などを理解している。 ・調べたことを年表や文などにまとめ，我が国と中国との戦いが全面化したことや，連合国との戦いによる敗戦，広島・長崎への原爆投下など大きな被害を受けたことなどを理解している。
	思考・判断・表現	・世の中の様子，人物の働きや代表的な文化遺産などに着目して，問いを見いだし，日中戦争や我が国に関わる第二次世界大戦などについて考え表現している。 ・日中戦争や我が国に関わる第二次世界大戦などを関連付けたり総合したりして，我が国の政治や国民生活が大きく変わったことを考えたり，学習してきたことを基に，歴史を学ぶ意味について考えたりして，適切に表現している。
	主体的に学習に取り組む態度	・日中戦争や我が国に関わる第二次世界大戦などについて，予想や学習計画を立てたり，見直したりして，主体的に学習問題を追究し，解決しようとしている。 ・学習してきたことを基に過去の出来事と今日の自分たちの生活や社会との関連や，歴史から学んだことをどのように生かしていくかなど国家及び社会の発展を考えようとしている。

本時のめあて	時数	学習活動	評価の観点と方法
(1) 世界文化遺産の原爆ドーム			
・つかむ　被爆前と後の広島の写真や年表などの資料をもとに話し合い，学習問題をつくりましょう。 p.128～129	1	①３枚の原爆ドームの写真を見て，気づいたことや考えたことを発表し合う。 ・まち全体が焼け野原になり，ドームも破壊されている。 ・どうしてこんなことが起こったのだろう。 ・原爆ドームはどうして世界文化遺産になったのだろう。 ②平和記念資料館の館長さんの話を読んで，原爆ドームが世界文化遺産になった理由を考えたり，年表と関連づけて，長く続いた戦争や当時の人々の生活について話し合ったりして，学習問題をつくる。 ・悲劇が二度と起きないようにとの願いから，原爆ドームの	[思判表]発言・ノート

		保存運動が進められた。 ・世界平和をめざすちかいのシンボルとして1996年に世界文化遺産に登録された。 ・日本は，15年にわたる長い間，戦争をしていた。 ・戦争中の人々は，どのような生活をしていたのだろう。 ・いったいどんな戦争だったのだろう。 **学習問題**　長く続いた戦争は，人々にどのようなえいきょうをあたえたのでしょうか。 ③学習計画を立てる 〈調べること〉 ・戦争がどのようになっていったのか。 ・国民は，どのような生活をしていたのか。 ・沖縄戦や広島・長崎への原爆投下は，どのような被害があったのか。	
(2) 中国との戦争が広がる			
・**調べる**　日本が中国で行った戦争は，どのような戦争だったのでしょうか。 p.130～131	1	①満州事変，日中戦争を起こした理由や戦争の広がりについて調べる。 ・不景気で日本でも生活に苦しむ人が多くなり，中国に勢力をのばして不景気を回復しようという考えが国民の間に広められた。 ・満州の利益を守らないと日本がほろびると主張する人々がいた。 ・1931年に，満州にいた日本軍が中国軍を攻撃し，満州事変となった。 ・国際連盟が満州の独立を認めなかったので，日本は国際連盟を脱退し国際的な孤立を深めた。 ・満州から中国各地に戦争が拡大したこと。 ・中国の人々が日本の侵略に抵抗し，戦争は，長く続くこととなった。	[**知技**]発言・ノート
(3) 戦争が世界に広がる			
・**調べる**　戦争は，どのように世界に広がっていったのでしょうか。 p.132～133	1	①そのころの世界の様子を調べる。 ・ドイツがまわりの国々を侵略し，イギリスやフランスなどと戦争になり，アジアやヨーロッパも戦場となる第二次世界大戦となった。 ②日本の戦争の広がりを調べる。	[**知技**]発言・ノート

		・石油などの資源を得るため，東南アジアに軍隊を進めた。 ・ドイツ，イタリアと軍事同盟を結び，アジアの地域を支配しようとした。 ・アメリカやイギリスなどの国々と東南アジアや太平洋を戦場とした太平洋戦争になった。 ・戦場が拡大し，戦争が激しくなると，多くの男性が召集令状によって兵士として戦場に送られた。 ・日本は初めのうちは勝利したが，国力に勝るアメリカ軍の反撃により敗戦を重ねていった。 ・国民は，政府の言葉や報道を信じて，戦争に協力させられた。	
(4) すべてが戦争のために			
・調べる　戦争中，人々は，どのような生活をしていたのでしょうか。 p.134～135	1	①戦争中の生活の様子について調べる。 ・人々を戦争の協力させるために政府は戦時体制を強めていき、くらしは、すべて戦争のために制限された。 ・戦争に協力しない行動は厳しく取りしまられた。 ・まちには戦争協力をよびかける看板があふれた。 ・たくさんの戦争に協力する気持ちを高めるための標語がつくられた。 ・天気予報などの情報も戦争に関する重要な情報として国民に知らされなかった。 ・食料や衣類は配給制になった。 ・女子学生が工場で働くようになった。 ・小学生は地方へ集団疎開した。 ・学校でも軍事訓練が行われた。 ・子どもが読む雑誌も戦争を題材にしたものが多くなった。	**[知技]**発言・作品
(5) 空襲で日本の都市が焼かれる			
・調べる　日本各地の都市は，空襲によって，どのような被害を受けたのでしょうか。 p.136～137	1	①東京大空襲の想像図，空襲の写真，空襲を受けた都市の地図などを調べて，わかったことや考えたことを話し合う。 ・1944年になると，アメリカ軍が日本の都市を空襲するようになり，人々は防空壕をつく	**[知技]**発言・ノート

		って逃げこんだ。 ・工業がさかんで人口が多い太平洋ベルトを中心に，全国各地が空襲の被害にあった。 ・軍事施設や工場だけでなく，住宅地も爆撃され，焼け野原になった。 ・木造の建物が多い日本では，火災を起こす焼夷弾が使われた。 ②東京大空襲を体験した元木さんの話から，空襲の被害について考え，話し合う。 ・焼夷弾でまちが火の海になったこと。 ・人々は，生きるために必死だったこと。	
(6) 原爆投下と戦争の終わり			
・**調べる**　戦争はどのようにして終わったのでしょうか。 p.138～139	1	①沖縄戦の写真や手記などをもとに調べて，わかったことを話し合う。 ・1945年，アメリカ軍が沖縄に上陸し，一般市民や今の中高生くらいの生徒までが動員された。 ・当時の沖縄県民60万人のうち12万人以上の人が亡くなったといわれている。 ②原爆投下や玉音放送を聞く人々の写真などを見て，わかったことや考えたことを話し合う。 ・日本軍は各地で敗北し，多くの都市が空襲され，沖縄は占領された。 ・1945年8月6日に広島，8月9日には長崎に原子爆弾が落とされ，一瞬にして何万人もの命が奪われた。 ・満州や樺太南部，千島列島にソ連軍が攻め込んできた。 ・日本は8月15日に降伏し，15年にもわたる戦争が終わり，同時に日本による台湾と朝鮮の植民地支配が終わった。 ・今では，毎年8月15日に，戦争の犠牲者をいたみ，平和を願う全国戦没者追悼式が行われている。	[**知技**]発言・ノート
(7) まとめる			
・**まとめる**　これまで調べてきたいことを図に整理し，学習問題についての考えをまとめましょう。 p.140	1	①それぞれの場所における戦争の影響や，当時の人々の生活について，調べたことをワークシートの図に整理する。 ・戦場となった東南アジア各国	[**思判表**]発言・ワークシート [**態度**]発言・ワークシート

		の人々に大きな損害を与えた。 ・広島・長崎の人々は一発の爆弾で，一瞬にして何万にもの命がうばわれ，町はふきとんでしまった。 ・小学生も学校で戦争の訓練をし，集団疎開で親元をはなれ地方に避難した。今の中学生くらいの年齢になると勉強をしないで学校や工場で働いた。 ・多くの国民は，戦時体制で生活のすべてを戦争に協力させられ，やがて敗戦が続くと空襲の被害にあい多くの人が亡くなった。 ・満州に渡った人々は，終戦直前にソ連軍が攻めてきて，逃げる中で多くの人が亡くなり，日本に帰れず，残留孤児となった人がいた。 ・召集令状で集められ戦場で兵士として戦った人々は，戦場で苦しい体験をし多くの人が命を落とした。 ②戦争が人々に与えた影響について，調べたことをもとに友達と話し合って自分の考えをワークシートに書く。 ・戦争は，戦場で戦った兵士だけでなく，多くの国民の命をうばい，国民生活に大きな影響と非常な苦しみを与えた。また，海外で戦場となった国々の人々にも大きな被害を与えた。このような悲劇を繰り返さないためにも，戦争は二度と行ってはならない。	

小単元名	12. 新しい日本，平和な日本へ			教科書のページ	歴史編 p.142～155
配当時数	7時間	活動時期	1～2月	学習指導要領の内容	(2)ア-(サ)(シ)，イ-(ア)

小単元の目標		我が国の歴史上の主な事象について，世の中の様子，人物の働きや代表的な文化遺産などに着目して，遺跡や文化財，地図や年表などの資料で調べてまとめ，我が国の歴史の展開を考え，表現することを通して，日本国憲法の制定やオリンピック・パラリンピックの開催などを手掛かりに，戦後我が国は民主的な国家として出発し，国民生活が向上し，国際社会の中で重要な役割を果たしてきたことを理解できるようにするとともに，学習してきたことを基に過去の出来事と今日の自分たちの生活や社会との関連や，歴史から学んだことをどのように生かしていくかなど国家及び社会の発展を考えようとする。
小単元の観点別評価規準	知識・技能	・世の中の様子，人物の働きや代表的な文化遺産などについて，遺跡や文化財，地図や年表などの資料で調べ，日本国憲法の制定，オリンピック・パラリンピックの開催などを理解している。 ・調べたことを年表や文などにまとめ，戦後我が国は民主的な国家として出発し，国民生活が向上し，国際社会の中で重要な役割を果たしてきたことを理解している。
	思考・判断・表現	・世の中の様子，人物の働きや代表的な文化遺産などに着目して，問いを見いだし，日本国憲法の制定，オリンピック・パラリンピックの開催などについて考え表現している。 ・日本国憲法の制定，オリンピック・パラリンピックの開催などを関連付けたり総合したりして，我が国の政治や国民生活が大きく変わったことや，我が国が国際社会において果たしてきた役割を考えたり，学習してきたことを基に，歴史を学ぶ意味について考えたりして，適切に表現している。
	主体的に学習に取り組む態度	・日本国憲法の制定，オリンピック・パラリンピックの開催などについて，予想や学習計画を立てたり，見直したりして，主体的に学習問題を追究し，解決しようとしている。 ・学習してきたことを基に過去の出来事と今日の自分たちの生活や社会との関連や，歴史から学んだことをどのように生かしていくかなど国家及び社会の発展を考えようとしている。

本時のめあて	時数	学習活動	評価の観点と方法
(1) 敗戦直後の人々のくらし			
・つかむ　写真から気づいたことや疑問を出し合い，学習問題をつくりましょう。 p.142～143	1	①敗戦直後の資料から，気づいたことを話し合う。 ・戦争が終わっても，家を焼かれて住むところがなかったり，くらしに必要なものがなかったりして，大変な生活だったんだ。 ・戦後，栄養失調でなくなったり，戦争で孤児になった子どもたちがいたりし，戦争が終わっても大変さは変わっていない。 ②新宿の３枚の写真を見比べて気づいたことを話し合い，学習問題をつくる。 ・東京オリンピックのころにはかなり復興している。 ・現在はビルも建て替わり，ず	[思判表]発言・ノート

		いぶんにぎやかだ。 ・焼け野原だったのに，今は発展している。どのように変わっていったのか。 **学習問題**　戦後の日本は，人々のくふうや努力によって，どのように変わっていったのでしょうか。 ③年表をもとに予想を話し合い，学習計画を立てる。 ・日本は戦争のない平和な国になったのではないか。 ・日本は国際社会にもどれたのではないか。 ・日本は，オリンピックが開けるほど，世界に認められるようになったのではないか。	
(2) 民主主義による国をめざして			
・**調べる**　戦争の後，日本ではどのような改革が行われたのでしょうか。 p.144～145	1	①戦後改革や日本国憲法について調べる。 ・民主主義の国として再出発するために，戦後改革が行われた。 ・女性に選挙権が保障された。 ・教育の制度が変わった。 ・日本国憲法が制定され，日本の進む方向として平和主義と民主主義が定められた。 ②調べたことを年表にまとめ，「一言コメント」を書き込む。 ・男女平等の世の中になった。 ・今の学校のしくみになった。	[**知技**]発言・ノート
(3) 再び世界の中へ			
・**調べる**　日本が世界の仲間にもどるまでには，どのようなことがあったのでしょうか。 p.146～147	1	①「サンフランシスコ平和条約」や「国際連合への加盟」「産業の復興」について調べ，年表にまとめる。 ・1951年に48か国と平和条約を結んだ。 ・1952年に占領が終わり，主権を回復した。 ・沖縄はまだアメリカに占領されたままだ。 ・ソ連や中国などの国とは，平和条約を結ぶことができなかった。 ・1956年に国際連合への加盟が認められた。 ・アメリカの協力や国民の努力によって産業が復興し，生活が向上した。	[**知技**]発言・ノート
(4) 高度経済成長の中の東京オリンピック			
・**調べる**　産業の発展により，人々の生活はどのように変化したのでしょうか。 p.148～149	1	①東京オリンピック・パラリンピックの開催と，それに関連するできごとを調べ，当時の人々の気持ちについて考える。 ・アジアで最初のオリンピック	[**知技**]発言・ノート

		が開かれた。 ・オリンピックのための競技施設だけでなく，ホテルが建てられ，道路・下水道が整備された。 ・高速道路や地下鉄も作られた。 ・東京と大阪の間に東海道新幹線がつくられ，移動の時間が大幅に短縮された。 ・オリンピックが開催できるほど復興したことを世界に伝えることができ，うれしい。 ②東京オリンピック・パラリンピック開催前後の国民生活の変化について調べる。 ・テレビや自動車が普及した。 ・国民総生産額が世界第２位になった。 ・高度経済成長のかげで，公害などの環境問題が生まれてきた。	
(5) 変化の中の日本			
・調べる　日本は今，どのような変化の中にいるのでしょうか。 p.150～151	1	①東京オリンピック・パラリンピック後の世界や日本が抱える課題とその取り組みについて調べる。 ・世界各地で起こる紛争を防ぐために，国際連合を中心に，努力がされている。 ・日本では，大きな地震が発生し，大きな被害がもたらされた。被災した地域には，日本中からも外国からも多くのボランティアが集まり，復興の力になった。 ②取り組みについて考えたことを話し合う。 ・課題はたくさんあるが，解決するために努力をしていくことが大切だと思った。 ・避難場所でボランティアをしている小学生もいた。自分たちができることもあると思った。 ・わたしたち一人一人が関わっていくことが大切だと思った。	**[知技]**発言・ノート
(6) これからの日本を考えよう			
・調べる　これからの日本は，どのような国をめざしていったらよいのでしょうか。 p.152～153	1	①世界に広がる日本の文化や技術を調べる。 ・和食がユネスコ無形文化財に登録された。日本の食が世界から評価されている。 ・日本のアニメは世界でも人気がある。 ・ノーベル賞を受賞している日本人がたくさんいる。世界に	**[知技]**発言・ノート

		貢献している。 ②現在の日本が抱える課題や果たすべき役割について調べ，考えたことを話し合う。 〈国内の問題〉 ・お年寄りや障がいのある人たちの人権 ・子どもや女性の人権 ・アイヌ民族，在日韓国・朝鮮人などへの偏見や差別 ・経済不況，食料自給率の問題 ・東日本大震災からの復興 〈外国との関係に関する問題〉 ・沖縄のアメリカ軍基地 ・北朝鮮の拉致問題，核開発 ・領土をめぐる問題 〈世界の問題〉 ・戦争と平和，核，環境	
(7) まとめる			
・**まとめる**　「ことば」を使って，学習問題について調べたことを年表に整理し，キャッチフレーズをつくりましょう。 p.154～155	1	①表に整理されたできごとに，一言コメントを書く。 ・1946年：日本国憲法が公布される ―平和と民主主義が新しく進む方向だと定められた。 ・1964年：東京オリンピック・パラリンピックが開かれる ―産業をさらに発展させた。など ②時代を表すキャッチフレーズをつくり，友だちと話し合う。 ・「国民に自信をあたえた東京オリンピック・パラリンピック」理由は，東京オリンピックで自信をつけ，戦後の復興がさらに進んだから。 ・「今の平和な日本のもとになった日本国憲法」理由は，憲法の三つの原則の一つに平和主義があり，日本は平和と民主主義の国になったから。	[**思判表**]発言・ノート [**態度**]発言・ノート

本時のめあて	時数	学習活動	評価の観点と方法
(1)　歴史学習をふり返ろう			
・**いかす**　カードを使って，これまで学習してきた歴史をふり返ろう。 p. 156～157	1	①これまで学習してきた時代の社会の様子を書いたカードをつくる。 ・米づくりが始まり，生活や社会の様子が変化した。 ・室町時代のころ生まれた文化は，今も多くの人々に親しまれている。など。 ②カードを見ながら，現在のわたしたちのくらしとのかかわりについて発表し合う。	[**思判表**]発言・ノート [**態度**] 発言・ノート

		・大陸や海から伝わった米づくりは，現在では日本各地で行われている。 ・日本の世界遺産など多くの文化財が，人々の努力によって大切に保存されている。 ③歴史を学ぶ意味について考え，意見文を書く。 ・各時代の人々の努力の積み重ねによって，現在の日本や自分たちの生活がある。 ・昔の人々が知恵を出し合い，努力してつくってきた今の日本をさらによい国にしていきたい。	

単元名	3. 世界の中の日本			教科書のページ	政治・国際編 p.64～65
配当時数	1時間	活動時期	2月	学習指導要領の内容	(3)ア，イ

本時のめあて	時数	学習活動	評価の観点と方法
(1) 人類共通の願い			
・わたしたち人類は，どのような共通の願いを持っているのでしょうか。 p.64～65	1	①国際社会が抱える問題の解決に向け，日本のわたしたちが，世界の人たちとどのようなことをしていけばよいのかを話し合う。 ・さまざまな問題の解決に向けて，世界の人たちと協力していく必要があること。 **めあて**　わたしたちは，どのようにして，世界の人々とともに生き，平和な社会を築いていけばよいのでしょうか。	[**思判表**]発言

小単元名	1. 日本とつながりの深い国々			教科書のページ	政治・国際編 p.66～97
配当時数	6時間	活動時期	2月	学習指導要領の内容	(3)ア-(ア)(ウ), イ-(ア)

小単元の目標		グローバル化する世界の日本の役割について，外国の人々の生活の様子などに着目して，地図帳や地球儀，各種の資料で調べ，まとめることで日本の文化や習慣との違いを捉え，国際交流の果たす役割を考え，表現することを通して，我が国と経済や文化などの面でつながりの深い国の人々の生活は，多様であることや，スポーツや文化などを通して他国と交流し，異なる文化や習慣を尊重し合うことが大切であることを理解できるようにするとともに，学習したことを基に世界の人々と共に生きていくために大切なことなどを多角的に考えようとする。
小単元の観点別評価規準	知識・技能	・外国の人々の生活の様子などについて地図帳や地球儀，各種の資料で調べて，必要な情報を集め，読み取り，日本の文化や習慣との違いを理解している。 ・調べたことを図表や文などにまとめ，我が国と経済や文化などの面でつながりの深い国の人々の生活は，多様であることや，スポーツや文化などを通して他国と交流し，異なる文化や習慣を尊重し合うことが大切であることを理解している。
	思考・判断・表現	・外国の人々の生活の様子などに着目して，問いを見いだし，日本の文化や習慣との違いについて考え表現している。 ・世界の国々の文化や習慣は多様であることとスポーツや文化などを通して他国と交流することを関連付けて，国際交流の果たす役割を考えたり，学習したことを基に世界の人々と共に生きていくために大切なことなどを多角的に考えたり選択・判断したりして，表現している。
	主体的に学習に取り組む態度	・外国の人々の生活の様子について，予想や学習計画を立てたり，見直したりして，主体的に学習問題を追究し，解決しようとしている。 ・学習したことを基に世界の人々と共に生きていくために大切なことなどを多角的に考えようとしている。

本時のめあて	時数	学習活動	評価の観点と方法
(1) 日本と関係の深い国を探そう			★他教科との関連:外国語
・つかむ　これまでの社会科の学習や日ごろの生活をふり返り，日本とつながりの深い国を見つけて，話し合いましょう。 p.66～67	1	①外国から入ってきた身のまわりのものや文化やスポーツを通じた交流について話し合う。 ・野球は，アメリカからきた。 ・日本の文化は中国からたくさん影響を受けていて，漢字などが伝わった。 ・韓国のキムチやチヂミは日本でも食べられている。 ・サウジアラビアから石油を輸入している。 ・日本は，色々な国と輸出入の関係がある。 ②日本と関係が深そうな国を四つに整理する。	[思判表]発言・ノート
(2) 調べる国を決めよう			

・**つかむ**　学習問題をつくり，日本とつながりの深い国を１か国選び，人々の生活について調べる学習計画を立てましょう。 p.68～69	1	①４か国の基本情報を整理し，日本とつながりの深い国々について調べてみたいことを話し合い，学習問題をつくり，予想を出し合う。 ・気候や宗教によって，服装や食べ物が違ってくるのではないか。 ・中国や韓国などの近い国なら，共通点が多いと思う。 ・産業や文化，スポーツなどでつながりが深いかもしれない。 **学習問題**　日本とつながりの深い国の人々は，どのような生活をしていて，その生活には日本とどのようなちがいがあるのでしょうか。 ②学習問題について予想し，学習計画を立てる。	[**思判表**]発言・ノート
＊児童に4か国から1か国を選択させる。			
アメリカと日本 p.70～75			
(3) アメリカの学校の様子			
・**調べる**　アメリカの小学生は，どのような生活をしているのでしょうか。 p.70～71	1	①アメリカの学校の様子について，テレビ電話でアメリカに住んでいる人に質問をしたり，集めた資料を活用したりして調べる。 ・小学校への通学は，自転車やスクールバスなどを利用している。 ・成績がよい場合は，上の学年に飛び級ができることもある。 ・いろいろな人種や民族の子どもが通っている。 ・昼食は，給食のところもあるが，売店を利用することもある。 ・夏休みが２か月あって，日本よりも長い。	[**知技**]ノート
(4) 人々のくらしと年中行事			
・**調べる**　アメリカの人々のくらしや年中行事は，どのようなものでしょうか。 p.72～73	1	①アメリカの人々の休日の過ごし方や年中行事について調べ，話し合う。 ・休日には，家族でハイキングに行ったり，野球の試合を見たりして過ごしているのは，日本と同じ。 ・大型スーパーでまとめて買っている。日本にもアメリカからきた大型スーパーがある。 ・ハロウィンには仮装をしてお菓子をもらったり，感謝祭やクリスマスには家族や親戚が集まったりしてごちそうを食べる。 ・アメリカでも日本でも人気の食べ物やスポーツがたくさんある。	[**知技**]ノート

(5) 広い国土を生かした産業と多文化社会			
・**調べる**　アメリカには，どのような産業があり，どのような人々がくらしているのでしょうか。 p.74～75	1	①アメリカの産業や多文化社会について，集めた資料を活用して調べ，話し合う。 ・アメリカは，広い国土を生かして，小麦や大豆を大量に生産していて，日本と違う。 ・アメリカは，宇宙開発が進んでいて，日本や世界各国が開発に参加したり協力したりしている。 ・アメリカは，多文化社会といわれている。 ・ロサンゼルスには日系人が多く住んでいて，日系人の祭りがある。 ②アメリカについて調べてきたことを，カードに整理する。 ・学校や人々の様子，仕事や産業の様子について調べたことをカードに整理する。	[知技]ノート
中国と日本 p.76～81			
(3) 中国の人々の生活			
・**調べる**　中国のまちや小学校の様子は，どのようになっているのでしょうか。 p.76～77	1	①中国のまちや小学校の様子について，集めた資料を活用して調べ，話し合う。 ・首都北京には，高層ビルや世界文化遺産があって，ファッションも日本と同じように楽しんでいる。 ・大都会の中に，古い住宅も残っている。 ・学校では，たくさんの漢字を教えていて，英語の授業も盛ん。 ・「一人っ子政策」の影響で，兄弟がいない子どもも多い。 ・受験に熱心で，飛び級の制度もある。 ・農村の子どもは，家畜の世話など家の仕事をよく手伝う。	[知技]ノート
(4) 中国の伝統的な文化			
・**調べる**　中国には，どのような文化や行事があるのでしょうか。 p.78～79	1	①中国の文化や行事について，収集した資料を活用して調べ，話し合う。 ・中国から，お茶や漢字が日本に伝わった。 ・遣隋使や遣唐使について歴史で学んだ。 ・中国には，50以上の民族がいて，服装や習慣などの生活様式がそれぞれ違う。 ・伝統的な行事である春節は，日本の正月にあたる。故郷に帰省する人も多い。 ・日本にも，横浜や神戸に中華街や南京町があり，春節の行事を盛大に行っている。	[知技]ノート

		・世界文化遺産の「万里の長城」を見に，日本からも観光客が訪れる。	

(5) 経済が発展した中国と人々の生活			
・**調べる** 中国の産業の発展によって，人々の生活は，どのように変化したのでしょうか。 p.80～81	1	①産業の発展によって，人々の生活はどのように変化したのか，インタビューや資料を活用して調べ，話し合う。 ・急速な発展によって，生活スタイルが変化した。タワーマンションが増えた。 ・発展とともに，公害対策や労働環境の改善が求められるようになった。 ・経済特区と呼ばれる外国の企業も進出する地区がある。 ・日本と貿易も盛んで，たくさんの商品を中国から輸入している。 ・日中の留学生が，両国の結びつきを深める上で期待されている。 ②中国について調べてきたことを，ノートや作文に整理し，話し合う。 ・日本と大切なパートナーである。 ・オリンピックやパラリンピックが開催された。中国のよさを見つけたい。	[**知技**]ノート
韓国と日本 p.82～87			
(3) 韓国の人々の生活			
・**調べる** 韓国の学校の様子，伝統的な行事や習慣は，どのようなものでしょうか。 p.82～83	1	①韓国の学校の様子，伝統的な行事や習慣について，インタビューや資料を活用して調べ，話し合う。 ・日本の学校と似ている点がたくさんある。 ・英語とコンピューターの授業がさかん。 ・日本からの観光客がとても多い。 ・ソルラルという旧正月は，大切な行事の一つである。 ・韓国も日本と同じで，５月５日にオリニラルといわれる子どもの日がある。 ・韓国式のサウナは日本人にも人気がある。	[**知技**]ノート
(4) 韓国の文化と日本との交流			
・**調べる** 韓国の文化には，どのような特色があるのでしょうか。 p.82～83	1	①韓国の文化には，どのような特色があるのか，インタビューや資料を活用して調べ，話し合う。 ・主食は米で，日本と同じようにはしやスプーンを使うが，食器の使い方が違う。 ・昔は漢字を使っていたが，現在ではハングルという文字を使っている。 ・儒教の教えが大切にされ，長	[**知技**]ノート

		老を敬う考えが浸透している。 ・キムチは，韓国の代表的な保存食。 ・民族衣装や年中行事などの伝統が大切に受け継がれている。 ・日本と韓国は，スポーツやアニメ，音楽などの文化の交流がさかん。	
(5) 産業の発展と人々の生活			
・**調べる**　韓国の人々の生活にかかわる産業には，どのような特色があるのでしょうか。 p.86～87	1	①韓国の人々の生活にかかわる産業の発展や特色について，インタビューや資料を活用して調べ，話し合う。 ・第二次世界大戦後は，朝鮮は韓国と北朝鮮にわかれた。 ・韓国は，ソウルオリンピックを開催した。 ・半導体や薄型テレビなどの産業が発展している。 ・世界規模の電機メーカーも多くあり，世界150以上の都市と結ばれたハブ空港を備え，物や人々の行き来がさかん。 ②韓国について調べてきたことをノートや新聞に整理して，ふり返る。 ・韓国は，伝統を大切にしている。 ・学校生活は，日本と似ている部分が多い。 ・年中行事や儒教の教えを大切にしている。	[**知技**]ノート・新聞
サウジアラビアと日本 p.88～93			
(3) 気候に合わせたくらしと宗教			
・**調べる**　サウジアラビアの人々の生活にかかわる気候や宗教には，どのような特色があるのでしょうか。 p.88～89	1	①サウジアラビアの人々の生活にかかわる気候や宗教には，どのような特色があるのか，資料を活用して調べ，話し合う。 ・夏はとても暑いが，冬には気温が大きく下がる。 ・砂漠のイメージが強いが，雨や雪の降る地域や都市がある。 ・アラビア語を話し，イスラム教を信仰している。 ・イスラム教では，１日５回のお祈りをし，１か月間，日中は食事をとらないラマダンを行う義務がある。 ・食べ物や食べ方に特色がある。	[**知技**]ノート
(4) サウジアラビアの人々の生活			
・**調べる**　サウジアラビアの生活の様子や学校には，どのような特色があるのでしょうか。	1	①サウジアラビアの生活や学校の様子には，どのような特色があるのか，資料を活用して	[**知技**]ノート

p.90～91		調べ，話し合う。 ・昼間が暑く，外出する人が少ないことから，大型スーパーは夜遅くまで営業している。 ・学校などの公共の場は，男女の区別がある。 ・小学校は日本と同じく６年間通う。コーランの授業が毎日あるのが日本と違う。 ・公立学校では，大学まで授業料が無料。 ・学校でもお祈りの時間がある。	
(5) 石油の国，サウジアラビア			
・**調べる**　サウジアラビアの産業と人々の生活には，どのようなかかわりがあるのでしょうか。 p.92～93	1	①サウジアラビアの産業と人々の生活について，資料を活用して調べ，話し合う。 ・日本は石油をサウジアラビアから最も多く輸入している。 ・サウジアラビアは，石油を輸出して得たお金を教育や福祉に使っている。 ・最近では，観光業に力を入れている。 ・サウジアラビアにも世界文化遺産がある。 ・サウジアラビアでは，日本車が輸入され，子どもは日本のアニメをよく見ている。 ②サウジアラビアについて調べてきたことをノートに整理してふり返る。 ・サウジアラビアは，宗教の教えを大切にしている。 ・日本と産業でつながりが深い。 ・サッカーやらくだレースがスポーツではさかん。	[**知技**]ノート
(6) 日本とつながりの深い国々について話し合う			
・**まとめる**　学習問題について調べてきたことを話し合い，自分の考えを意見文にまとめ，発表会を開きましょう。 p.94～95	1	①学習問題について調べてきたことを話し合う。 ・学校生活では，四つの国とも日本と似ているところや違うところがある。 ・アメリカや中国などの伝統的な行事が日本でも行われている。 ・調べてきた国は，どの国も産業などでつながりが深い。 ②日本と似ているところと，大きく違うところを表に整理して，話し合う。 ・日本の正月の行事は，韓国や中国など近い国と似ている。 ・サウジアラビアの生活は，宗教の影響が強いところが日本と違う。 ③学習問題に対して，考えたことを意見文にまとめ，発表す	[**知技**]ノート・意見文 [**思判表**]ノート・意見文

		る。 ・異なる習慣や文化も，認め合うことが大切である。 ・アジアなど近い国は，学校生活など日本と似ているところが多かった。	
(7) 国際交流について考えよう			
・**いかす**　国際交流について調べ，そのよさについて話し合いましょう。 **p.96～97**	1	①オリンピック・パラリンピックと国際交流について調べ，話し合う。 ・オリンピックは，スポーツを通して，体と心をきたえ，世界の国々が交流し，平和な社会をつくることを大切にしている。 ・年々，参加国が増えている。 ②国際交流について調べ，話し合う。 ・留学生などとコミュニケーションを図る。 ・日本の伝統芸能である「歌舞伎」は多くの国で公演するなど世界に広める努力をしている。 ③スポーツなどの国際大会で多くの外国の人が日本に来た時に，どのようにかかわることが必要なのかを考え，キャッチフレーズとその理由をまとめる。	**[思判表]**ノート・キャッチフレーズ **[態度]**ノート・キャッチフレーズ

小単元名	2. 世界の未来と日本の役割			教科書のページ	政治・国際編 p.100～111
配当時数	5時間	活動時期	3月	学習指導要領の内容	(3)ア-(イ)(ウ), イ-(イ)

小単元の目標		グローバル化する世界の日本の役割について，地球規模で発生している課題の解決に向けた連携・協力などに着目して，地図帳や地球儀，各種の資料で調べ，まとめることで国際連合の働きや我が国の国際協力の様子を捉え，国際社会において我が国が果たしている役割を考え，表現することを通して，我が国は，平和な世界の実現のために国際連合の一員として重要な役割を果たしたり，諸外国の発展のために援助や協力を行ったりしていることを理解できるようにするとともに，学習したことを基に，今後，我が国が国際社会において果たすべき役割などを多角的に考えようとしている。
小単元の観点別評価規準	知識・技能	・地球規模で発生している課題の解決に向けた連携・協力などについて，地図帳や地球儀，各種の資料で調べて，必要な情報を集め，読み取り，国際連合の働きや我が国の国際協力の様子を理解している。 ・調べたことを図表や文などにまとめ，我が国は，平和な世界の実現のために国際連合の一員として重要な役割を果たしたり，諸外国の発展のために援助や協力を行ったりしていることを理解している。
	思考・判断・表現	・地球規模で発生している課題の解決に向けた連携・協力などに着目して，問いを見いだし，国際連合の働きや我が国の国際協力の様子について考え表現している。 ・地球規模で発生している課題の解決策と我が国の国際協力の様子を関連付けて，国際社会において我が国が果たしている役割を考えたり，学習したことを基に今後，我が国が国際社会において果たすべき役割などを多角的に考えたり選択・判断したりして，表現している。
	主体的に学習に取り組む態度	・国際社会において我が国が果たしている役割について，予想や学習計画を立てたり，見直したりして，主体的に学習問題を追究し，解決しようとしている。 ・学習したことを基に，今後，我が国が国際社会において果たすべき役割などを多角的に考えようとしている。

本時のめあて	時数	学習活動	評価の観点と方法
(1) 世界の各地で起こる紛争			
・**つかむ**　世界のさまざまな課題と解決に向けた取り組みを調べ，学習問題をつくりましょう。 p.100～101	1	①世界で紛争が起こっていることを調べる。 ・紛争が世界各地で起こっている。 ・特にアフリカ大陸や中東で多く起こっている。 ・紛争を防ぐことができるのだろうか。 ②紛争の他に，世界にどのような課題があるのかを明らかにし，これらを解決するための取り組みについて調べるための学習問題をつくる。 ・地球温暖化などの環境問題や難民，食料問題などがある。 ・これらの課題をどのように解決しようとしているのだろう。 ・国際連合はどのような働きをしているのだろう。	[**思判表**]発言・ノート

		・日本の人々は関わっているのだろうか。 **学習問題**　世界のさまざまな課題を解決するために，日本は世界と協力して，どのような活動をしているのでしょうか。	
(2) 国際連合で働く人々			
・**調べる**　国際連合で，日本の人々はどのようなことをしているのでしょうか。 p.102～103	1	①国際連合の特色や日本の関わりについて調べる。 ・1945年に発足し，2018年までに193か国が加盟している。 ・各機関の活動は加盟国からの分担金や募金などでまかなわれている。 ・日本は，1956年に加盟した。 ・日本はアメリカに次いで多くの分担金を出している。 ②ユニセフなどの取り組みを調べ，その働きや日本の取り組みを調べる。 ・国連では，戦争や紛争の予防や調停，復興支援などがある。 ・例えば，ユニセフでは厳しいくらしをしている地域の子どもたちを助ける目的で作られた。日本も戦後すぐのころ，ユニセフから給食の支援を受けた。 ・日本は，国際連合の一員として世界各地の平和維持活動に参加してきた。	[**知技**]発言・ノート
(3) 持続可能な社会をめざして			
・**調べる**　豊かさと環境保全を両立させるために，世界や日本はどのような努力や協力をしているのでしょうか。 p.104～105	1	①「持続可能な社会」の意味や具体的な取り組みを明らかにする。 ・世界には様々な環境問題がある。 ・未来にわたってより多くの人々が豊かな生活を送るためには，国連などの計画にもとづいた国際的な協力が必要である。 ・2015年に開かれた国連気候変動枠組条約を結んだ国々の会議では，温室効果ガスの削減目標などが定められた。 ②「持続可能な開発目標（SDGs）」について調べ，持続可能な社会を実現するための取り組みがあることを理解し，これからの日本の取り組みを考える。 ・SDGsには多くの目標がある。 ・2030年までの行動計画である。 ・「だれひとり取り残さない」という理念のもとに設定され	[**知技**]発言・ノート

		た目標である。	

(4) 国際協力の分野で活やくする人々			
・調べる　日本は，どのような国際協力の活動をしているのでしょうか。 p.106～107	1	①ODAの意味や青年海外協力隊の具体的な取り組みを調べる。 ・ODAとは政府による国際協力の活動である。 ・ODAの一つである青年海外協力隊は，教育や医療，農業などの分野で活躍している。 ②NGOの意味を捉え，具体的な取り組みを調べる。 ・NGOは国連や各国の政府から独立して活動している民間の団体である。主に，募金や寄付金，ボランティアなどで支えられている。 ・日本にも，医療や環境など，専門性を生かした分野で活やくしている多くの団体があり，世界各地でさまざまな国際協力の活動を行っている。	**[知技]**発言・ノート
(5) 学習問題についてふり返り，考えをノートにまとめる			
・まとめる　学習問題について調べたことをふり返り，自分の考えをノートにまとめましょう。 p.108～109	1	①これまでに調べた，様々な機関やそれに携わる日本の人々が世界の様々な課題を解決するために取り組んでいることを想起してその意味や役割を話し合う。 ・世界には，紛争，環境問題，貧困などの様々な問題があった。 ・これらの課題を解決するために，国連の様々な機関やODA，NGOなどが取り組んでいた。 ・日本の人々も様々な分野で活躍した。 ②自分の考えをノートにまとめ，発表する。	**[知技]**発言・ノート **[思判表]**発言・ノート
(6) 紛争や難民をなくすために			
・いかす　これからを生きるわたしたちにできることを考えましょう。 p.110～111	1	①本文を読んで世界の課題が十分に解決されているかどうかを調べ，自分たちができることを考える。 ・世界には紛争などの影響で難民となった人がいて，その半数は子どもであり，またその中には親をなくしている子どもも多くいる。 ・国連から届けられる物資は十分ではなく，健康を害する人や栄養を十分にとることができない子どもたちも世界にたくさんいる。 ・地域の復興がなかなか進まないこともある。 ・平和を続けることが難しい場合がある。	**[思判表]**発言・ノート **[態度]**発言・ノート